

子ども・子育て支援事業計画策定のための
アンケート調査

集計報告書

令和6年12月

むつ市

目 次

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的と実施概要	1
II	調査結果（未就学児）	2
II-1	お子さんご家族について	2
II-2	子どもの育ちをめぐる環境について	5
II-3	保護者の方の就労状況について	7
II-4	日常的な教育・保育施設等の利用について	11
II-5	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用について	19
II-6	病気の際の対応について	22
II-7	不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について	25
II-8	子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について	30
II-9	市の子育て支援事業について	31
II-10	職場の両立支援制度について	37
II-11	家庭の子育て、地域の子育て環境について	47
III	調査結果（小学生）	51
III-1	お子さんご家族について	51
III-2	子どもの育ちをめぐる環境について	53
III-3	保護者の方の就労状況について	55
III-4	子どもの放課後の過ごし方について	59
III-5	不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について	63
III-6	市の子育て支援事業について	67
III-7	家庭の子育て、地域の子育て環境について	71

I 調査の概要

I-1. 調査の目的と実施概要

1. 調査の概要

- 調査対象：むつ市在住の未就学児・小学生の保護者
- 調査期間：令和6年7月10日～令和6年7月31日
- 調査方法：WEB回答（一部希望により紙での回答有）
- 配付・回収：

種別	配付数	回収数	回収率
未就学児	1,218 票	641 票	52.6%
小学生	1,200 票	560 票	46.7%

2. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

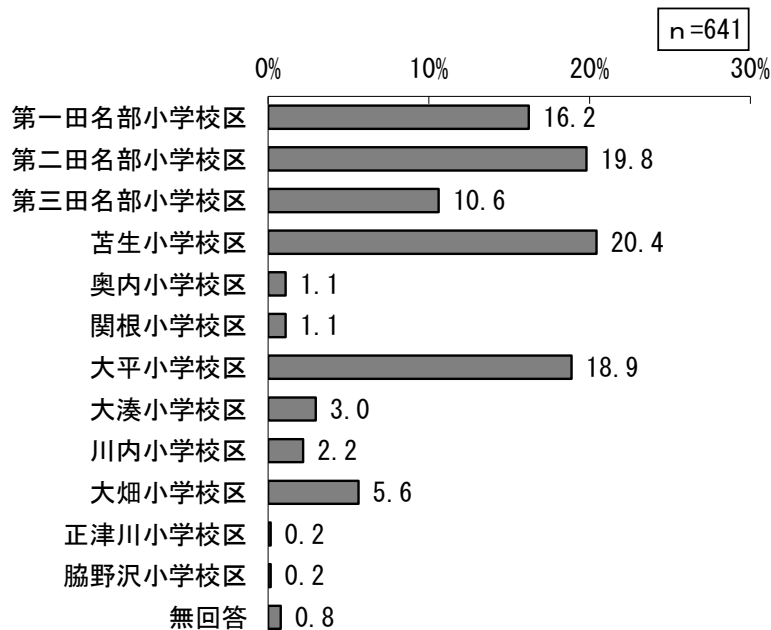
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中および図表中では省略した表現を用いる場合があります。

Ⅱ 調査結果（未就学児）

Ⅱ-1. お子さんご家族について

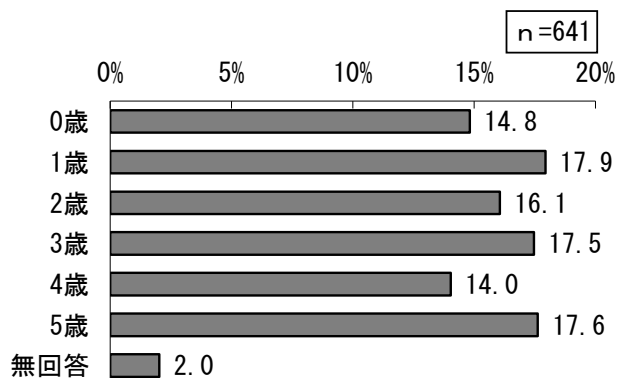
問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

○ 居住地区について、「苫生小学校区」が20.4%と最も割合が高く、次いで「第二田名部小学校区」が19.8%、「大平小学校区」が18.9%となっています。



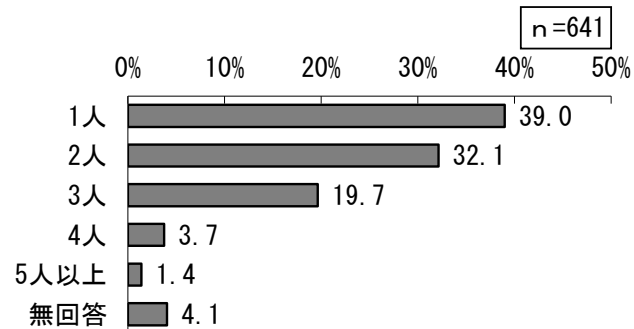
問2 あて名のお子さんの生年月を [] 内に数字でご記入ください。

○ 子どもの年齢について、「1歳」が17.9%と最も割合が高く、次いで「5歳」が17.6%、「3歳」が17.5%となっています。



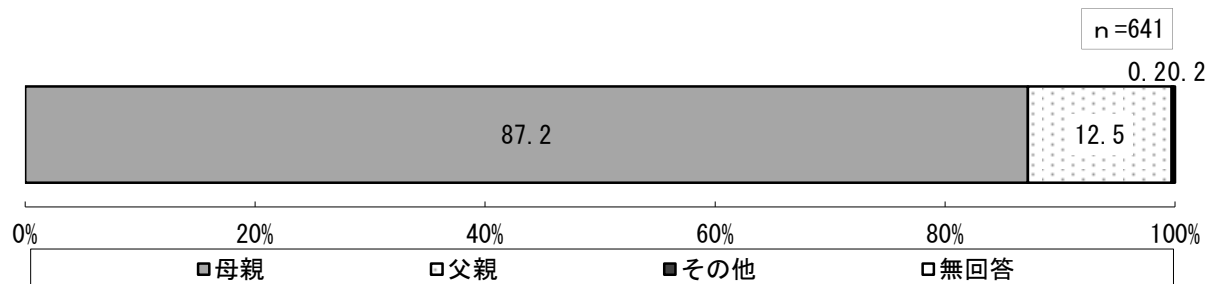
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を[]内に数字でご記入ください。

- きょうだいの人数について、「1人」が39.0%と最も割合が高く、次いで「2人」が32.1%、「3人」が19.7%となっています。



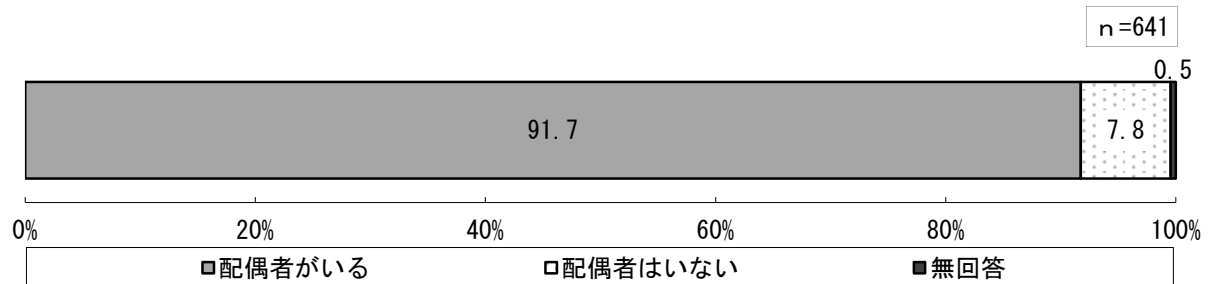
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 回答者について、「母親」が87.2%、「父親」が12.5%、「その他」が0.2%となっています。



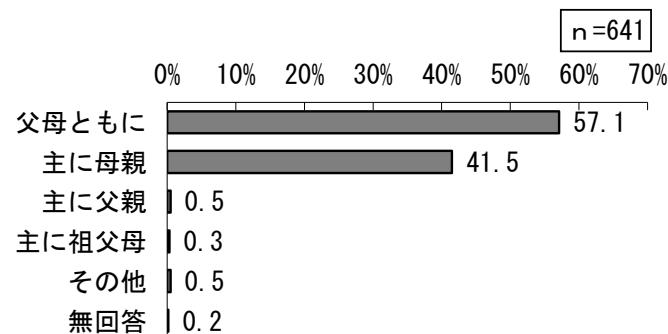
問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が 91.7%、「配偶者はいない」が 7.8%となっています。



問 6 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係であてはまる番号 1 つに○をつけてください。

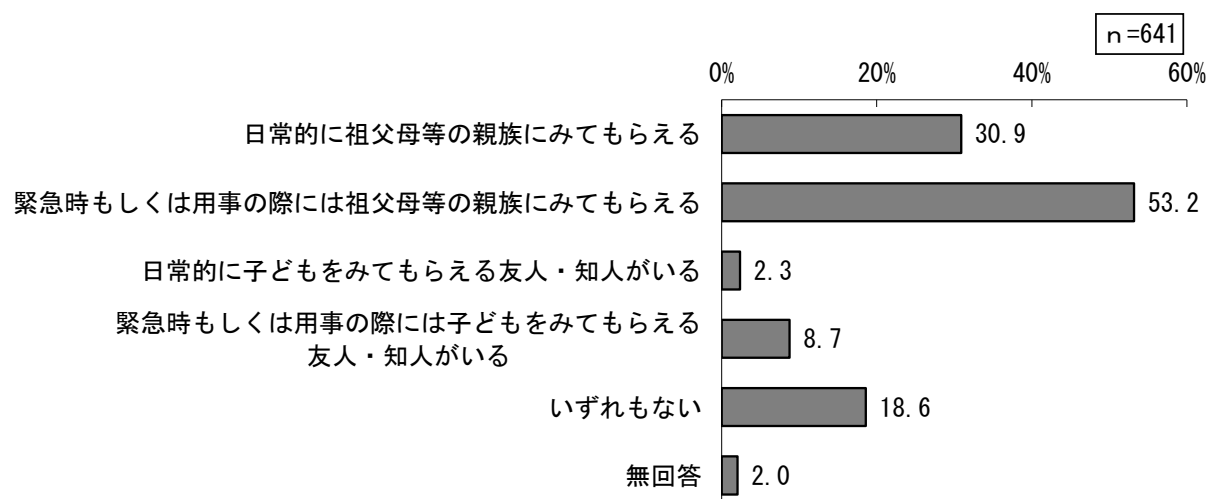
- 子育てを主に行っている方について、「父母ともに」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「主に母親」が 41.5%、「主に父親」と「その他」がともに 0.5%となっています。



Ⅱ-2. 子どもの育ちをめぐる環境について

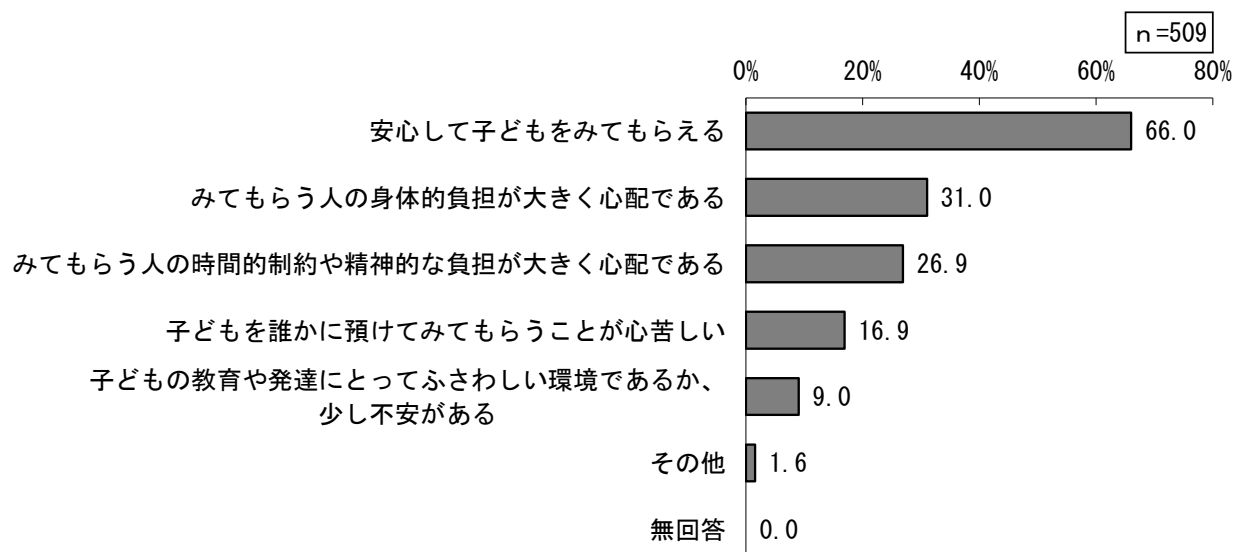
問 7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 日頃子どもをみてもらえる人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.2%と最も割合が高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 30.9%、「いずれもない」が 18.6%となっています。



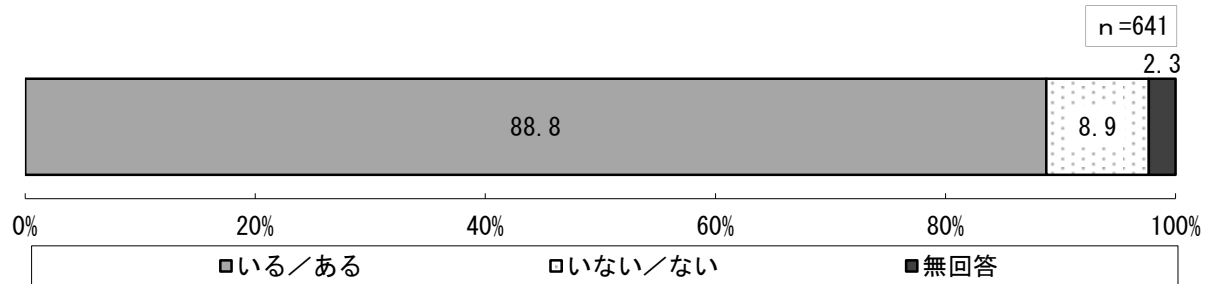
問 7-1 問 7 で「1.」から「4.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について
お答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもをみてもらっている状況について、「安心して子どもをみてもらえる」が 66.0%と最も割合が高く、次いで「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が 31.0%、「みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 26.9%となっています。



問 8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

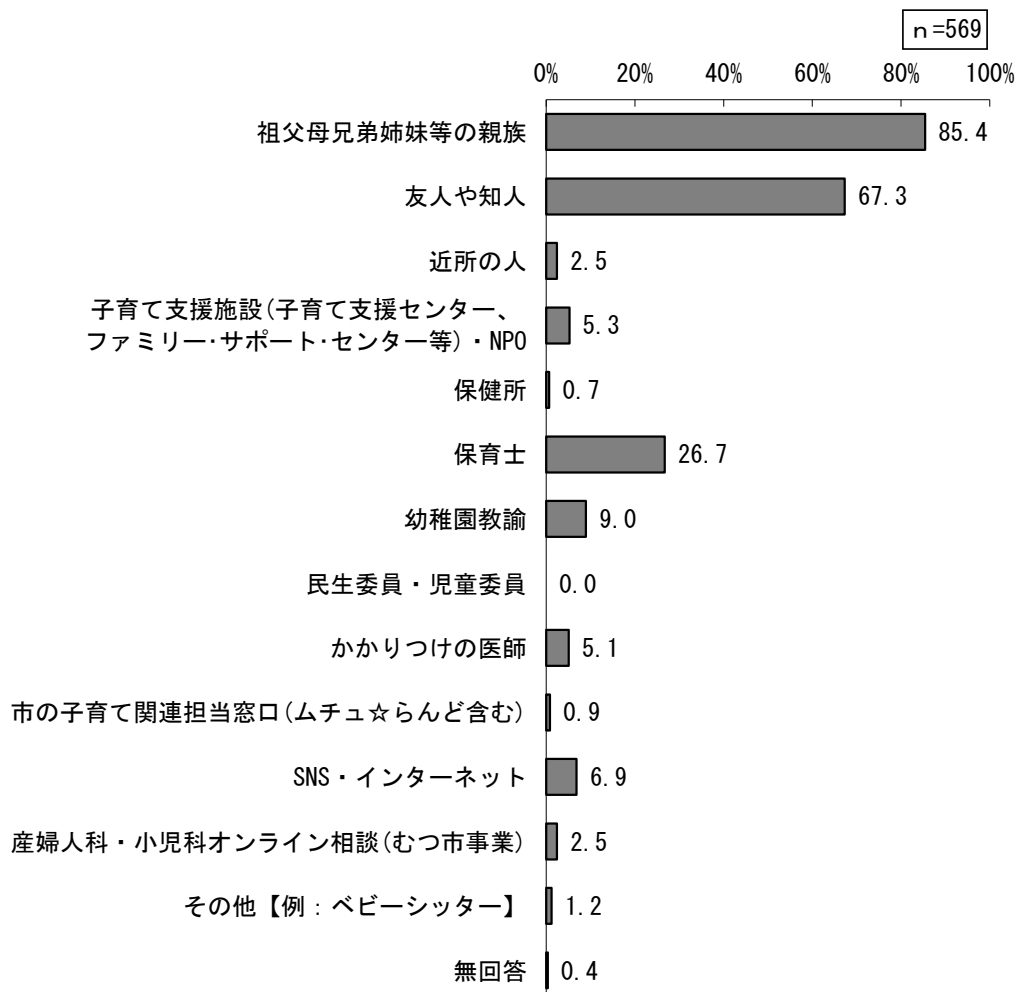
- 気軽に相談できる人や場所の有無について、「いる/ある」が 88.8%、「いない/ない」が 8.9%となっています。



問 8-1 問 8 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号のうち主なもの 3 つまでに○をつけてください。

- 相談先について、「祖父母兄弟姉妹等の親族」が 85.4%と最も割合が高く、次いで「友人や知人」が 67.3%、「保育士」が 26.7%となっています。

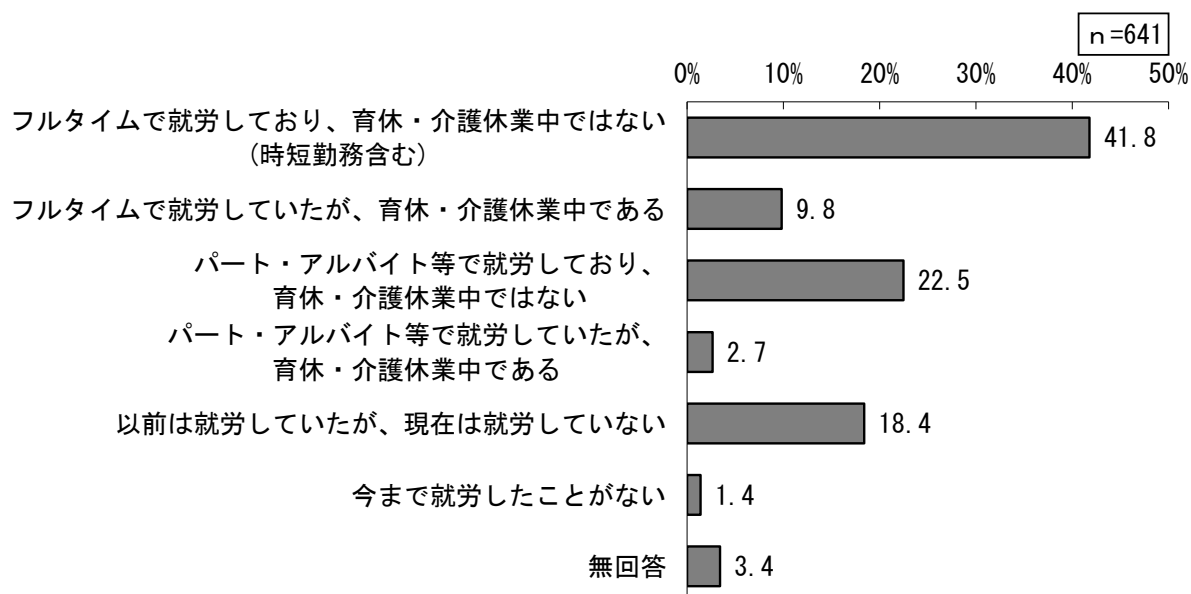


Ⅱ-3. 保護者の方の就労状況について

問9 あて名のお子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。

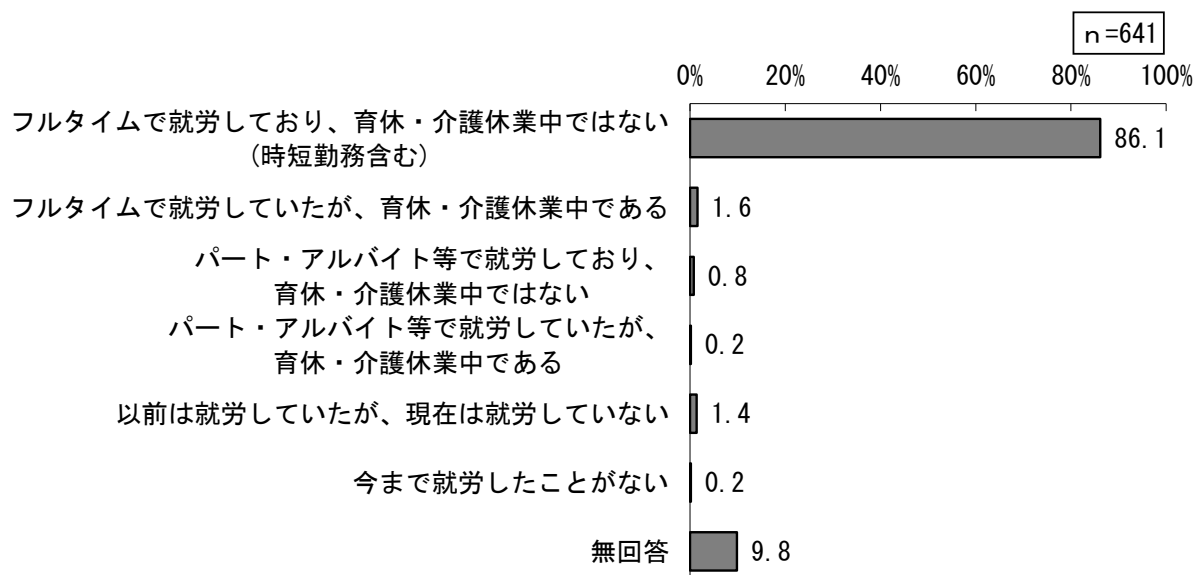
■母親（1つに○）

○ 母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が41.8%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が22.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が18.4%となっています。



■父親（1つに○）

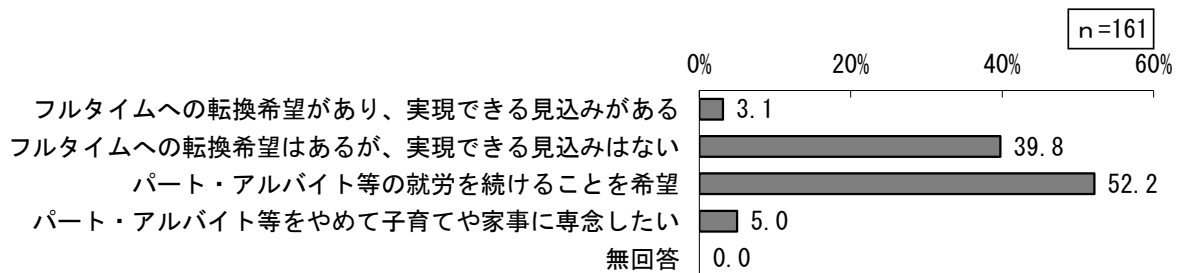
○ 父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.1%と最も割合が高く、次いで「フルタイムで就労していたが、育休・介護休業中である」が1.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.4%となっています。



問 9-1 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 10 以降へお進みください。）フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

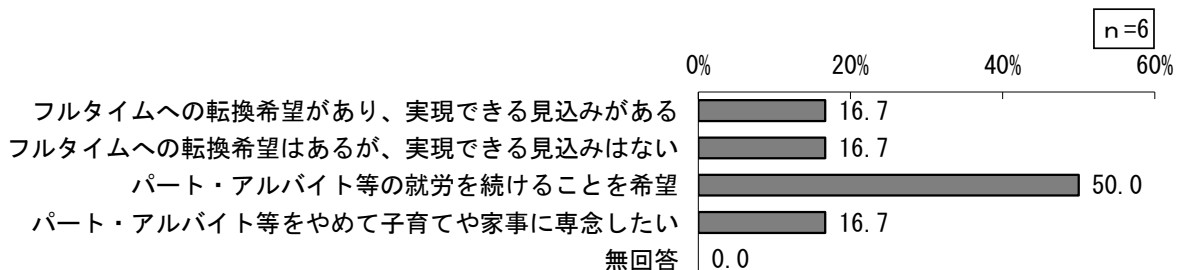
■母親（1 つに○）

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 52.2%と最も割合が高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 39.8%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 5.0%となっています。



■父親（1 つに○）

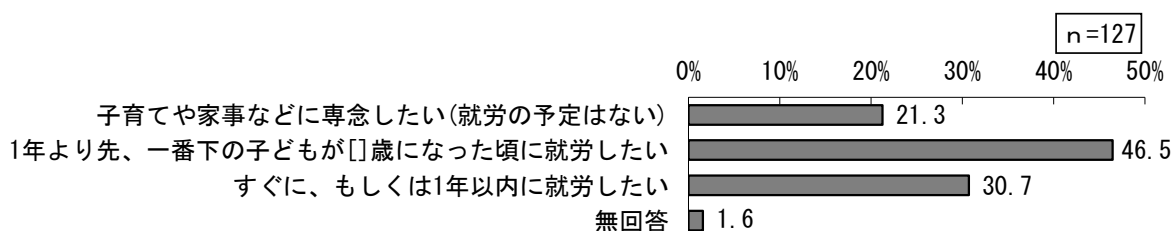
- 父親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.0%（3 人）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がともに 16.7%（各 1 人）となっています。



問 9-2 問 9 で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 10 へお進みください。）就労したいという希望はありますか。

■母親（1 つに○）

- 母親の就労希望について、「1 年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」が 46.5%と最も割合が高く、次いで「すぐに、もしくは 1 年以内に就労したい」が 30.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 21.3%となっています。



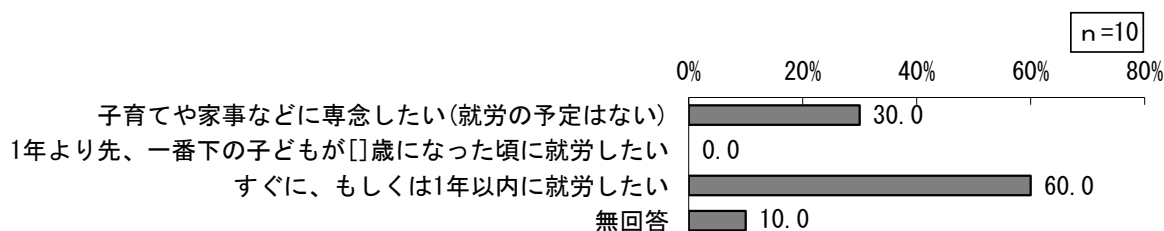
・ 一番下の子どもが●歳になった頃（母親）

n=59

平均年齢	4.81 歳
最 大	12.00 歳
最 小	1.00 歳

■父親（1つに○）

- 父親の就労希望について、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」が60.0%（6人）と最も割合が高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が30.0%（3人）となっています。



・ 一番下の子どもが●歳になった頃（父親）

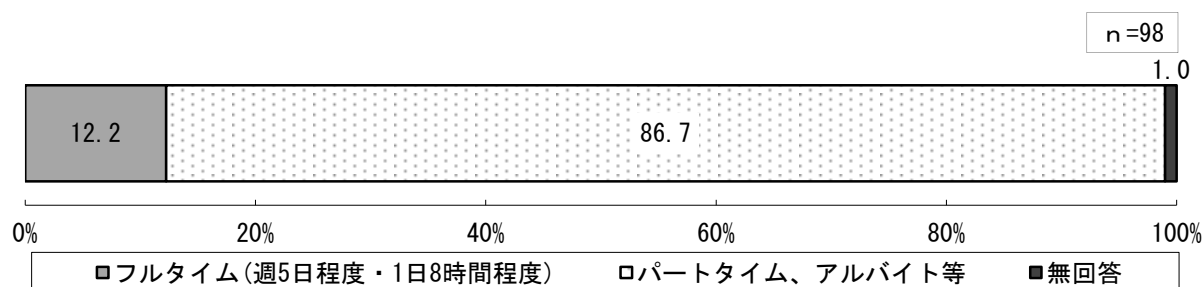
n=0

平均年齢	— 歳
最 大	— 歳
最 小	— 歳

問 9-3 問 9-2 で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。
希望する就労形態をお答えください。

■母親（1つに○）

- 母親の希望する就労形態について、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）」が12.2%、「パートタイム、アルバイト等」が86.7%となっています。



・ 1 週あたり（パートタイム、アルバイト等 母親）

n=85

平均日数	3.98 日
最 大	5.00 日
最 小	2.00 日

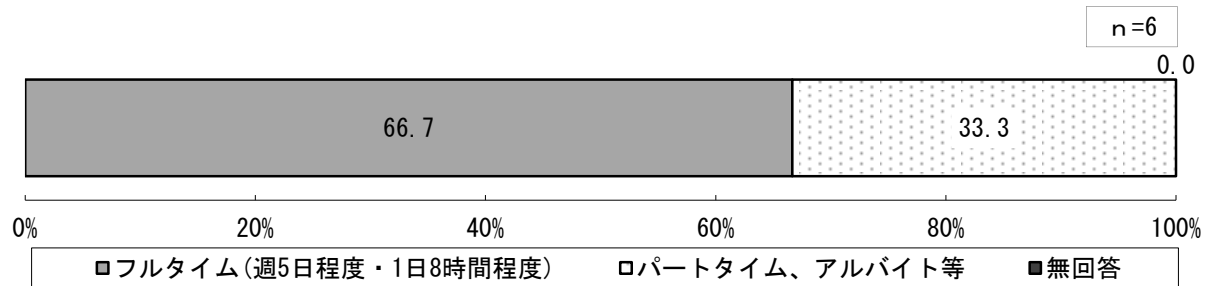
・ 1 日あたり（パートタイム、アルバイト等 母親）

n=84

平均時間	4.90 時間
最 大	8.00 時間
最 小	3.00 時間

■父親（１つに○）

- 父親の希望する就労形態について、「フルタイム（週５日程度・１日８時間程度）」が 66.7%（４人）、「パートタイム、アルバイト等」が 33.3%（２人）となっています。



・ 1 週あたり（パートタイム、アルバイト等 父親）

n = 2

平均日数	4.00 日
最 大	4.00 日
最 小	4.00 日

・ 1 日あたり（パートタイム、アルバイト等 父親）

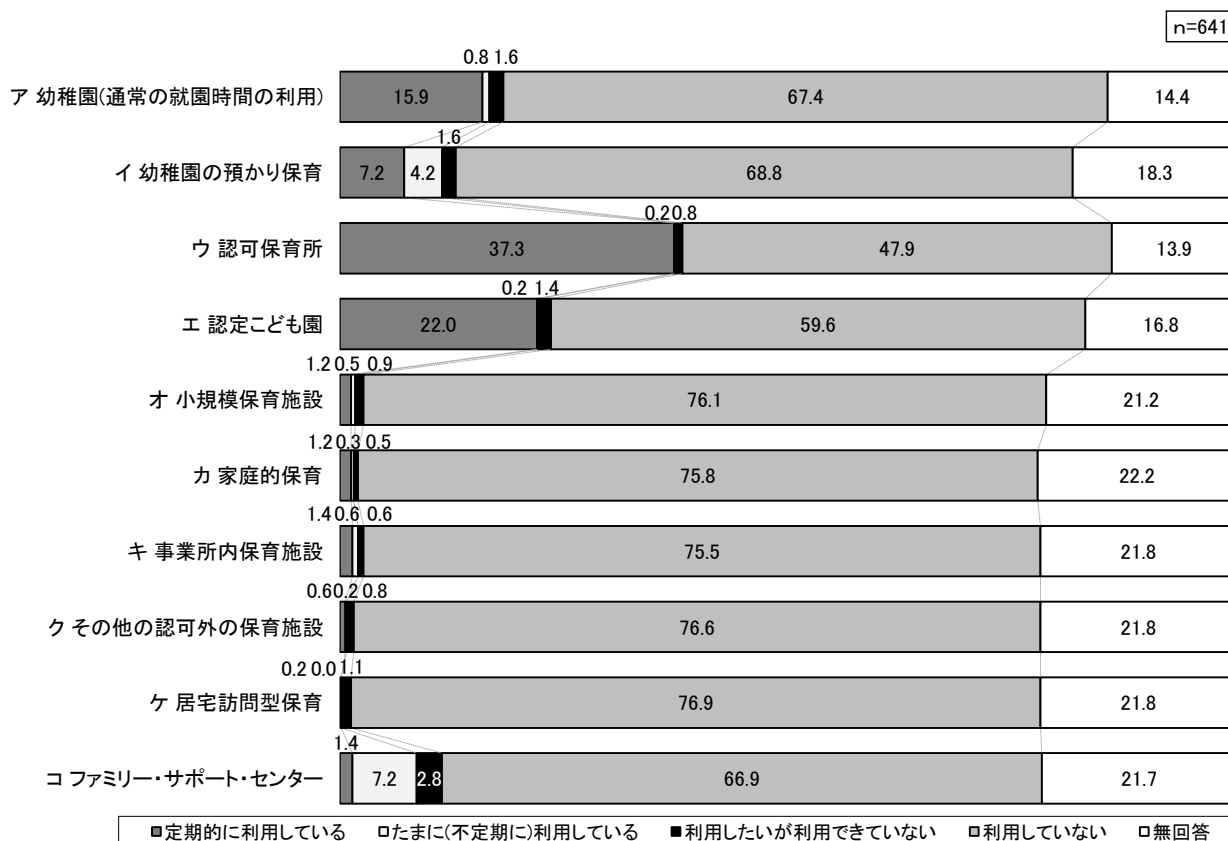
n = 2

平均時間	5.50 時間
最 大	6.00 時間
最 小	5.00 時間

Ⅱ-4. 日常的な教育・保育施設等の利用について

問 10 あて名のお子さんは、現在「定期的に」以下の事業を利用していますか。アからコの実業それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

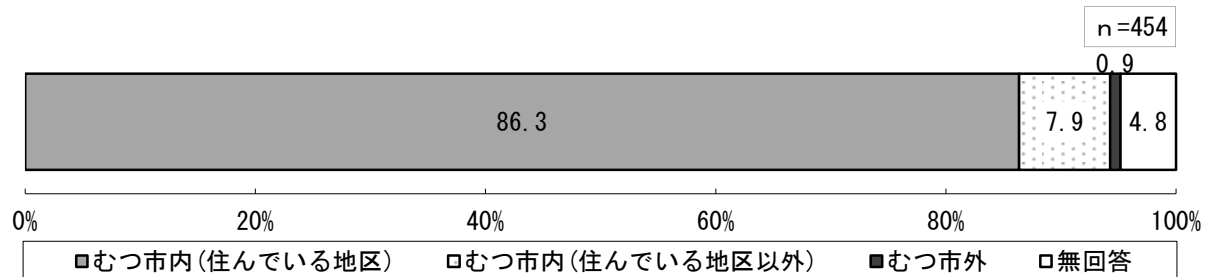
- 教育・保育事業の利用について、「定期的に利用している」では「ウ 認可保育所」が 37.3%と最も割合が高く、次いで「エ 認定こども園」が 22.0%、「ア 幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 15.9%となっています。
- すべての教育・保育事業で「利用したいが利用できていない」の回答がみられます。



問 10-1 問 10 でアからコのいずれかの事業で「1」または「2」に○をつけた方に
うかがいます。

現在、利用している教育・保育施設等の実施場所はどちらですか。利用中
の主な施設について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

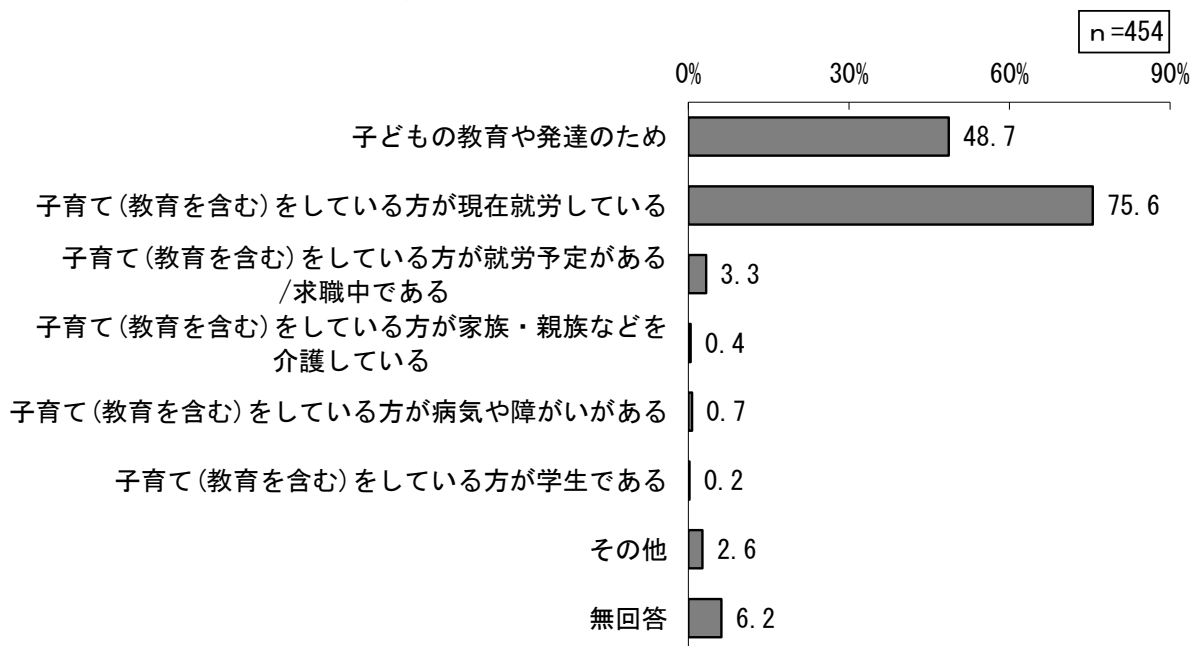
- 利用している教育・保育施設等の実施場所について、「むつ市内（住んでいる
地区）」が 86.3%、「むつ市内（住んでいる地区以外）」が 7.9%、「むつ市
外」が 0.9%となっています。



問 10-2 問 10 でアからコのいずれかの事業で「1」または「2」に○をつけた方に
うかがいます。

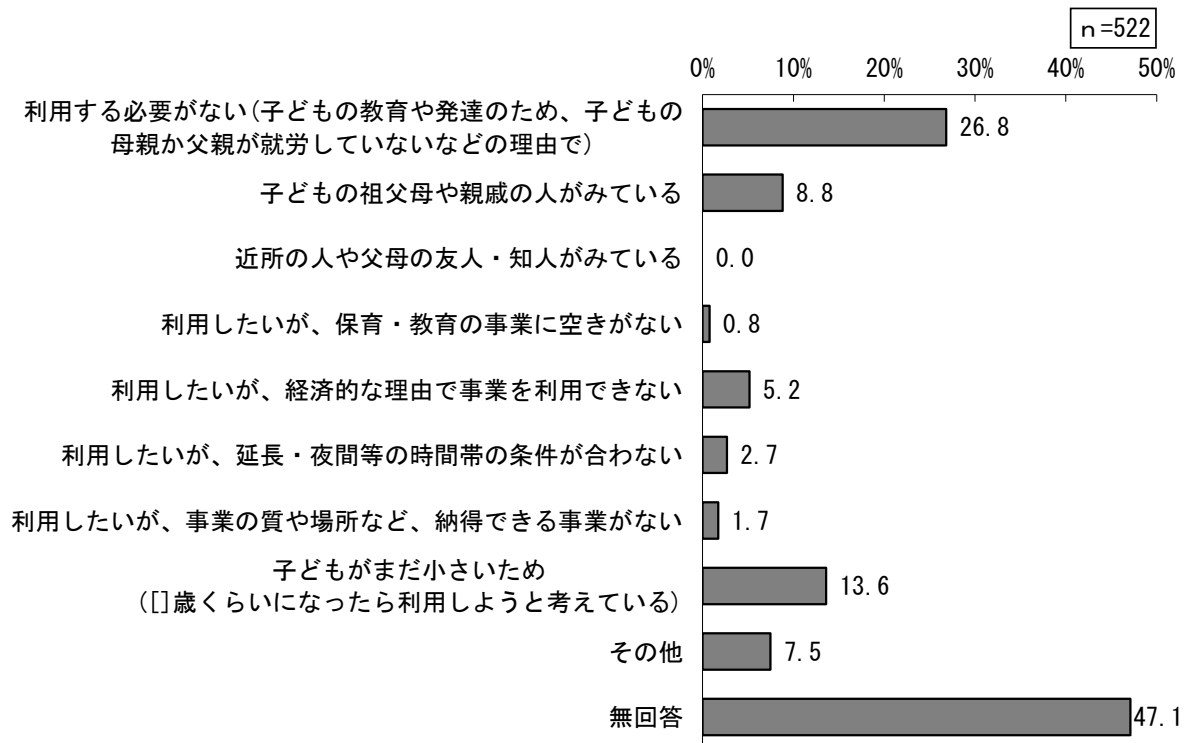
平日に定期的に教育・保育施設等を利用されている理由についてうかがい
ます。主な理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 平日に定期的に教育・保育施設等を利用している理由について、「子育て（教
育を含む）をしている方が現在就労している」が 75.6%と最も割合が高く、次
いで「子どもの教育や発達のため」が 48.7%、「子育て（教育を含む）をして
いる方が就労予定がある/求職中である」が 3.3%となっています。



問 10-3 問 10 でアからコのいずれかの事業で「3」または「4」に○をつけた方
 うかがいます。
 利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○
 をつけてください。

- 教育・保育施設等を定期的に利用していない理由について、「利用する必要が
 ない」が26.8%と最も割合が高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が13.6%、
 「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が8.8%となっています。



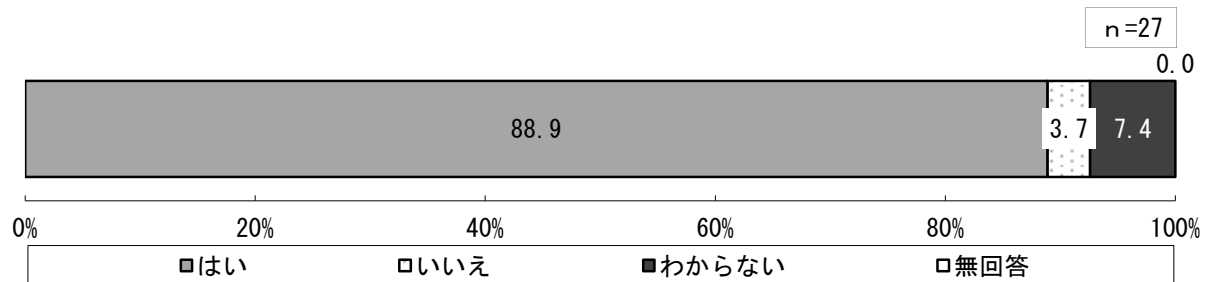
・ 子どもが●歳くらいになったら（利用しない理由） n=71

平均年齢	2.03 歳
最 大	7.00 歳
最 小	0.00 歳

問 10-4 問 10-3 で「5.」に○をつけた方にうかがいます。

今後、幼児教育・保育が無償化となった場合、教育・保育施設等を利用したいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

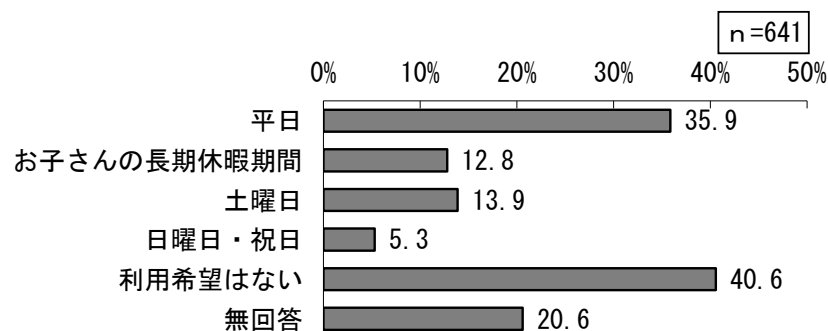
- 幼児教育・保育が無償化となった場合の利用希望について、「はい」が 88.9%（24 人）、「いいえ」が 3.7%（1 人）、「わからない」が 7.4%（2 人）となっています。



問 11 問 11 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育施設等として、「定期的に」利用したい施設等に、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

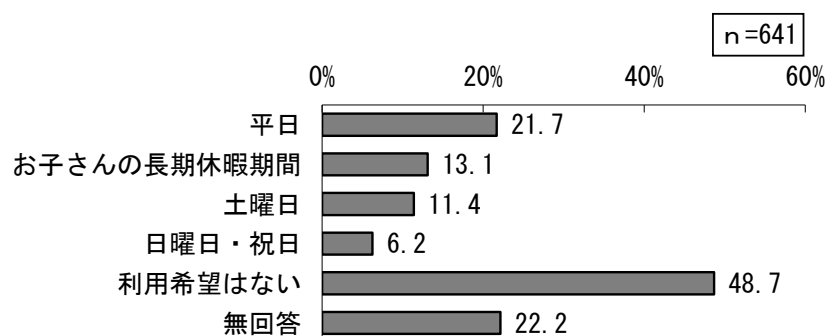
■ア 幼稚園（通常の就園時間の利用）

- 幼稚園の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 40.6%と最も割合が高く、次いで「平日」が 35.9%、「土曜日」が 13.9%となっています。



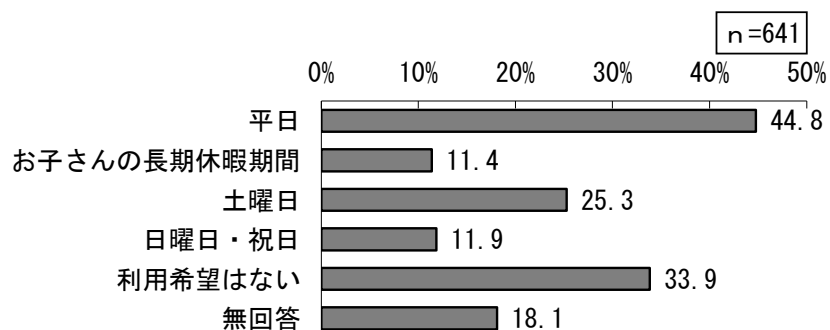
■イ 幼稚園の預かり保育

- 幼稚園の預かり保育の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 48.7%と最も割合が高く、次いで「平日」が 21.7%、「お子さんの長期休暇期間」が 13.1%となっています。



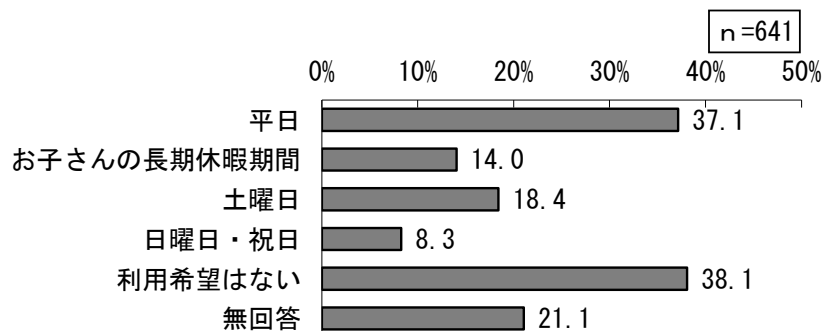
■ウ 認可保育所

- 認可保育所の定期的な利用希望について、「平日」が44.8%と最も割合が高く、次いで「利用希望はない」が33.9%、「土曜日」が25.3%となっています。



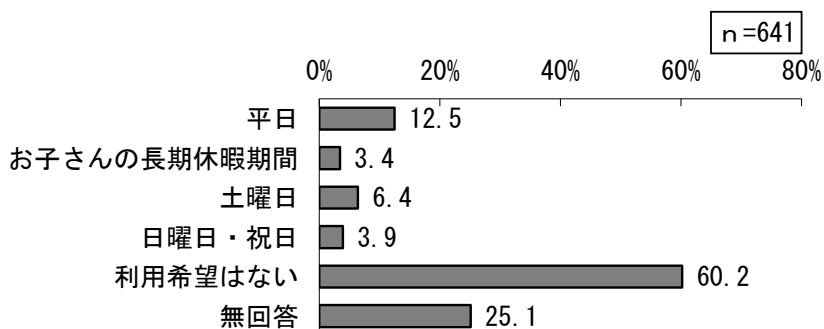
■エ 認定こども園

- 認定こども園の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が38.1%と最も割合が高く、次いで「平日」が37.1%、「土曜日」が18.4%となっています。



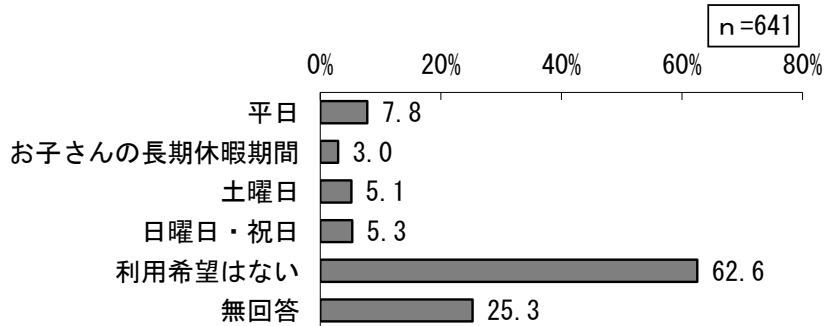
■オ 小規模保育施設

- 小規模保育施設の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が60.2%と最も割合が高く、次いで「平日」が12.5%、「土曜日」が6.4%となっています。



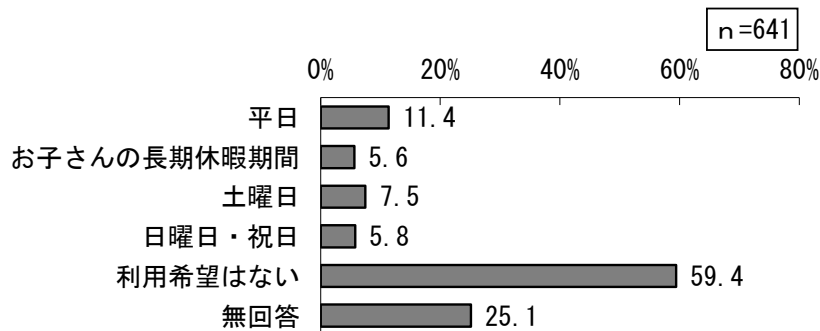
■カ 家庭的保育

- 家庭的保育の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 62.6%と最も割合が高く、次いで「平日」が 7.8%、「日曜日・祝日」が 5.3%となっています。



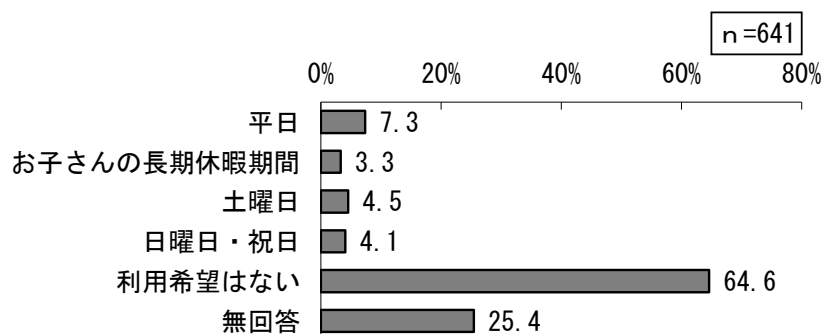
■キ 事業所内保育施設

- 事業所内保育施設の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 59.4%と最も割合が高く、次いで「平日」が 11.4%、「土曜日」が 7.5%となっています。



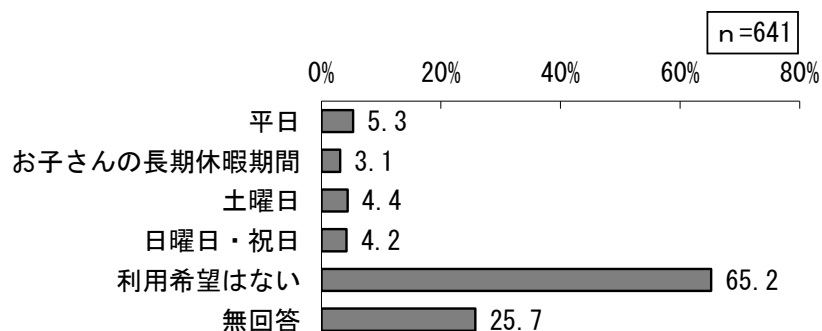
■ク その他の認可外の保育施設

- その他の認可外の保育施設の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 64.6%と最も割合が高く、次いで「平日」が 7.3%、「土曜日」が 4.5%となっています。



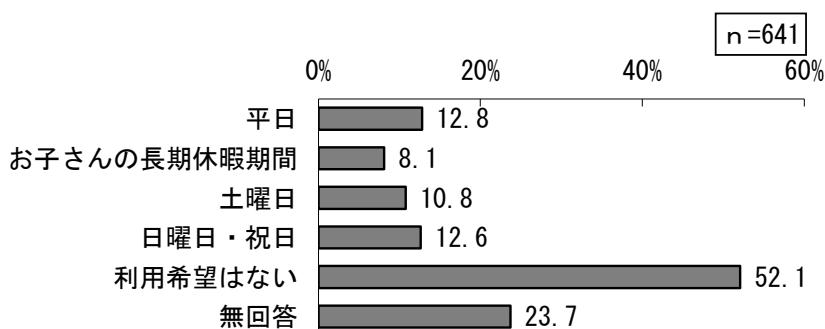
■ケ 居宅訪問型保育

- 居宅訪問型保育の定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 65.2%と最も割合が高く、次いで「平日」が 5.3%、「土曜日」が 4.4%となっています。



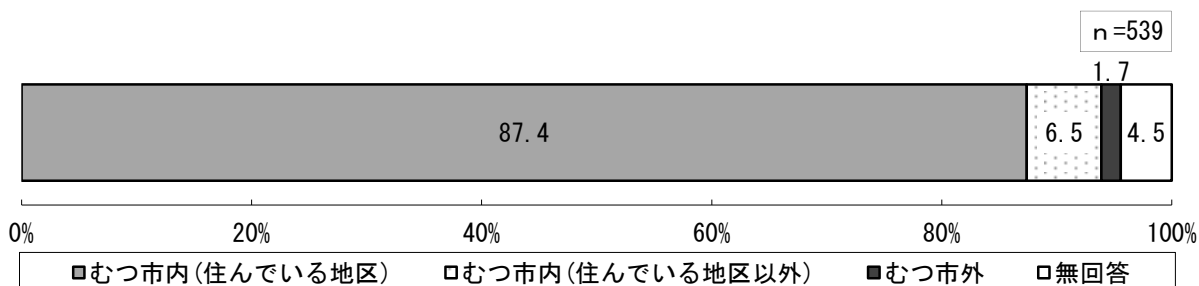
■コ ファミリー・サポート・センター

- ファミリー・サポート・センターの定期的な利用希望について、「利用希望はない」が 52.1%と最も割合が高く、次いで「平日」が 12.8%、「日曜日・祝日」が 12.6%となっています。



問 11-1 問 11 でアからコの事業のいずれかで「1」から「4」に○をつけた方にうかがいます。
○をつけた教育・保育施設等について、主に利用したい場所はどこですか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

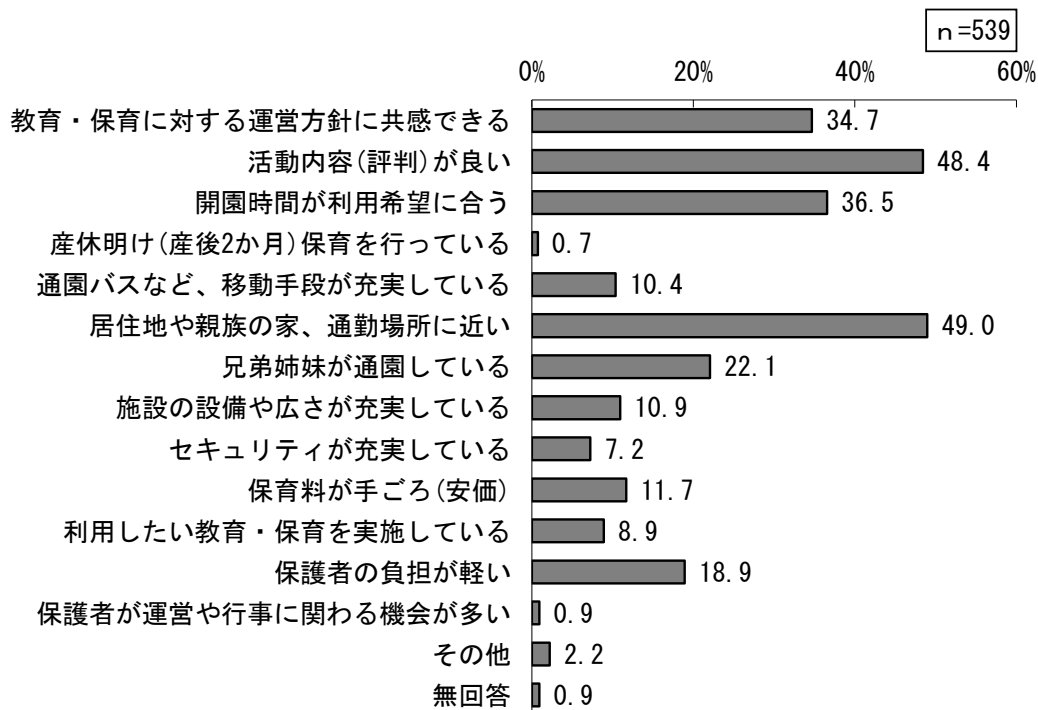
- 教育・保育施設等を主に利用したい場所について、「むつ市内（住んでいる地区）」が 87.4%、「むつ市内（住んでいる地区以外）」が 6.5%、「むつ市外」が 1.7%となっています。



問 11-2 問 11 でアからコの事業のいずれかで「1」から「4」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんを預ける教育・保育施設等を選ぶ際にどのようなことを重視しますか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

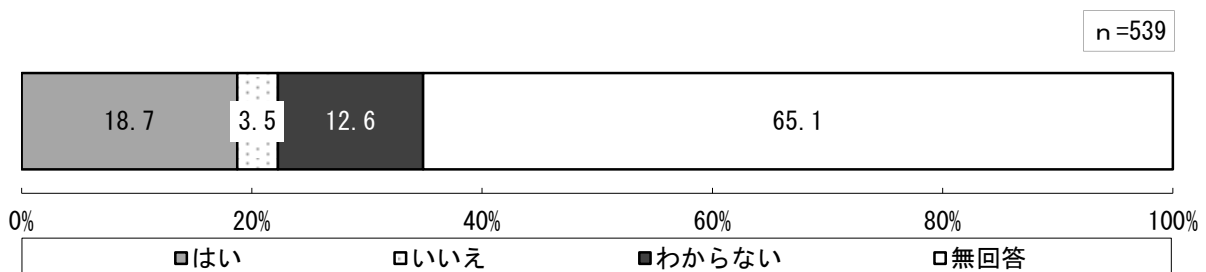
- 教育・保育施設等を選ぶ際に重視することについて、「居住地や親族の家、通勤場所に近い」が 49.0%と最も割合が高く、次いで「活動内容（評判）が良い」が 48.4%、「開園時間が利用希望に合う」が 36.5%となっています。



問 11-3 問 11 でアまたはイのいずれかで「1」から「4」に○をつけ、かつ、ウからコでもいずれかで「1」から「4」に○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 幼稚園の利用を強く希望するかについて、「はい」が 18.7%、「いいえ」が 3.5%、「わからない」が 12.6%となっています。

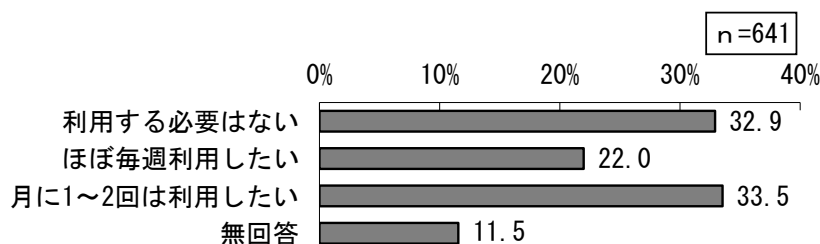


Ⅱ-5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設等の利用について

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に「定期的」な教育・保育施設等の利用希望はありますか。（一時的な利用、親族・知人による預かりは除きます）

■土曜日（1つに○。〔〕内は数字記入）

○ 土曜日の定期的な教育・保育施設等の利用希望について、「月に1～2回は利用したい」が33.5%と最も割合が高く、次いで「利用する必要はない」が32.9%、「ほぼ毎週利用したい」が22.0%となっています。



・ 開始時刻（月に1～2回は利用したい 土曜日） n=344

平均時刻	8:17
最 大	13:00
最 小	6:00

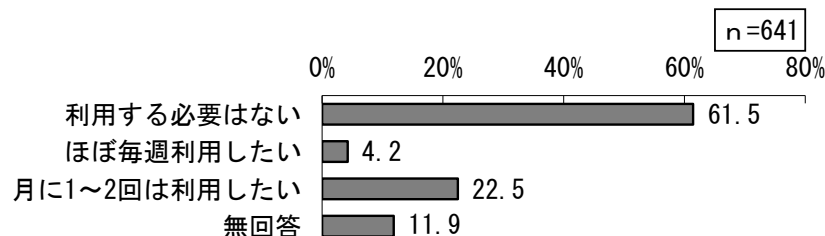
・ 終了時刻（月に1～2回は利用したい 土曜日） n=342

平均年齢	16:35
最 大	23:00
最 小	12:00

※「0時～23時まで」「20時～1時まで」の回答事例有り

■日曜日・祝日（1つに○。〔〕内は数字記入）

○ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育施設等の利用希望について、「利用する必要はない」が61.5%と最も割合が高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が22.5%、「ほぼ毎週利用したい」が4.2%となっています。



- ・ 開始時刻（月に1～2回は利用したい 日曜日・祝日） n=167

平均時刻	8:35
最 大	19:00
最 小	7:00

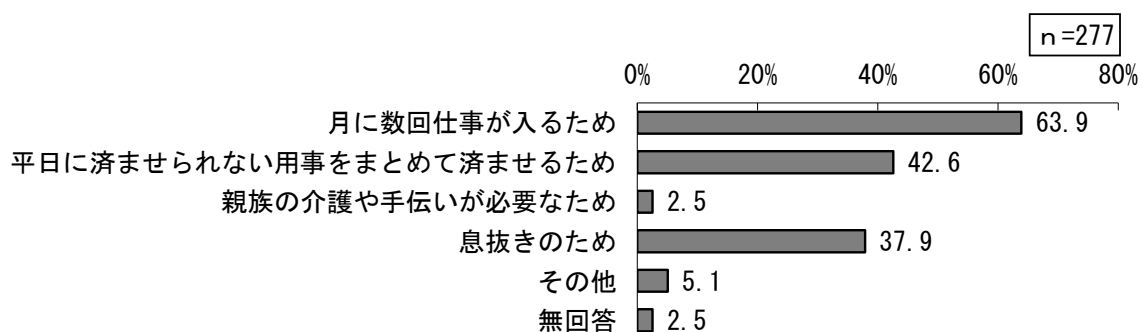
- ・ 終了時刻（月に1～2回は利用したい 日曜日・祝日） n=167

平均年齢	16:48
最 大	23:00
最 小	12:00

※「0時～23時まで」「20時～1時まで」の回答事例有り

問 12-1 問 12 の「土曜日」もしくは「日曜日・祝日」で「3.」に○をつけた方に
うかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号すべ
てに○をつけてください。

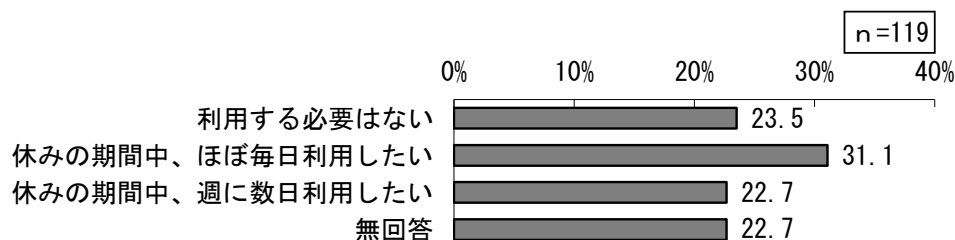
- たまに利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」が63.9%と最も割合が高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が42.6%、「息抜きのため」が37.9%となっています。



問 13 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・
保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけ、[]
内に数字をご記入ください。

- 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、ほぼ毎日
利用したい」が31.1%と最も割合が高く、次いで「利用する必要はない」が23.5%、
「休みの期間中、週に数日利用したい」が22.7%となっています。



- ・ 開始時刻（休みの期間中、ほぼ毎日利用したい） n=36

平均時刻	8:08
最 大	9:00
最 小	7:00

- ・ 終了時刻（休みの期間中、ほぼ毎日利用したい） n=36

平均時刻	16:14
最 大	18:00
最 小	12:00

- ・ 開始時刻（休みの期間中、週に数日利用したい） n=27

平均時刻	8:37
最 大	10:00
最 小	7:00

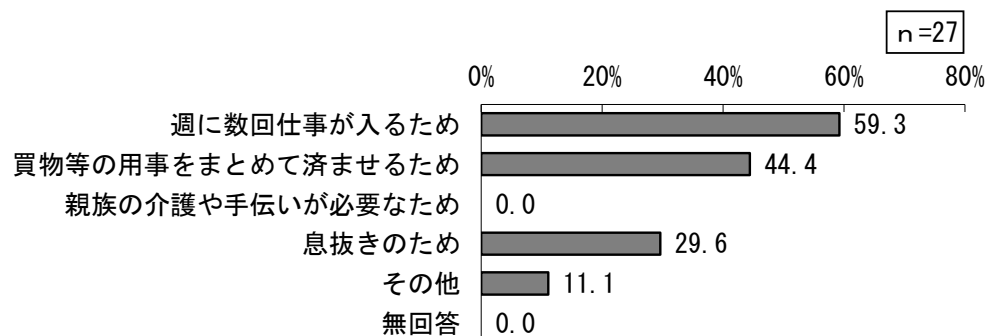
- ・ 終了時刻（休みの期間中、週に数日利用したい） n=27

平均時刻	14:67
最 大	17:00
最 小	12:00

問 13-1 問 13 で「3.」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

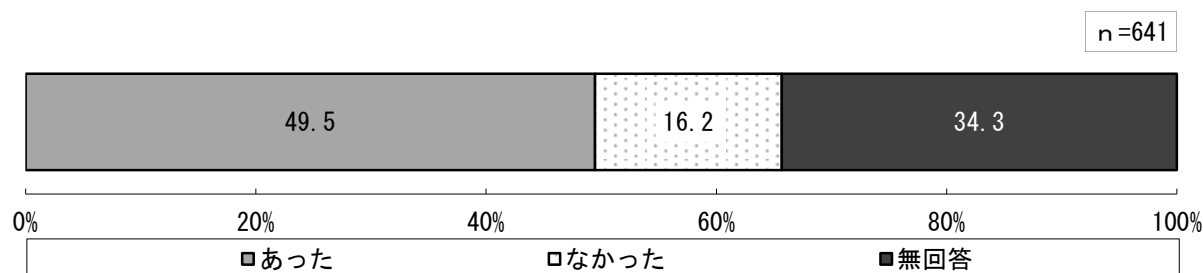
- たまに利用したい理由について、「週に数回仕事が入るため」が 59.3%（16 人）と最も割合が高く、次いで「買物等の用事をまとめて済ませるため」が 44.4%（12 人）、「息抜きのため」が 29.6%（8 人）となっています。



Ⅱ-6. 病気の際の対応について

問 14 この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、教育・保育施設等を利用できなかったことはありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

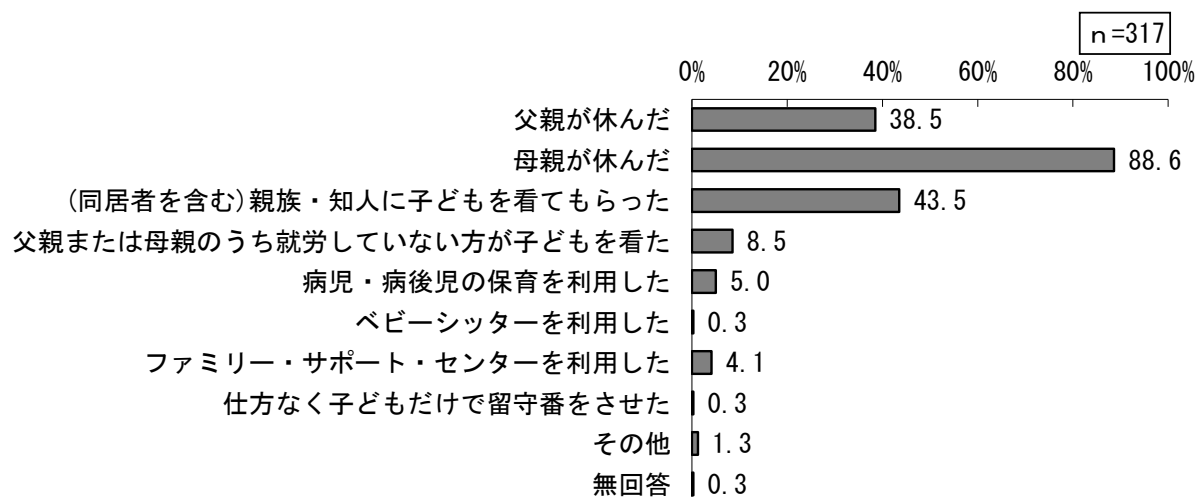
- 子どもの病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった経験について、「あった」が 49.5%、「なかった」が 16.2%となっています。



問 14-1 問 14 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが病気やケガで、利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この１年間、どのような対処をしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

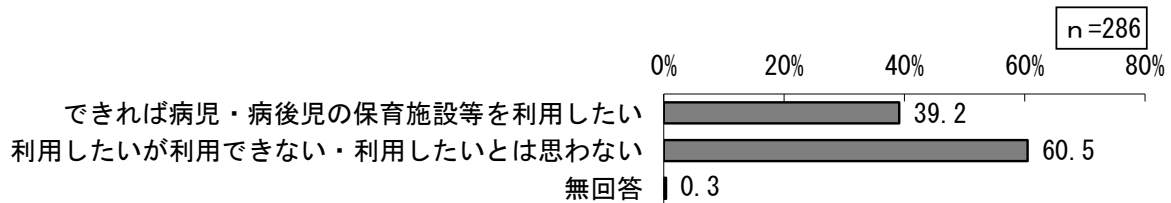
- 教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法について、「母親が休んだ」が 88.6%と最も割合が高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が 43.5%、「父親が休んだ」が 38.5%となっています。



問 14-2 問 14-1 で「(1)」または「(2)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

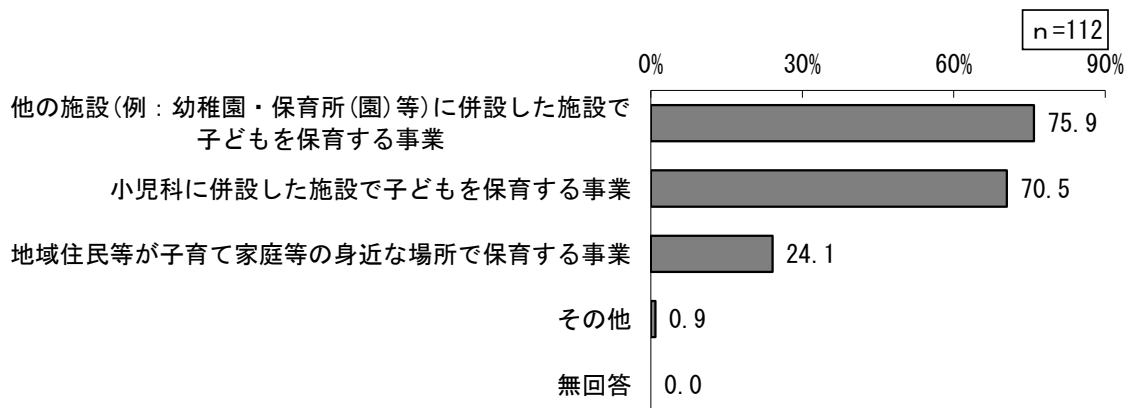
- 病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったかについて、「利用したいが利用できない・利用したいとは思わない」が 60.5%と最も割合が高く、次いで「できれば病児・病後児の保育施設等を利用したい」が 39.2%となっています。



問 14-3 問 14-2 で「1。」に○をつけた方にうかがいます。

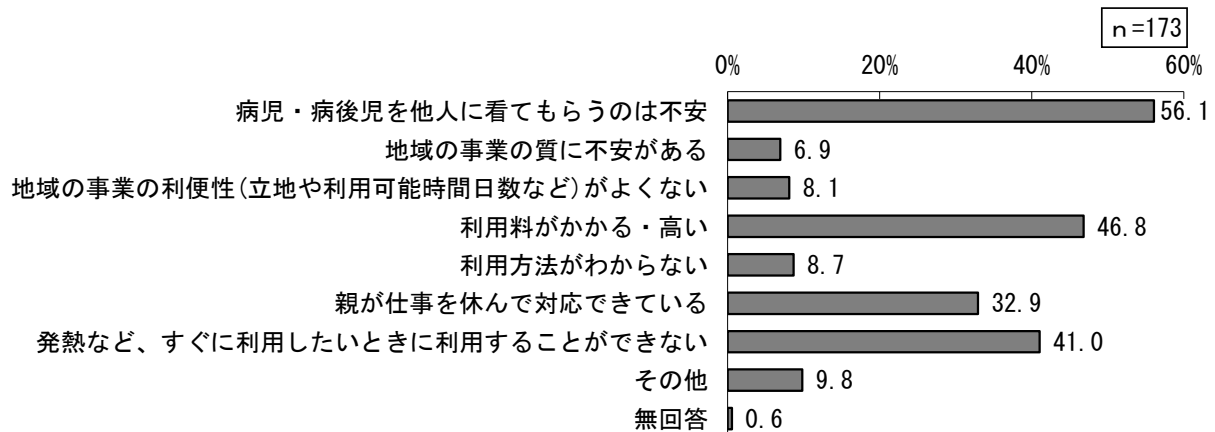
病児・病後児の保育施設等を利用する場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 病児・病後児保育施設等を利用する際の望ましい事業形態について、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 75.9%と最も割合が高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 24.1%となっています。



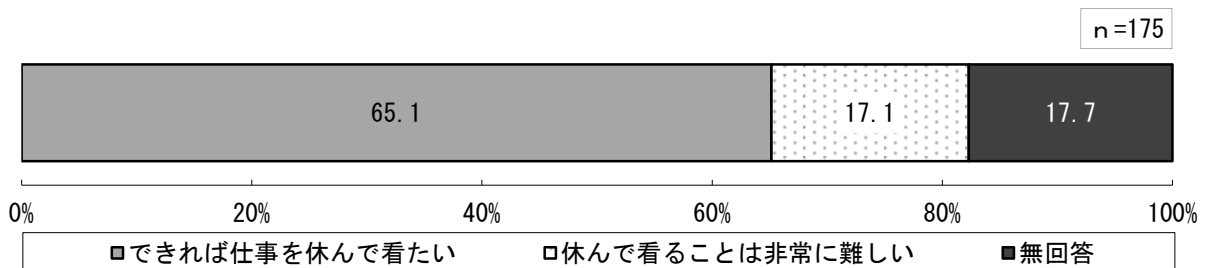
問 14-4 問 14-2 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。利用したいとは思わない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 利用したいとは思わない理由について、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 56.1%と最も割合が高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 46.8%、「発熱など、すぐに利用したいときに利用することができない」が 41.0%となっています。



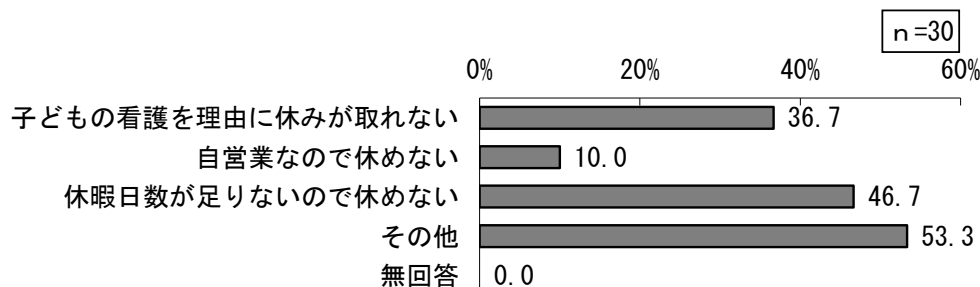
問 14-5 問 14-1 で「(3)」から「(9)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

- 両親のいずれかが仕事を休んで看たいかについて、「できれば休んで看たい」が 65.1%、「休んで看ることは非常に難しい」が 17.1%となっています。



問 14-6 問 14-5 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。そのように思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

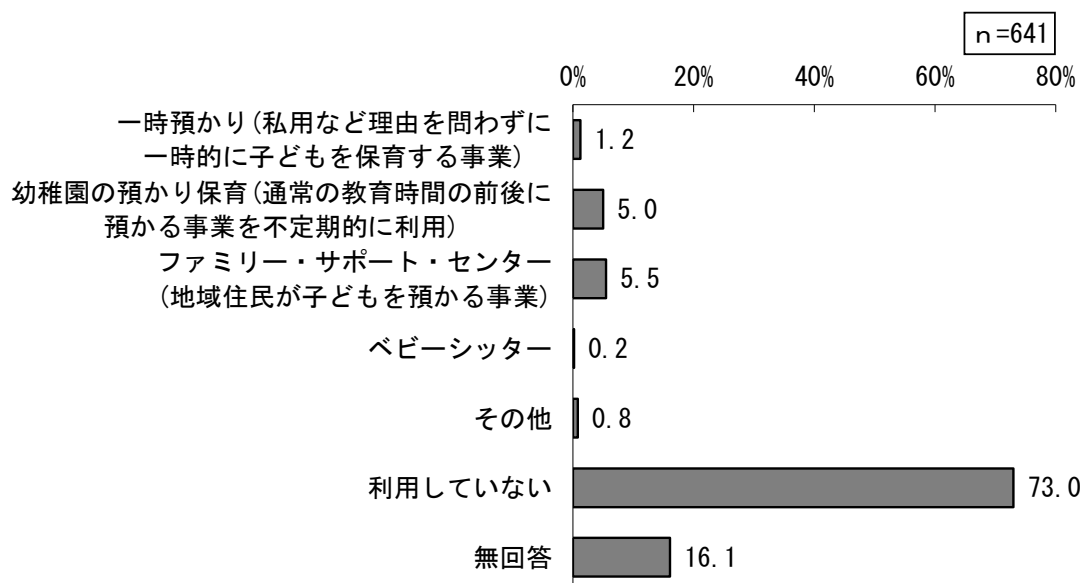
- 休んで看ることが難しい理由について、「その他」が 53.3% (16 人) と最も割合が高く、次いで「休假日数が足りないので休めない」が 46.7% (14 人)、「子どもの看護を理由に休みが取れない」が 36.7% (11 人) となっています。



Ⅱ-7. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

問 15 保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんが不
定期に利用している事業はありますか。（子どもや保護者の病気は除きます）
あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数を〔 〕内に
数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてくだ
さい。）

- 不定期に利用している事業について、「利用していない」が73.0%と最も割合
が高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が5.5%、「幼稚園の預か
り保育」が5.0%となっています。



・ 日数（一時預かり） n=5

平均日数	9.20 日/年
最 大	24.00 日/年
最 小	3.00 日/年

・ 日数（幼稚園の預かり保育） n=27

平均日数	76.11 日/年
最 大	250.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・ 日数（ファミリー・サポート・センター） n=30

平均日数	13.00 日/年
最 大	110.00 日/年
最 小	1.00 日

・ 日数（ベビーシッター）

n = 1

平均日数	24.00 日/年
最 大	24.00 日/年
最 小	24.00 日/年

・ 日数（その他）

n = 5

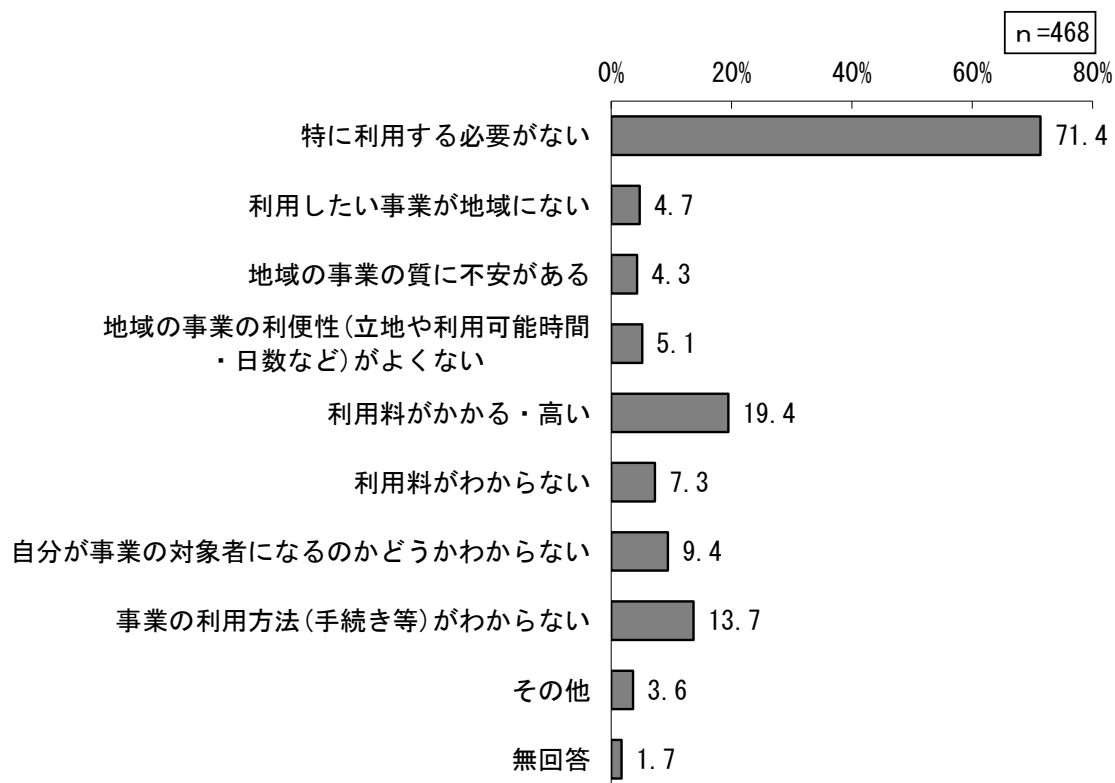
平均日数	82.80 日/年
最 大	297.00 日/年
最 小	2.00 日/年

※最大の 297.00 日/年は回答を基に算出

問 15-1 問 15 で「(6)」に○をつけた方にうかがいます。

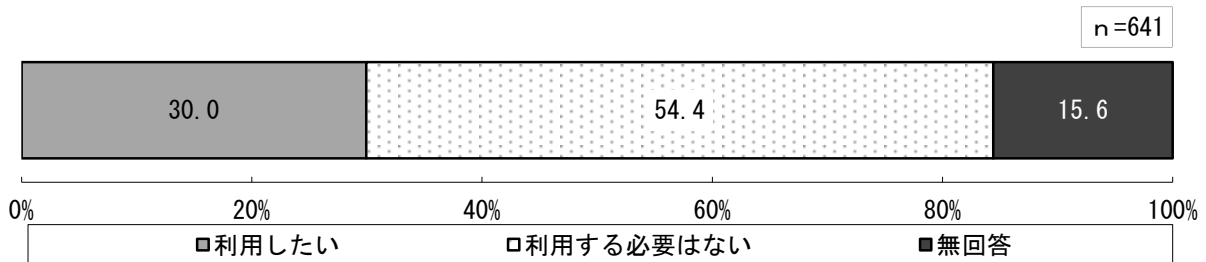
現在利用していない理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 不定期の教育・保育事業を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が 71.4%と最も割合が高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 19.4%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 13.7%となっています。



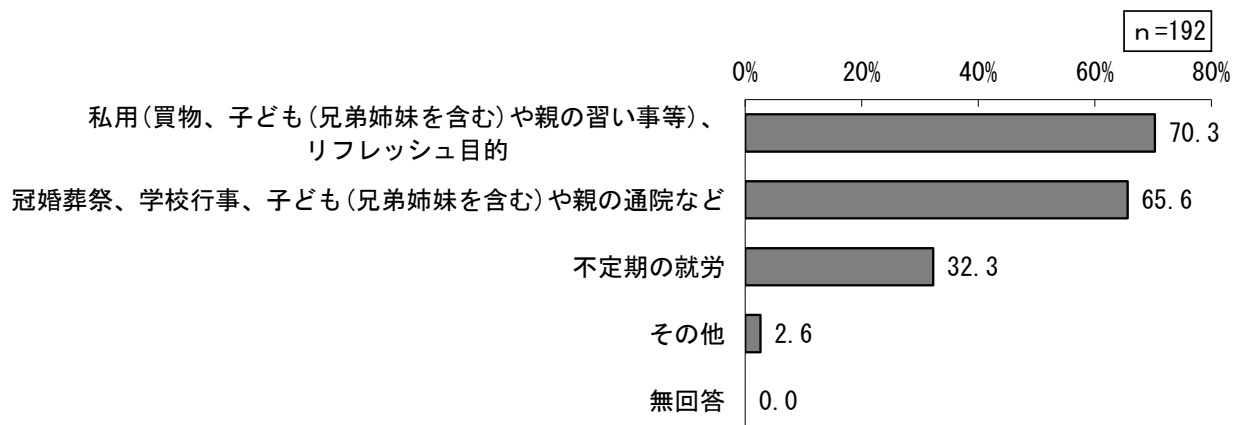
問 16 保護者の私用や通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんの不定期に利用する事業が年間何日くらい必要だと思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。利用希望のある場合は、目的ごとに、1 年間のおおよそ利用日数を[]内に数字でご記入ください。

- 不定期な教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が 30.0%、「利用する必要はない」が 54.4%となっています。



■ 不定期な教育・保育事業を利用したい場合の目的

- 不定期な教育・保育事業を利用したい場合の目的について、「私用、リフレッシュ目的」が 70.3%と最も割合が高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が 65.6%、「不定期の就労」が 32.3%となっています。



・ 日数 (私用、リフレッシュ目的)

n=115

平均日数	12.35 日/年
最 大	96.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・ 日数 (冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など)

n=111

平均日数	10.92 日/年
最 大	240.00 日/年
最 小	0.00 日/年

・ 日数 (不定期の就労)

n=47

平均日数	20.21 日/年
最 大	240.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・日数（その他）

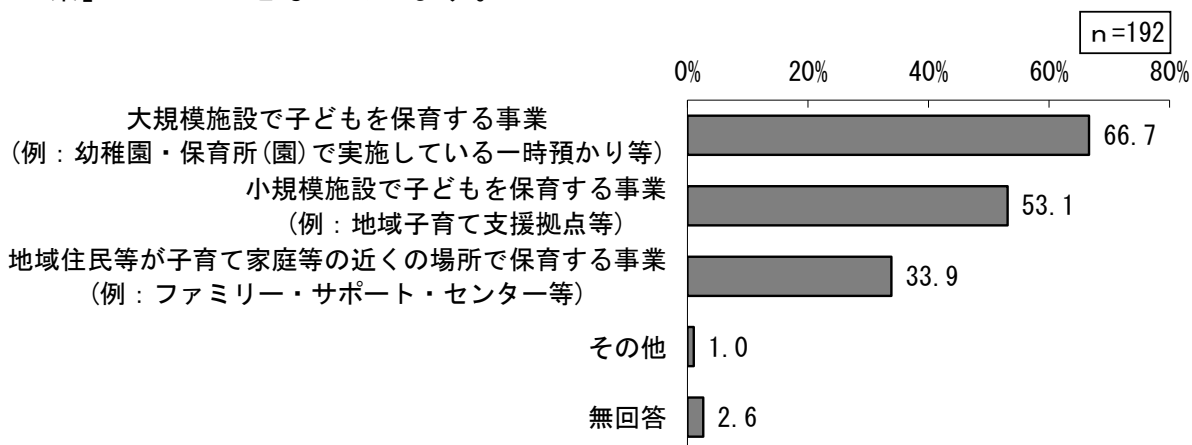
n = 4

平均日数	12.50 日/年
最 大	24.00 日/年
最 小	0.00 日/年

問 16-1 問 16 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

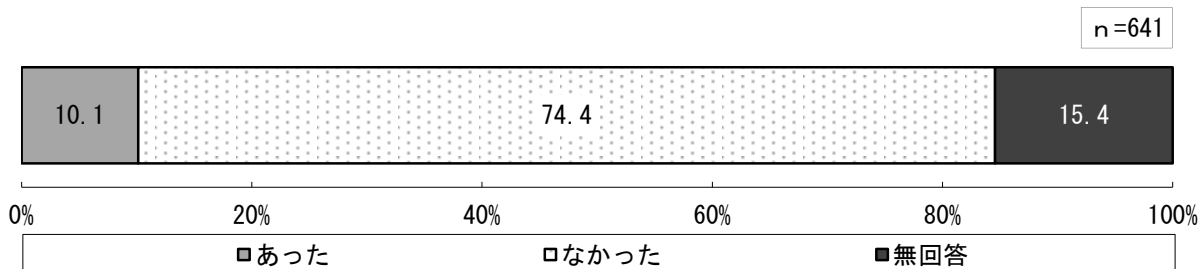
問 16 の（1）から（4）のような目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもを預ける場合の望ましい事業形態について、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 66.7%と最も割合が高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 53.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 33.9%となっています。



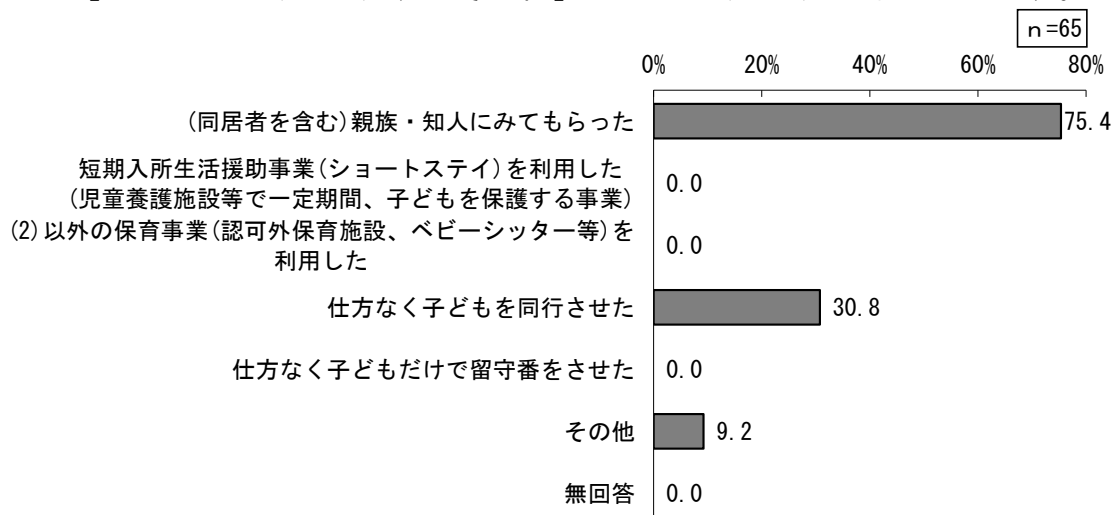
問 17 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）
あったか、なかったかについてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。
あった場合には、その対処方法ごとに、1 年間のおおよそ利用日数を〔 〕内に数字でご記入ください。

- 保護者の用事のために子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験について、「あった」が 10.1%、「なかった」が 74.4%となっています。



■ 対処方法

- 泊まりがけでみてもらった場合の対処方法について、「親族・知人にみてもらった」が 75.4%（49 人）と最も割合が高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 30.8%（20 人）、「その他」が 9.2%（6 人）となっています。



・ 日数（親族・知人にみてもらった） n=42

平均日数	7.45 泊/年
最 大	150.00 泊/年
最 小	1.00 泊/年

・ 日数（短期入所生活援助事業を利用した） n=0

平均日数	－ 泊/年
最 大	－ 泊/年
最 小	－ 泊/年

・ 日数（(2)以外の保育事業を利用した） n=0

平均日数	－ 泊/年
最 大	－ 泊/年
最 小	－ 泊/年

・ 日数（仕方なく子どもを同行させた） n=16

平均日数	4.13 泊/年
最 大	10.00 泊/年
最 小	1.00 泊/年

・ 日数（仕方なく子どもだけで留守番させた） n=0

平均日数	－ 泊/年
最 大	－ 泊/年
最 小	－ 泊/年

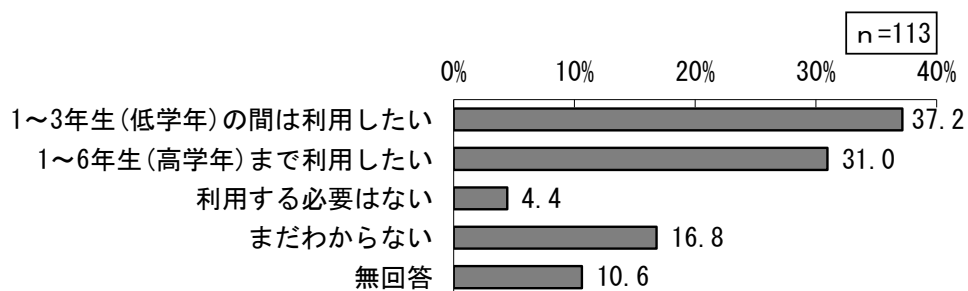
・ 日数（その他） n=6

平均日数	15.50 泊/年
最 大	60.00 泊/年
最 小	2.00 泊/年

Ⅱ-8. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 18 来年度、小学校に入学するお子さんについてうかがいます。あて名のお子さんが小学校に入学した後、放課後児童クラブ（なかよし会）の利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

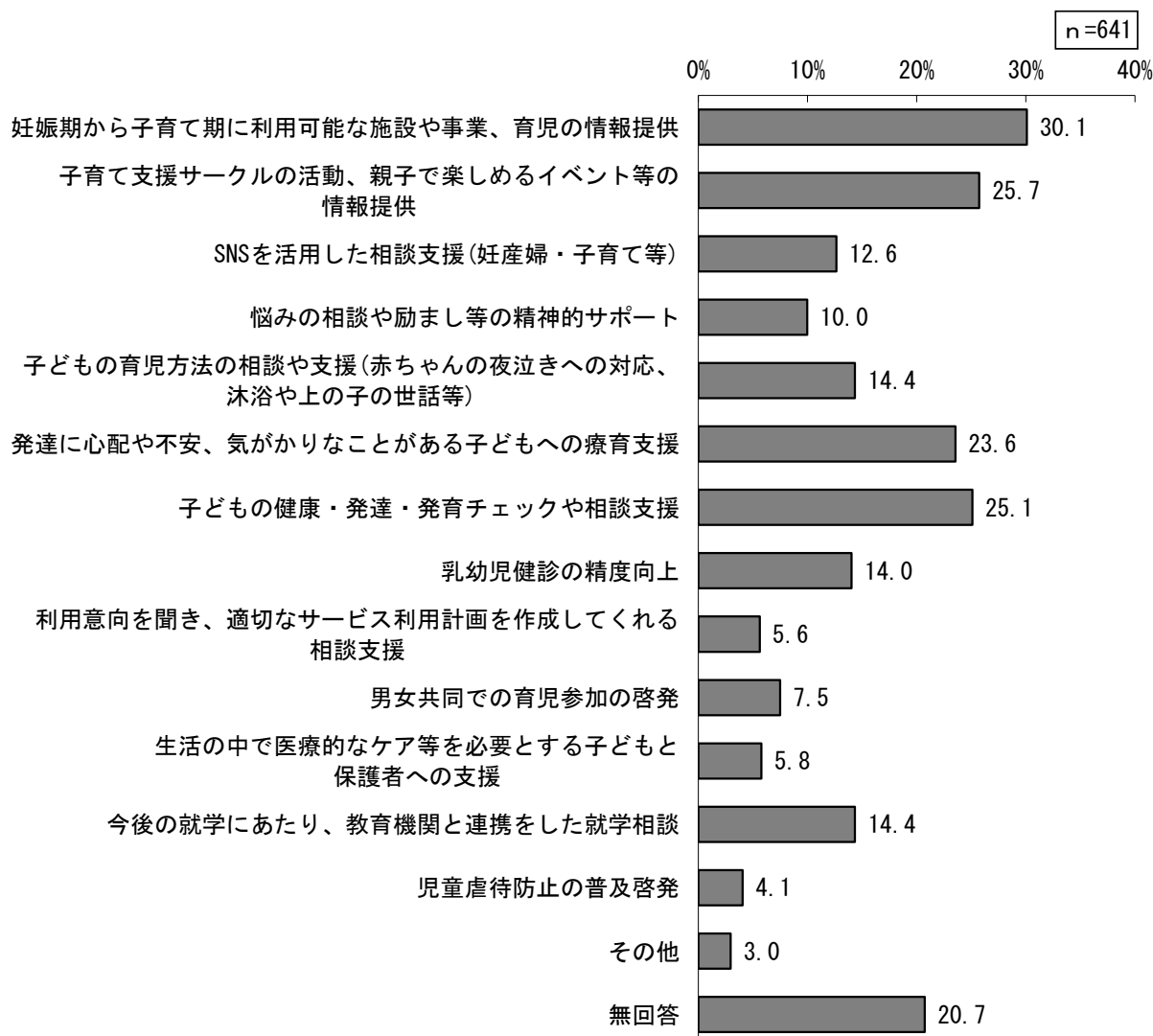
- 小学校入学後の放課後児童クラブの利用希望について、「1～3年生（低学年）の間は利用したい」が 37.2%と最も割合が高く、次いで「1～6年生（高学年）まで利用したい」が 31.0%、「まだわからない」が 16.8%となっています。



Ⅱ-9. 市の子育て支援事業について

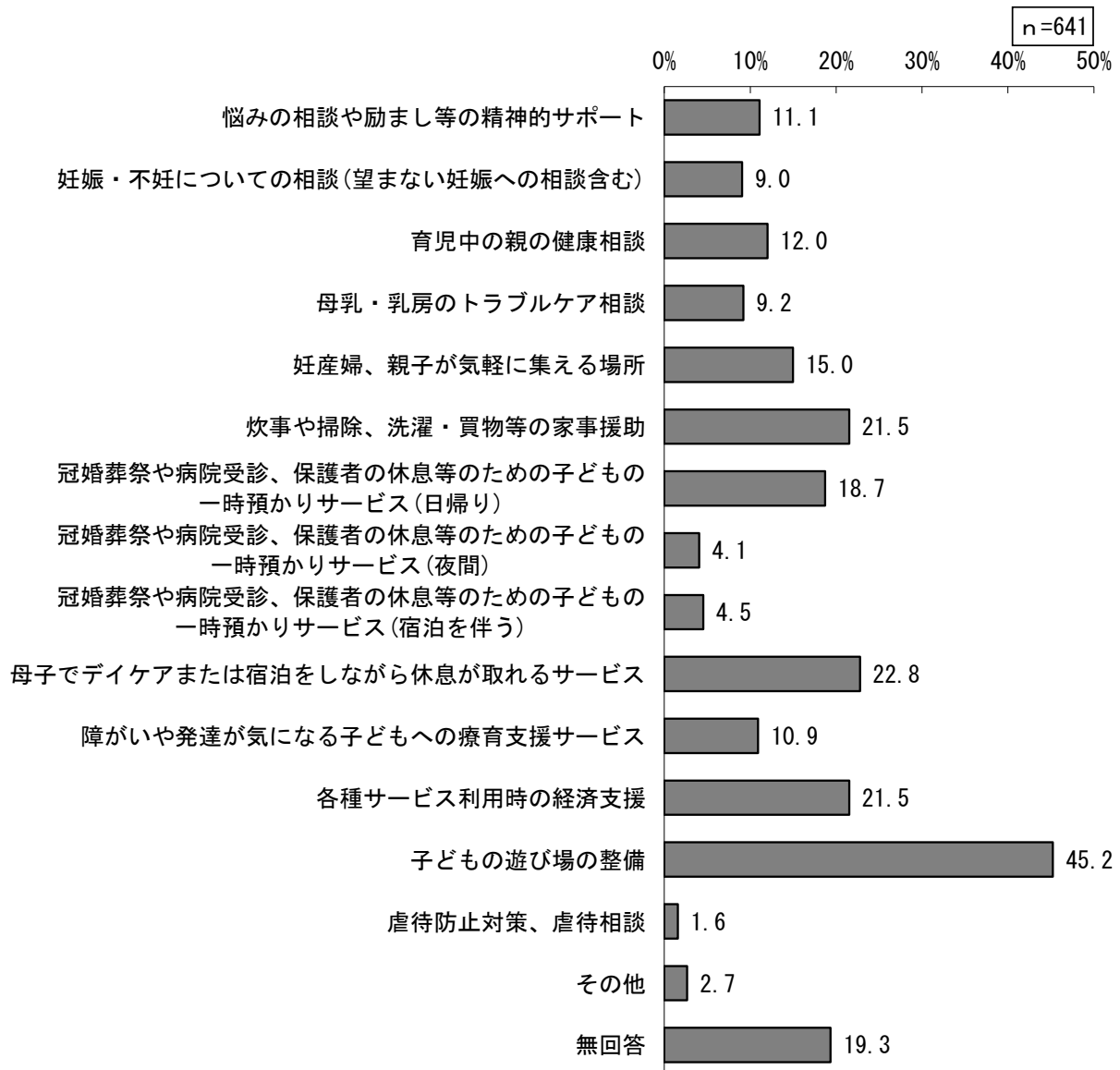
問 19 むつ市では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する「こども家庭センター」を開設しています。あなたが今後期待するこども家庭センターの事業や取り組みについて、主なもの3つまでに○をつけてください。

- 今後期待するこども家庭センターの事業や取り組みについて、「妊娠期から子育て期に利用可能な施設や事業、育児の情報提供」が30.1%と最も割合が高く、次いで「子育て支援サークルの活動、親子で楽しめるイベント等の情報提供」が25.7%、「子どもの健康・発達・発育チェックや相談支援」が25.1%となっています。



問 20 妊娠・出産や産後の生活をより良いものにしていくため、市がさらに力を入れる必要のある支援としてどのようなものがありますか。あてはまる主なものの3つまでに○をつけてください。

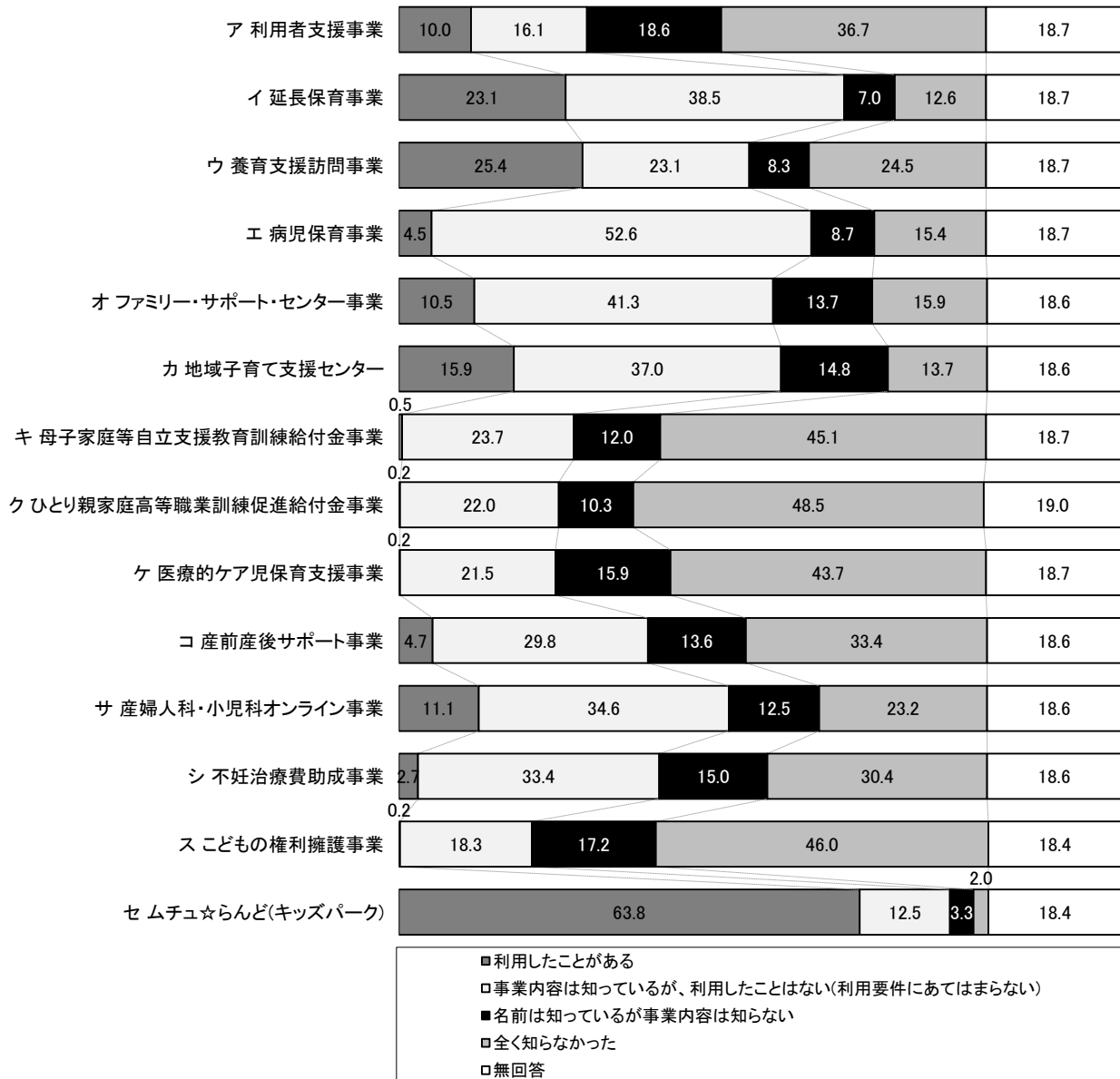
○ 市が力を入れる必要のある支援について、「子どもの遊び場の整備」が45.2%と最も割合が高く、次いで「母子でデイケアまたは宿泊をしながら休息が取れるサービス」が22.8%、「炊事や掃除、洗濯・買物等の家事援助」と「各種サービス利用時の経済支援」がともに21.5%となっています。



問 21 市の子育て支援事業等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 市の子育て支援事業について、「利用したことがある」では「セ ムチュ☆らんど（キッズパーク）」が 63.8%と最も割合が高く、次いで「ウ 養育支援訪問事業」が 25.4%、「イ 延長保育事業」が 23.1%となっています。
- 「全く知らなかった」では「ク ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業」が 48.5%と最も割合が高く、次いで「ス こどもの権利擁護事業」が 46.0%、「キ 母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業」が 45.1%となっています。

n=641



問 21-1 問 21 で「カ 地域子育て支援センター」で「1.」に○をつけた方にうかがいます。およその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。

- ・ 1 週あたりの利用回数 n=29

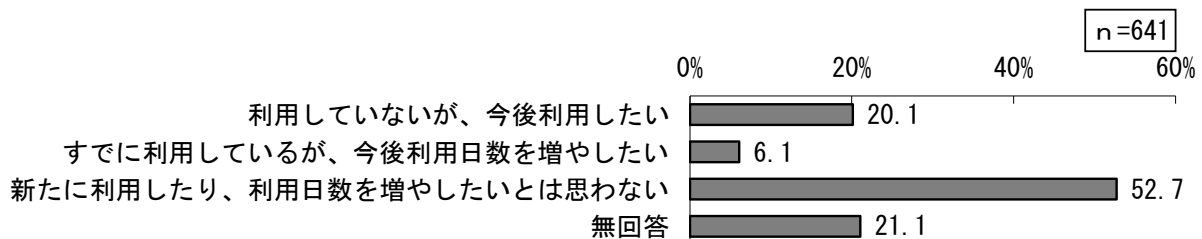
平均回数	1.21 回
最 大	4.00 回
最 小	0.00 回

- ・ 1 か月あたりの利用回数 n=69

平均回数	2.55 回
最 大	20.00 回
最 小	0.00 回

問 21-2 問 21-1 のような地域子育て支援センター等について、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけ、およその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。

- 地域子育て支援センターの今後の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 52.7%と最も割合が高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 20.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.1%となっています。



- ・ 1 週あたりの利用回数（利用していないが今後利用したい） n=45

平均回数	1.51 回
最 大	5.00 回
最 小	0.00 回

- ・ 1 か月あたりの利用回数（利用していないが今後利用したい） n=101

平均回数	2.90 回
最 大	20.00 回
最 小	0.00 回

- ・ 1 週あたりの利用回数（すでに利用、今後利用日数を増やしたい） n=20

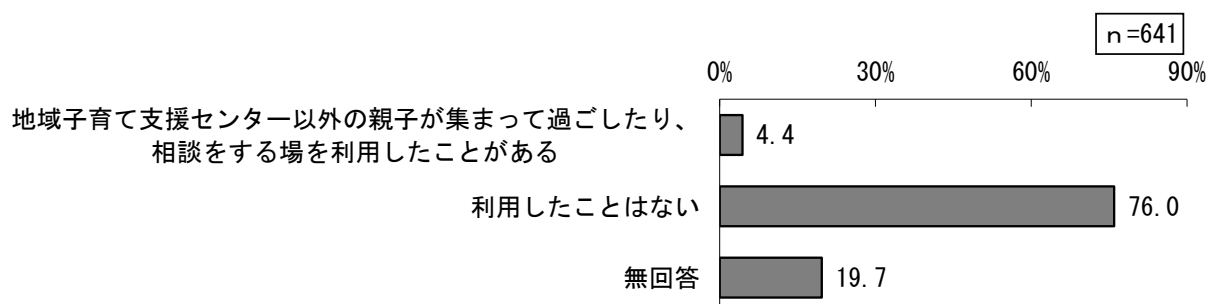
平均回数	2.10 回
最 大	5.00 回
最 小	0.0 回

- ・ 1 か月あたりの利用回数（すでに利用、今後利用日数を増やしたい） n=28

平均回数	5.64 回
最 大	22.00 回
最 小	1.00 回

問 21-3 地域子育て支援センター以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場を利用したことはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、「1.」に○をつけた方は希望する回数を[]内に数字でご記入ください。

- 地域子育て支援センター以外の利用経験について、「利用したことはない」が 76.0%と最も割合が高く、次いで「地域子育て支援センター以外の親子が集まって過ごしたり、相談をする場を利用したことがある」が 4.4%となっています。



- ・ 1 週あたりの利用回数（地域子育て支援センター以外の利用） n=2

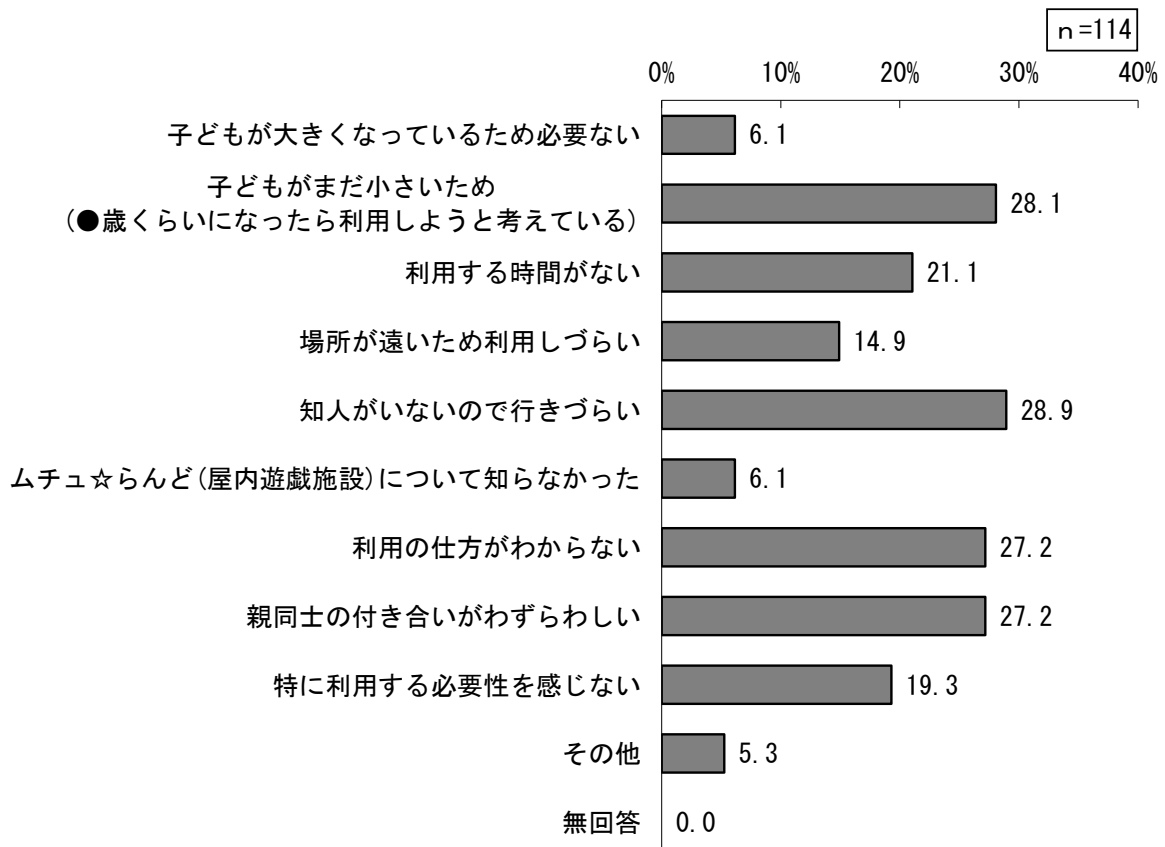
平均回数	0.00 回
最 大	0.00 回
最 小	0.00 回

- ・ 1 か月あたりの利用回数（地域子育て支援センター以外の利用） n=15

平均回数	1.40 回
最 大	3.00 回
最 小	0.00 回

問 21-4 問 21「セ ムチュ☆らんど（キッズパーク）」で「2」から「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。ムチュ☆らんど（屋内遊戯施設）を利用していない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ムチュ☆らんどを利用していない理由について、「知人がいないので行きづらい」が 28.9%と最も割合が高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 28.1%、「利用の仕方がわからない」と「親同士の付き合いがわずらわしい」がともに 27.2%となっています。



・ 子どもが●歳くらいになったら n=31

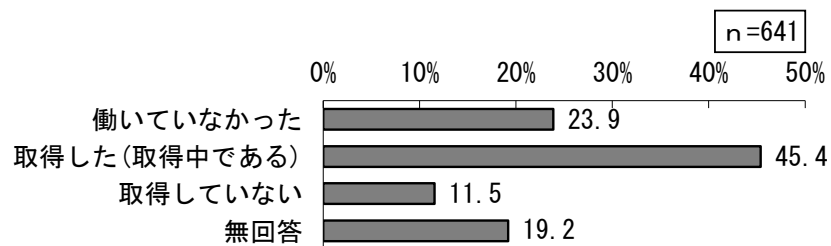
平均年齢	1.61 歳
最 大	3.00 歳
最 小	0.00 歳

Ⅱ-10. 職場の両立支援制度について

問 22 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけ、取得していない方はその理由を、下の(1)から(15)より選んで番号を記入してください。(以降、ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。)

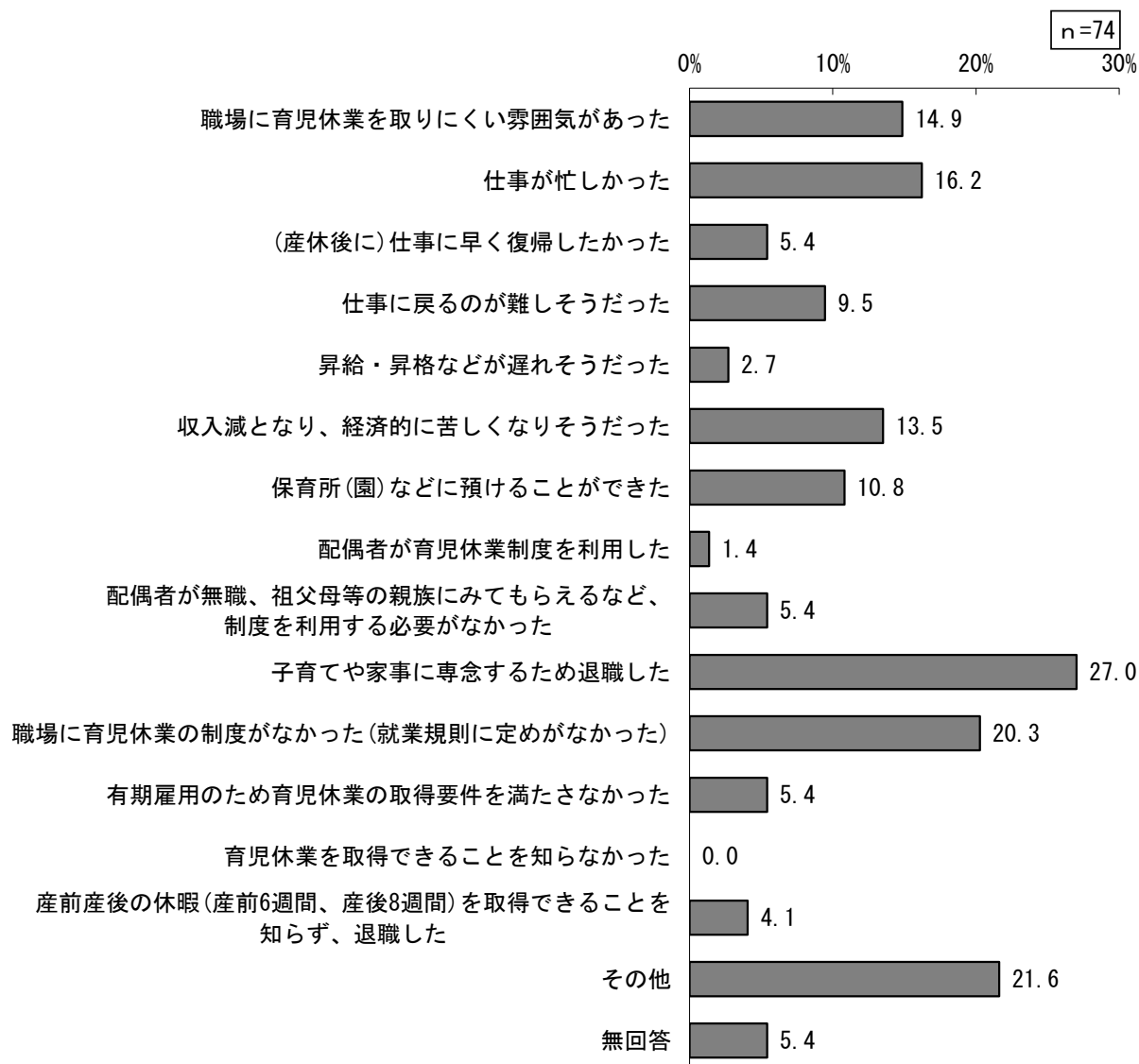
■母親（1つに○）

○ 母親の育児休業の取得について、「取得した（取得中である）」が 45.4%と最も割合が高く、次いで「働いていなかった」が 23.9%、「取得していない」が 11.5%となっています。



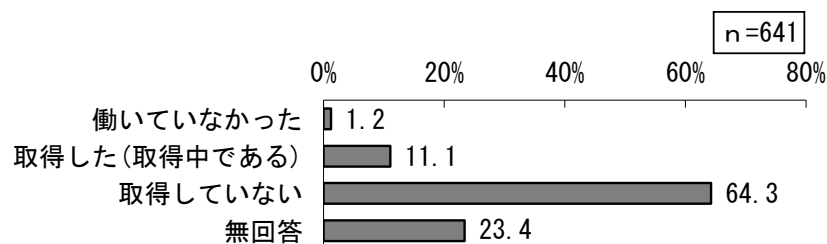
・育児休業を取得していない理由（母親）

- 育児休業を取得していない理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」が27.0%と最も割合が高く、次いで「その他」が21.6%、「職場に育児休業の制度がなかった」が20.3%となっています。



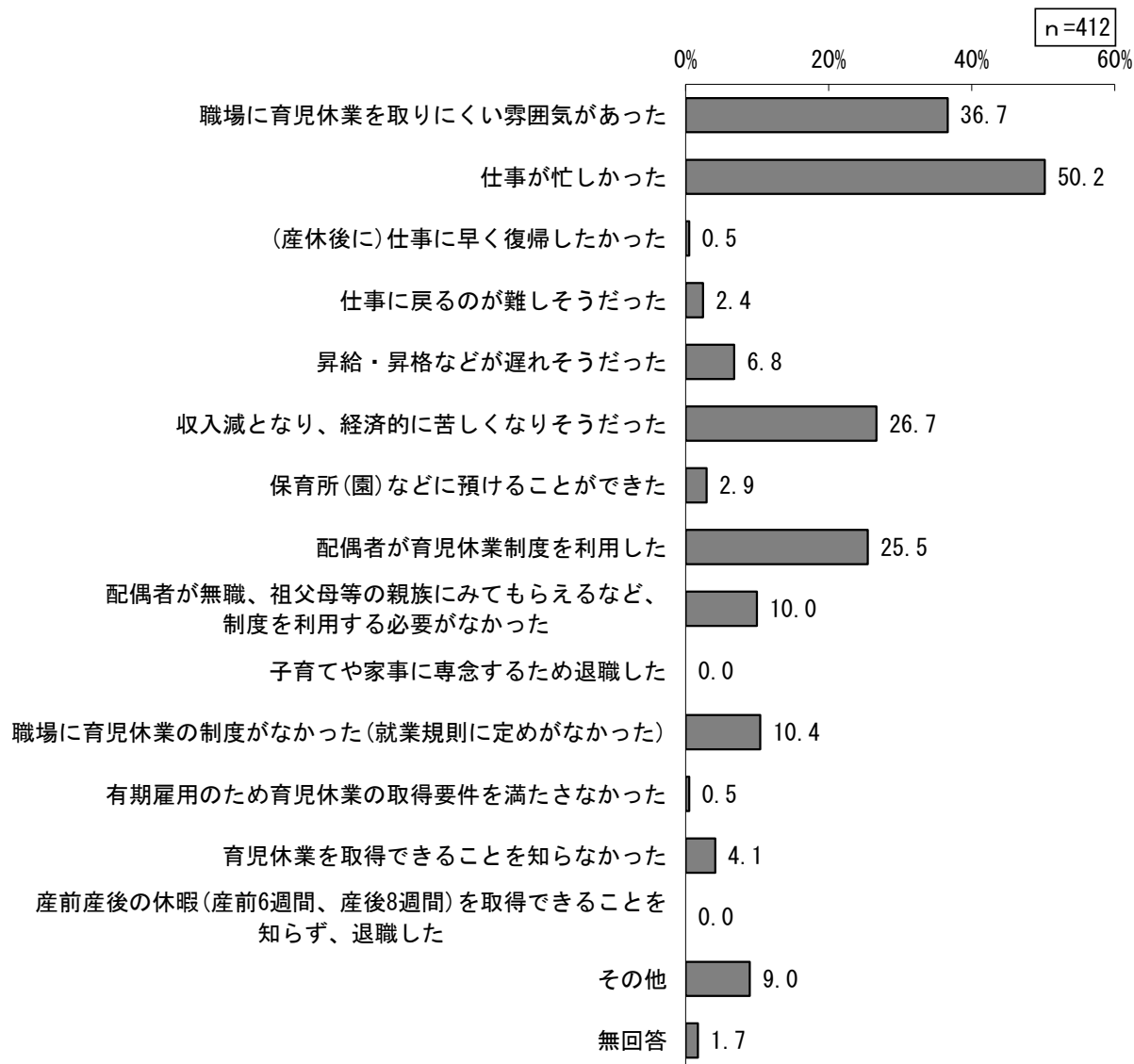
■父親（1つに○）

- 父親の育児休業の取得について、「取得していない」が64.3%と最も割合が高く、次いで「取得した(取得中である)」が11.1%、「働いていなかった」が1.2%となっています。



・育児休業を取得していない理由（父親）

- 育児休業を取得していない理由について、「仕事が忙しかった」が50.2%と最も割合が高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.7%、「収入源となり、経済的に苦しくなりそうだった」が26.7%となっています。

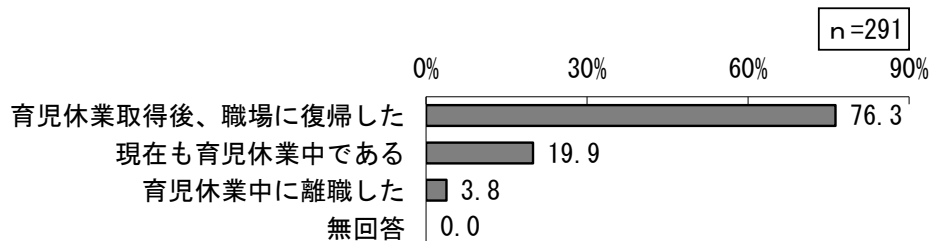


問 22-1 問 22 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

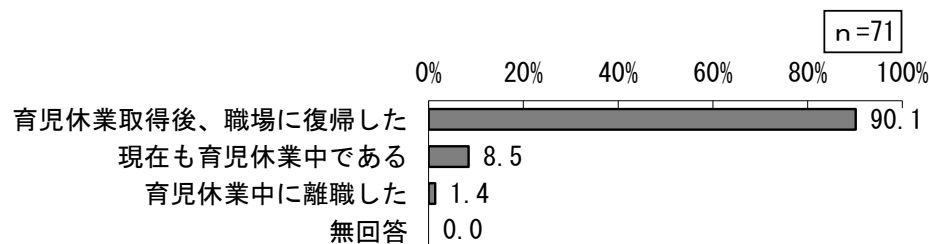
■ 母親（1 つに○）

- 母親の育児休業取得後の職場復帰について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 76.3%と最も割合が高く、次いで「現在も育児休業中である」が 19.9%、「育児休業中に離職した」が 3.8%となっています。



■ 父親（1 つに○）

- 父親の育児休業取得後の職場復帰について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 90.1%と最も割合が高く、次いで「現在も育児休業中である」が 8.5%、「育児休業中に離職した」が 1.4%となっています。



問 22-2 問 22-1 で「1.」、「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。現在も育児休業中の方は、復帰する予定時期をお答えください。また、お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として、何歳何か月のときまで取りたい（取りたかった）ですか。それぞれ[]内に数字でご記入ください。

・ 実際の取得期間（母親）

n=280

平均期間	10.88 か月
最 大	36.00 か月
最 小	0.00 か月

・ 希望の取得期間（母親）

n=280

平均期間	18.99 か月
最 大	36.00 か月
最 小	0.00 か月

・ 実際の取得期間（父親） n=70

平均期間	2.27 か月
最 大	23.00 か月
最 小	0.00 か月

・ 希望の取得期間（父親） n=70

平均期間	8.47 か月
最 大	36.00 か月
最 小	0.00 か月

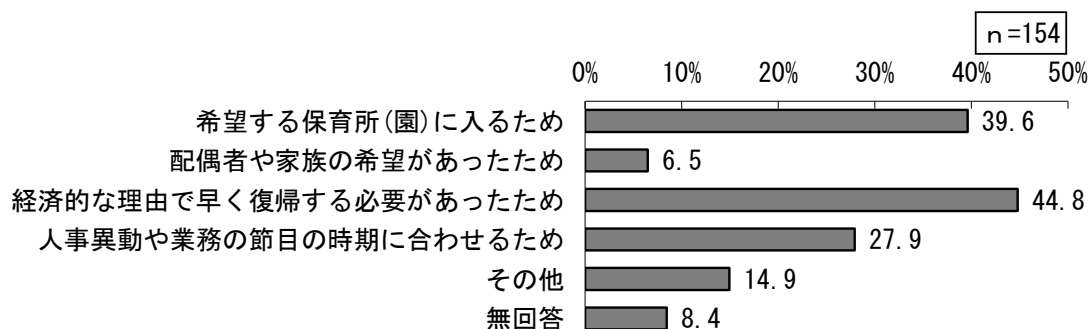
問 22-3 問 22-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

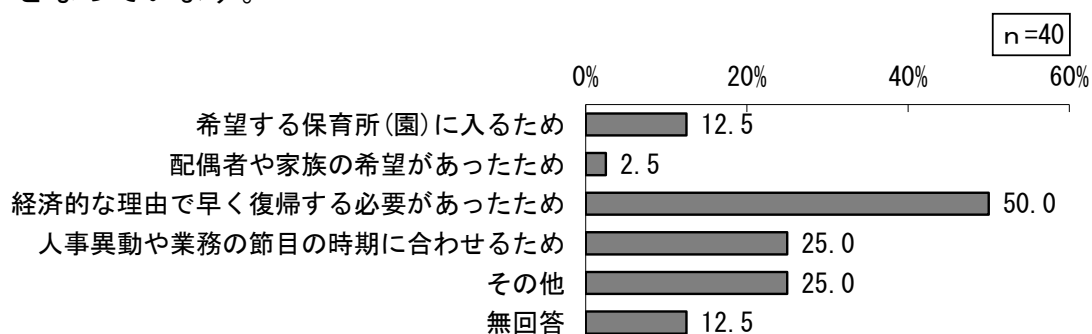
■ 母親

- 母親の希望より早く職場復帰した理由について、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 44.8%と最も割合が高く、次いで「希望する保育所（園）に入るため」が 39.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 27.9%となっています。



■ 父親

- 父親の希望より早く職場復帰した理由について、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 50.0%（20 人）と最も割合が高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」と「その他」がともに 25.0%（各 10 人）となっています。



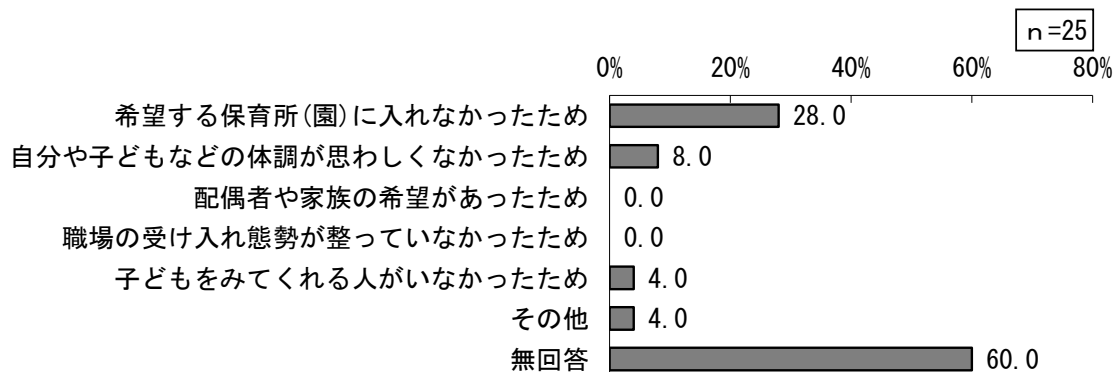
問 22-3 問 22-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■母親

- 母親の希望より遅く職場復帰した理由について、「希望する保育所（園）に入れなかったため」が 28.0%（7 人）と最も割合が高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が 8.0%（2 人）、「子どもをみてる人がいなかったため」と「その他」がともに 4.0%（各 1 人）となっています。



■父親

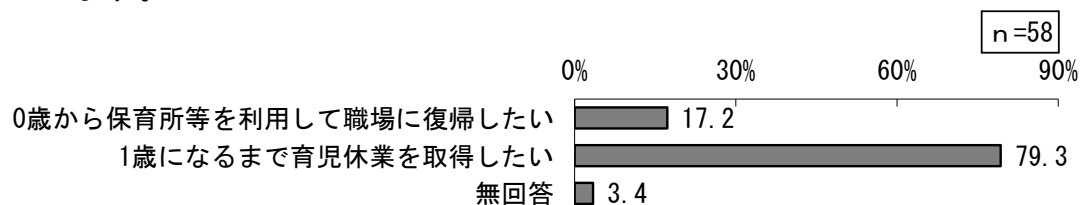
- 父親の希望より遅く職場復帰した理由（3 人）について、回答がみられませんでした。

問 22-4 問 22-1 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが 0 歳のときに利用できる保育所等があれば、職場に復帰するために 0 歳から保育所等を利用しますか。または、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

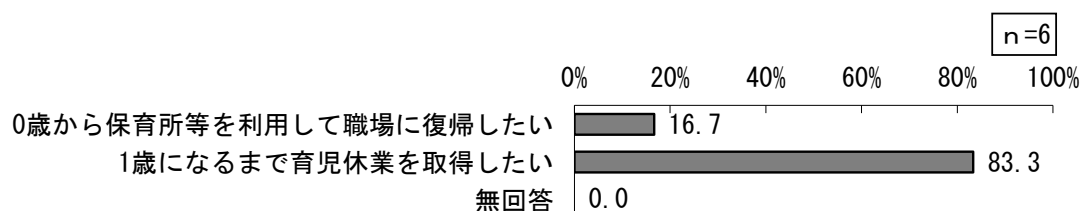
■母親（1 つに○）

- 母親の 0 歳から利用できる保育所等があった場合の育児休業について、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 79.3%（46 人）と最も割合が高く、次いで「0 歳から保育所等を利用して職場に復帰したい」が 17.2%（10 人）となっています。



■父親（1つに○）

- 父親の0歳から利用できる保育所等があった場合の育児休業について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.3%（5人）と最も割合が高く、次いで「0歳から保育所等を利用して職場に復帰したい」が16.7%（1人）となっています。

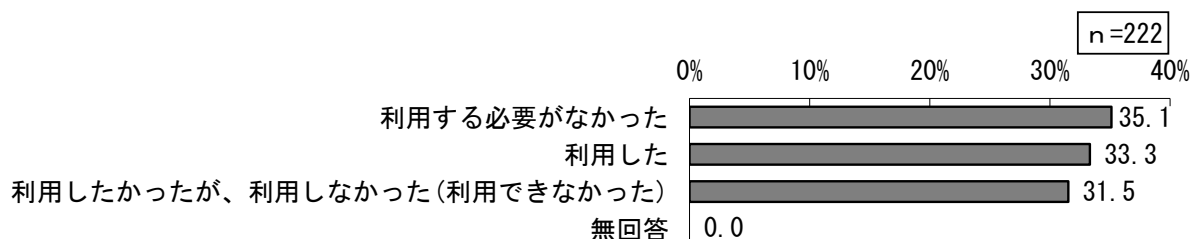


問 22-5 問 22-1 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

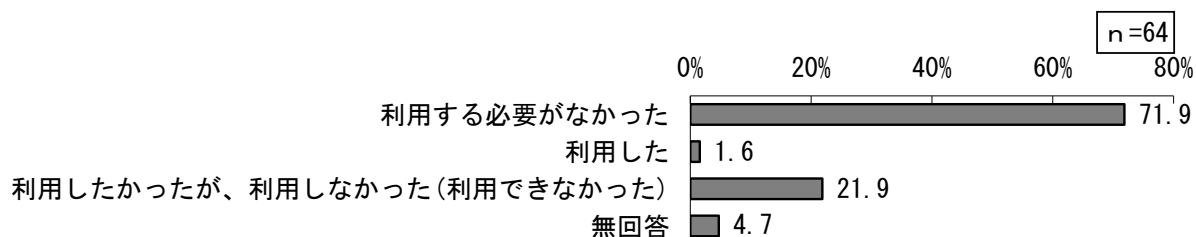
■母親（1つに○）

- 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用について、「利用する必要がなかった」が35.1%と最も割合が高く、次いで「利用した」が33.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が31.5%となっています。



■父親（1つに○）

- 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用について、「利用する必要がなかった」が71.9%（46人）と最も割合が高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が21.9%（14人）、「利用した」が1.6%（1人）となっています。



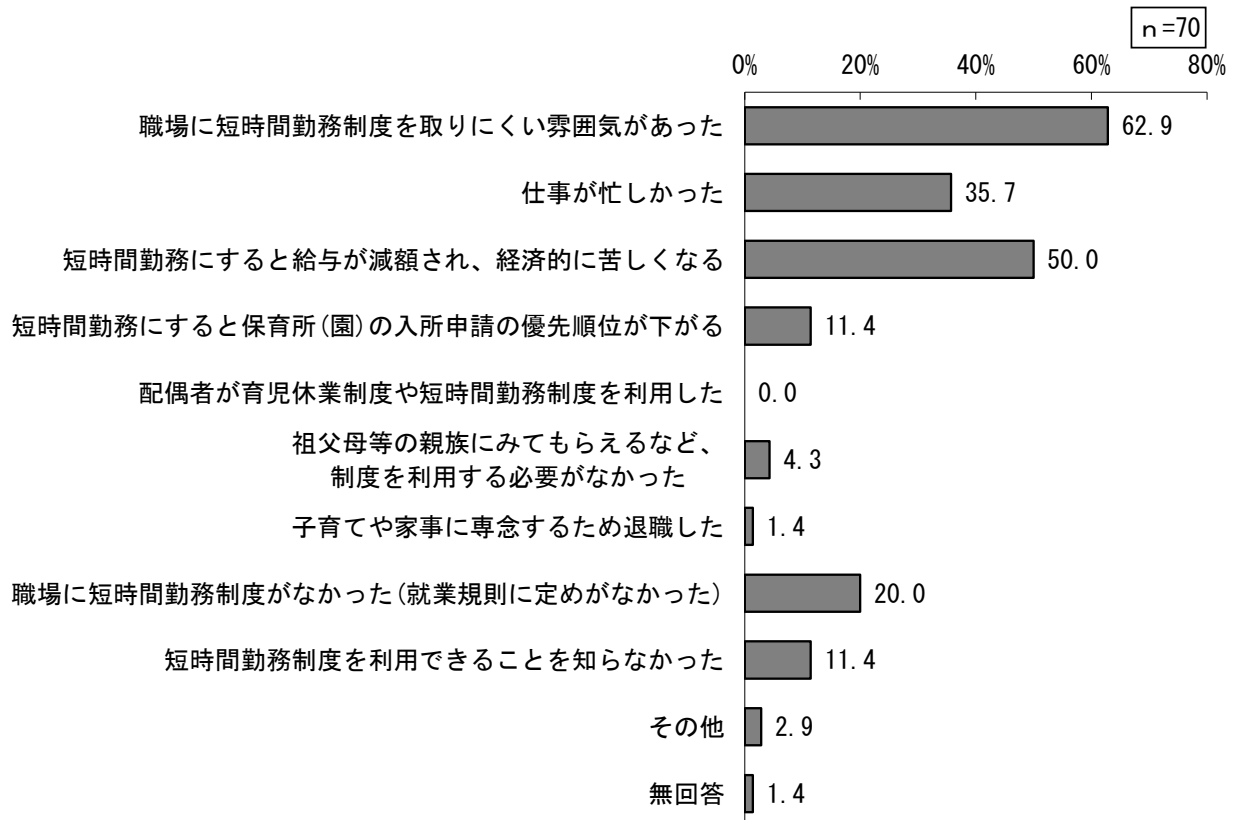
問 22-6 問 22-5 で「3.」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。

母親・父親ごとにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

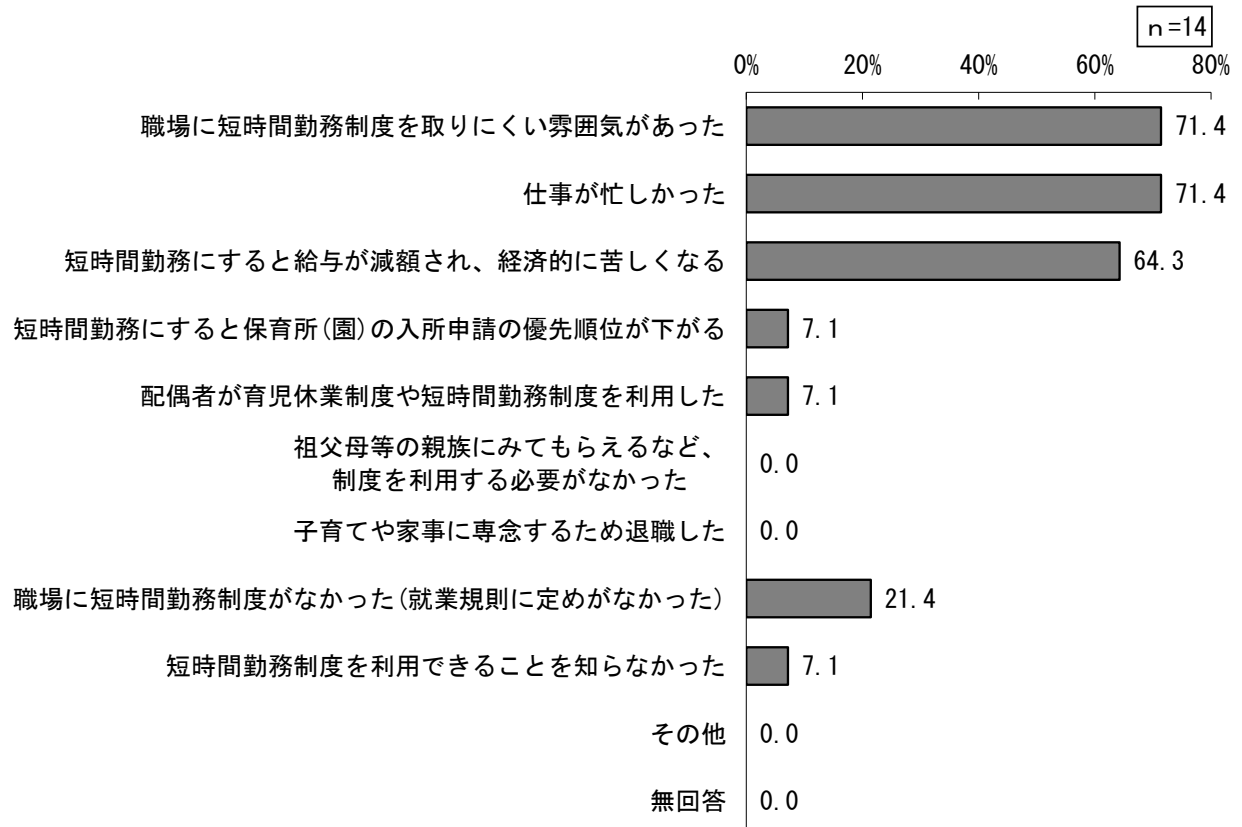
■ 母親

- 母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 62.9%（44 人）と最も割合が高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 50.0%（35 人）、「仕事が忙しかった」が 35.7%（25 人）となっています。



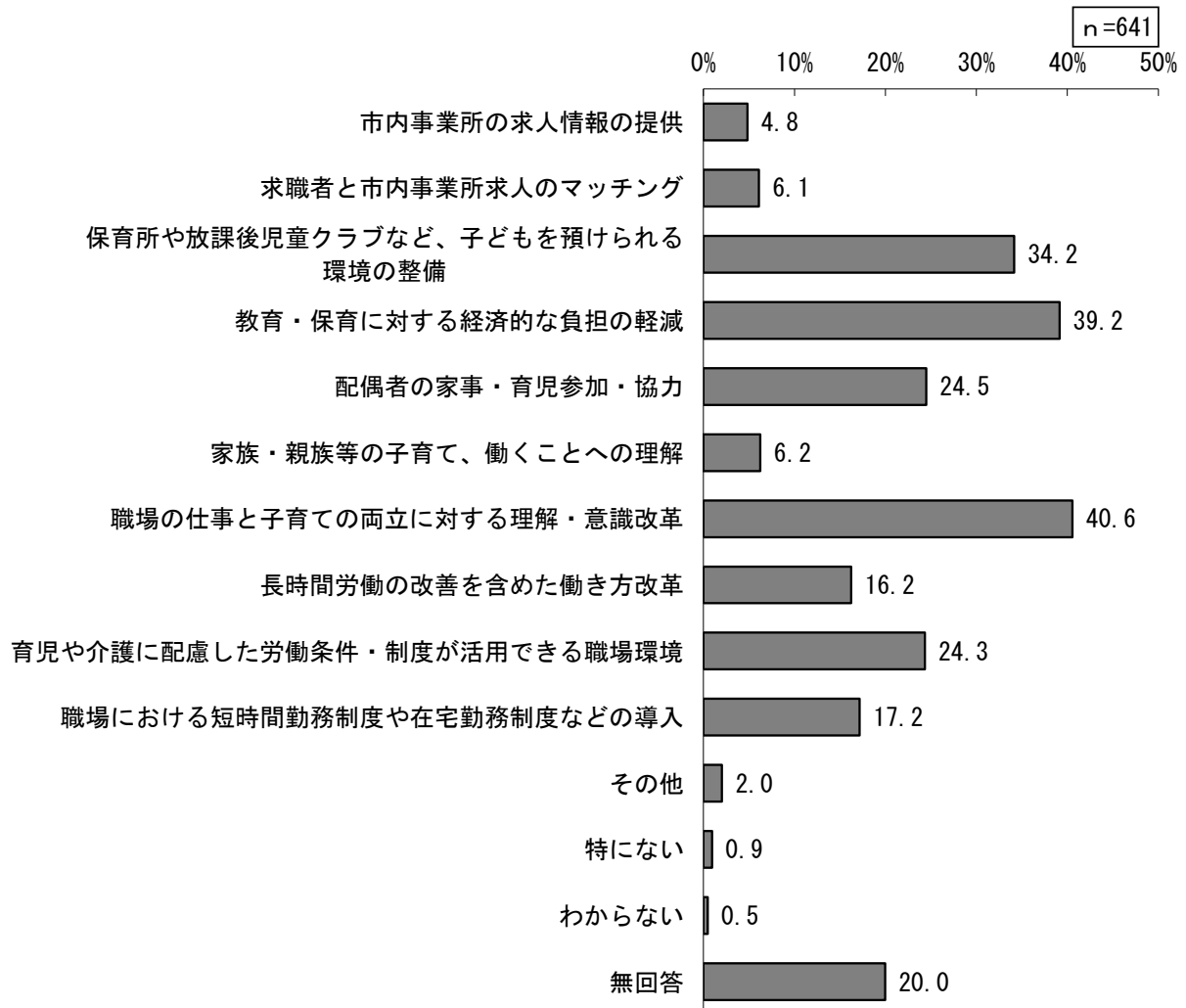
■ 父親

- 父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」がともに 71.4%（各 10 人）と最も割合が高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 64.3%（9 人）となっています。



問 23 保護者にとって子どもを育てながら働き続けるために、家庭・社会・職場においてどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

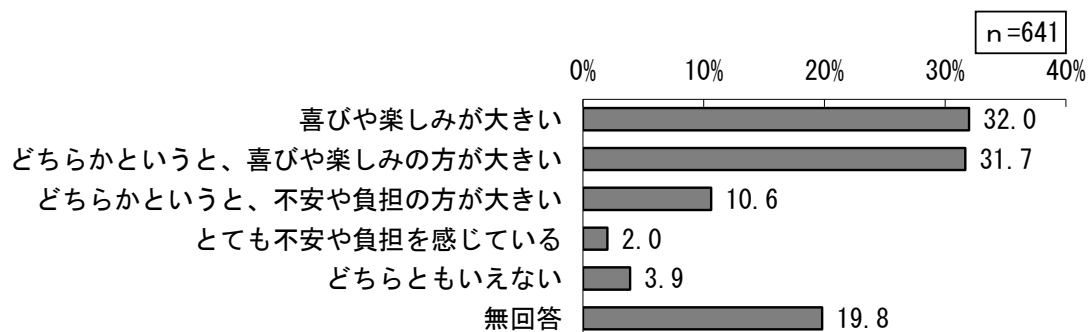
○ 保護者が育児をしながら働き続けるために家庭・社会・職場で必要なことについて、「職場の仕事と子育ての両立に対する理解・意識改革」が 40.6%と最も割合が高く、次いで「教育・保育に対する経済的な負担の軽減」が 39.2%、「保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が 34.2%となっています。



Ⅱ-11. 家庭の子育て、地域の子育て環境について

問 24 子育てをどのように感じていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

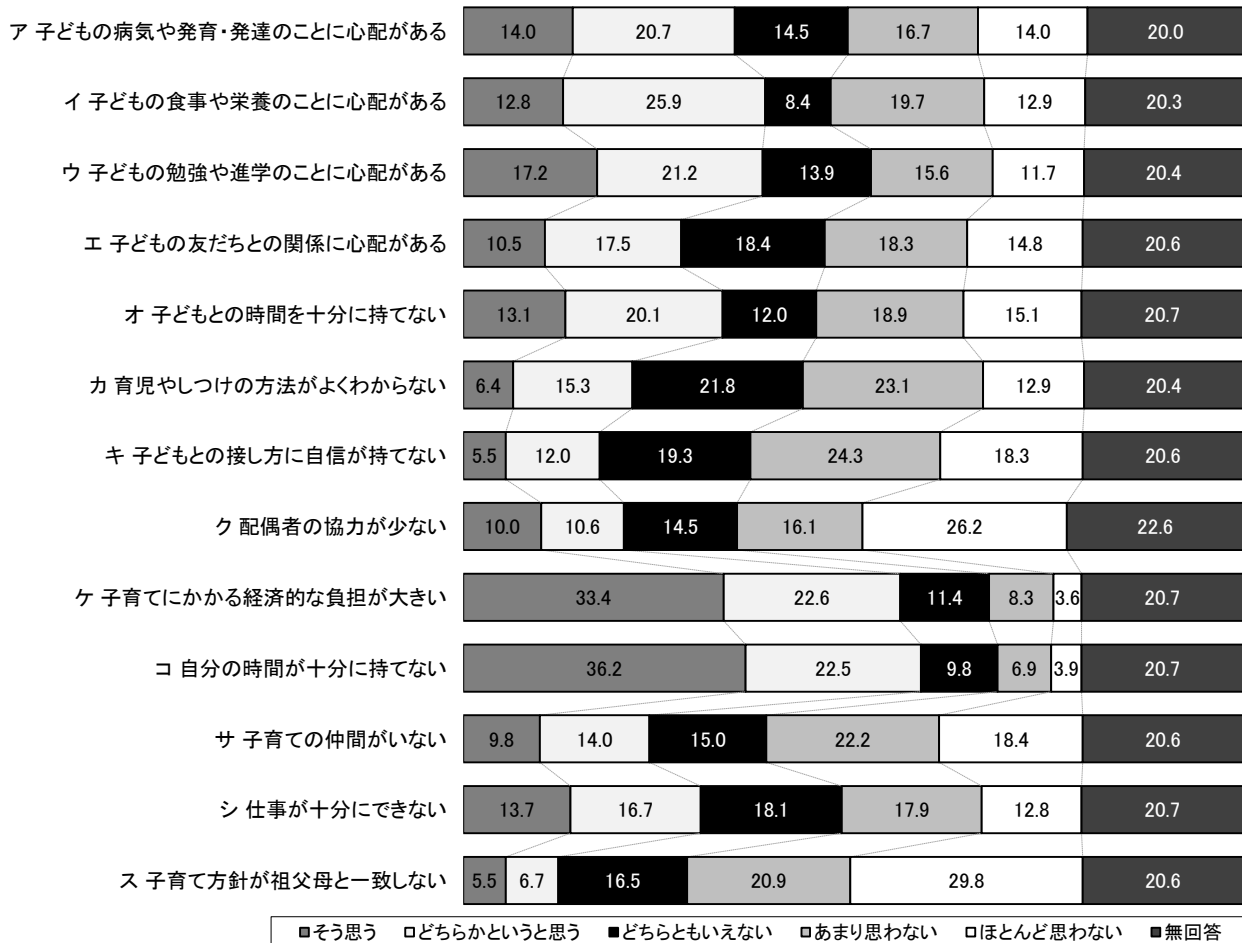
- 子育てへの感じ方について、「喜びや楽しみが大きい」が 32.0%と最も割合が高く、次いで「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」が 31.7%、「どちらかというと、不安や負担の方が大きい」が 10.6%となっています。



問 25 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。項目ごとに、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

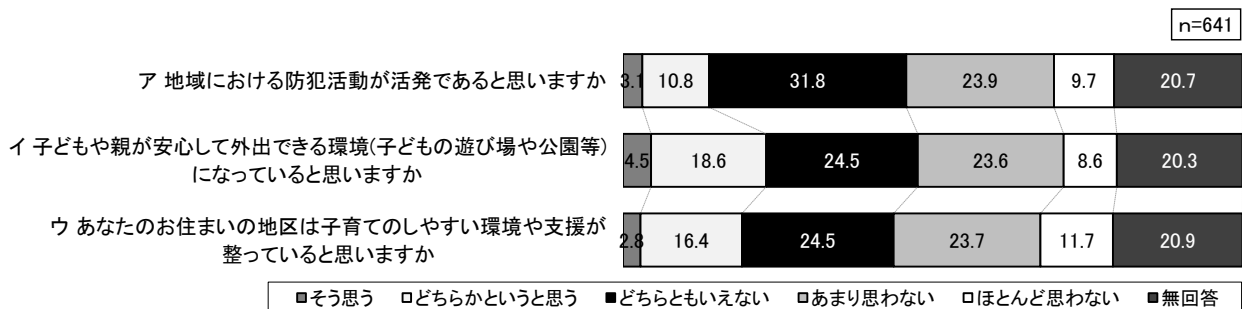
- 子育てに関する悩みや気にかかることについて、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、「コ 自分の時間が十分に持てない」が 58.7%と最も割合が高く、次いで「ケ 子育てにかかる経済的な負担が大きい」が 56.0%、「イ 子どもの食事や栄養のことに心配がある」が 38.7%となっています。

n=641



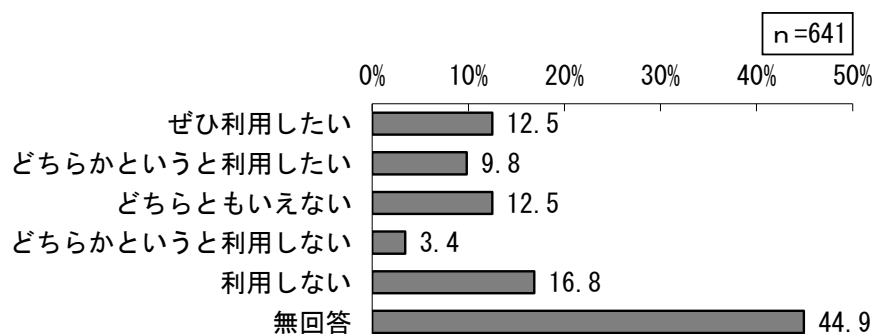
問 26 お住まいの地域についてうかがいます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 居住地域について、「あまり思わない」と「ほとんど思わない」を合わせると、「ウ あなたのお住まいの地区は子育てのしやすい環境や支援が整っていると思いますか」が 35.4%と最も割合が高く、次いで「ア 地域における防犯活動が活発であると思いますか」が 33.6%、「イ 子どもや親が安心して外出できる環境になっていると思いますか」が 32.2%となっています。



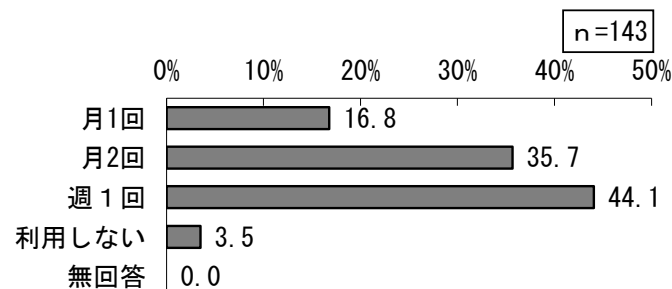
問 27 こども誰でも通園の利用について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- こども誰でも通園制度の利用希望について、「利用しない」が 16.8%と最も割合が高く、次いで「ぜひ利用したい」と「どちらともいえない」がともに 12.5%となっています。



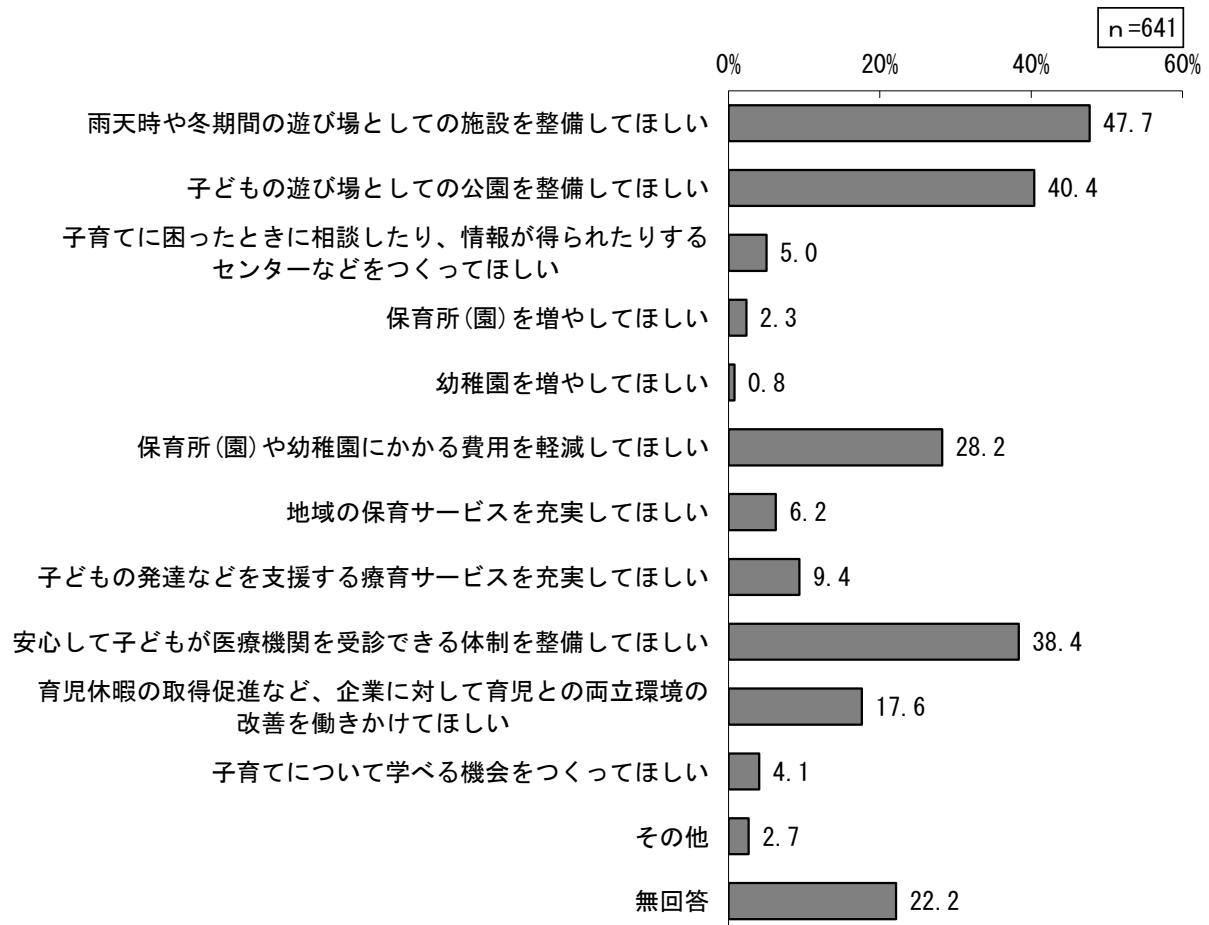
問 27-1 問 27 で「1.」または「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。利用頻度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- こども誰でも通園制度を利用したい頻度について、「週 1 回」が 44.1%と最も割合が高く、次いで「月 2 回」が 35.7%、「月 1 回」が 16.8%となっています。



問 28 市の子育て支援施策について特に期待することはなんですか。主なもの 3 つまでに○をつけてください。

- 期待する市の子育て支援施策について、「雨天時や冬期間の遊び場としての施設を整備してほしい」が 47.7%と最も割合が高く、次いで「子どもの遊び場としての公園を整備してほしい」が 40.4%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が 38.4%となっています。



問 29 最後に、教育・保育環境の充実など、子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

- その他・自由意見（多かった意見を抜粋）

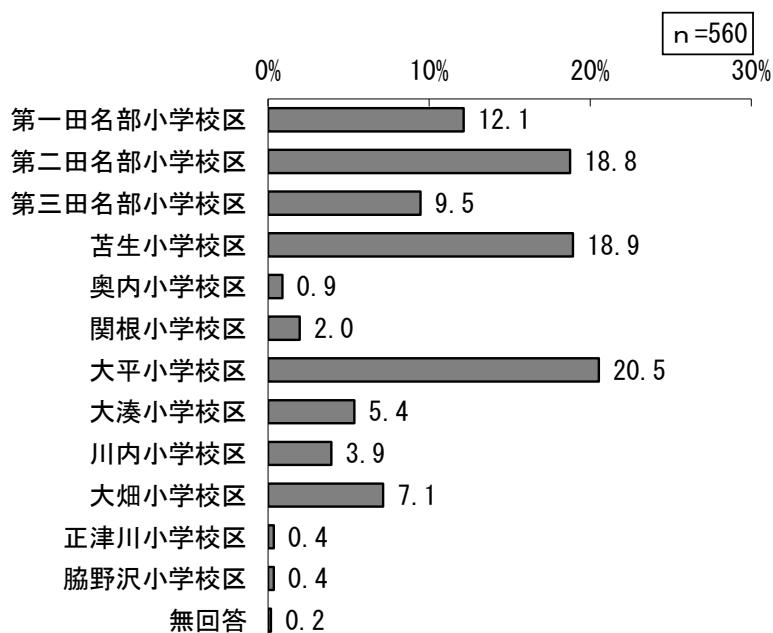
- ・室内、室外ともに子供が遊べる場所が少ない為、増やしてほしい。
- ・公園の整備や、まだ利用出来そうな廃校等を利用した子どもの室内遊び場作りを、旧むつ市内以外にもやって欲しい。
- ・小児科が少なく予約がとれない。むつ総合病院で初診扱いだと 3,300 円かかることになり、負担が大きい。もう少し子どもの医療体制を整えてほしい。
- ・子育てしながらの就労に理解が得られず働きづらい。
- ・保育料をもっと安くして欲しい。

Ⅲ 調査結果（小学生）

Ⅲ-1. お子さんとご家族について

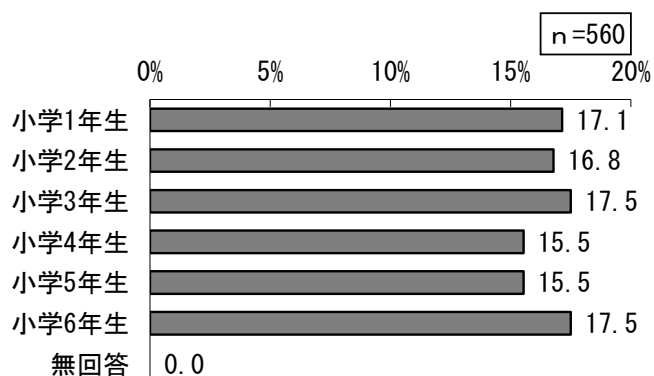
問1 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- 居住地区について、「大平小学校区」が20.5%と最も割合が高く、次いで「苦生小学校区」が18.9%、「第二田名部小学校区」が18.8%となっています。



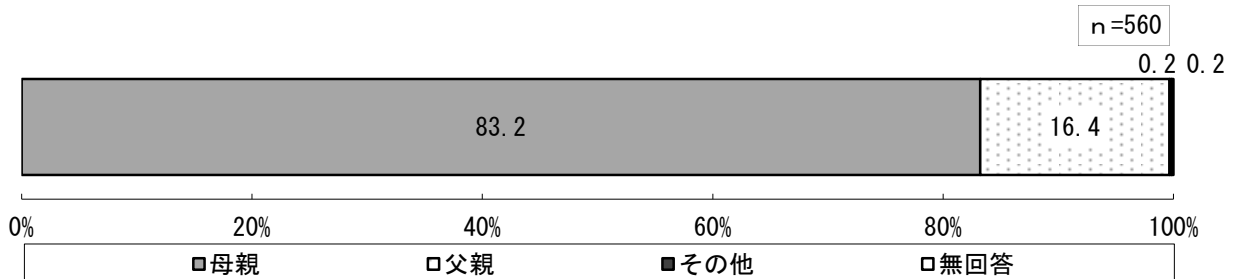
問2 あて名のお子さんの令和6年度の学年をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 子どもの学年について、「小学3年生」と「小学6年生」がともに17.5%と最も割合が高く、次いで「小学1年生」が17.1%となっています。



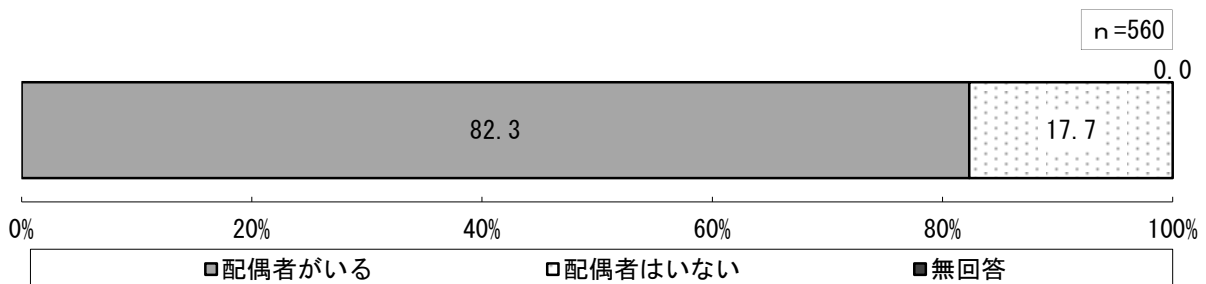
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 回答者について、「母親」が83.2%、「父親」が16.4%、「その他」が0.2%となっています。



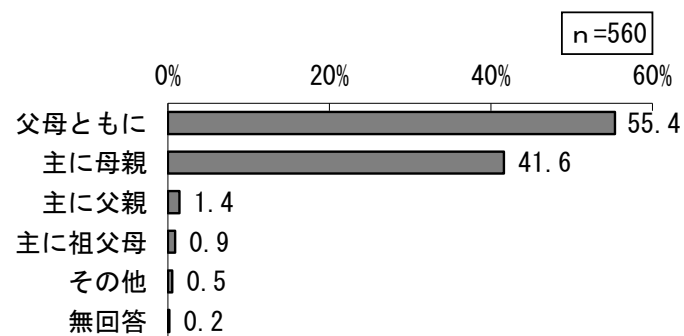
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が82.3%、「配偶者はいない」が17.7%となっています。



問5 あて名のお子さんの子育て（教育含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

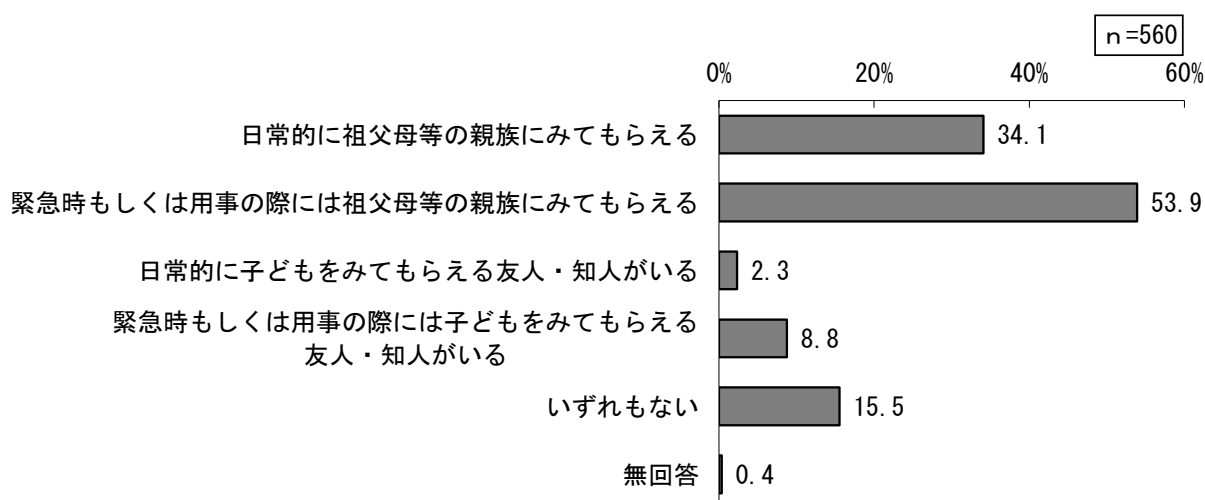
- 子育てを主に行っている方について、「父母ともに」が55.4%と最も割合が高く、次いで「主に母親」が41.6%、「主に父親」が1.4%となっています。



Ⅲ-2. 子どもの育ちをめぐる環境について

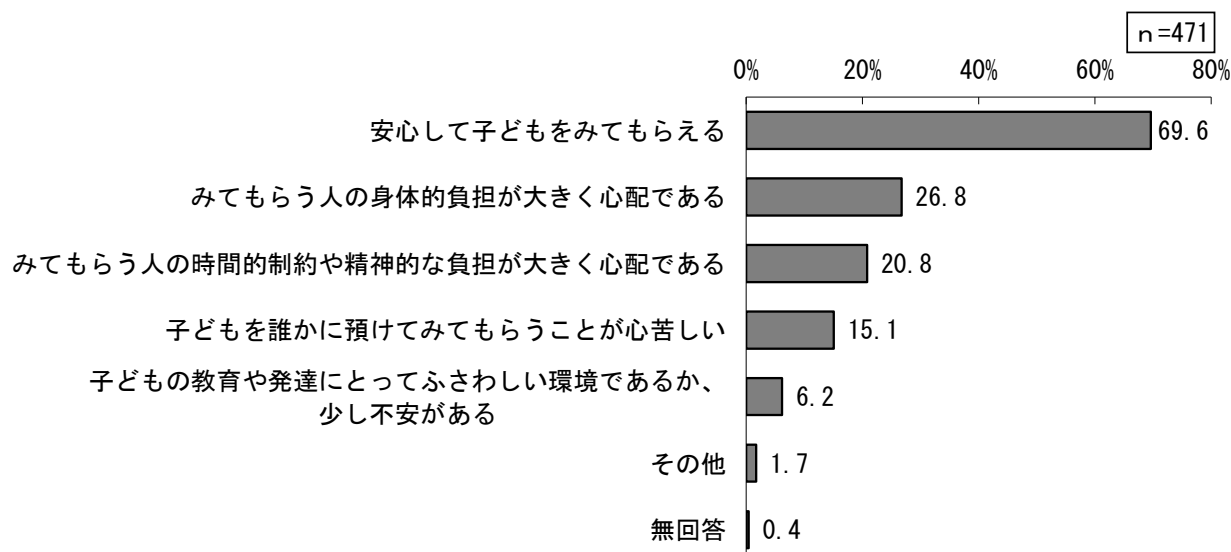
問 6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 日頃子どもをみてもらえる人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.9%と最も割合が高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 34.1%、「いずれもない」が 15.5%となっています。



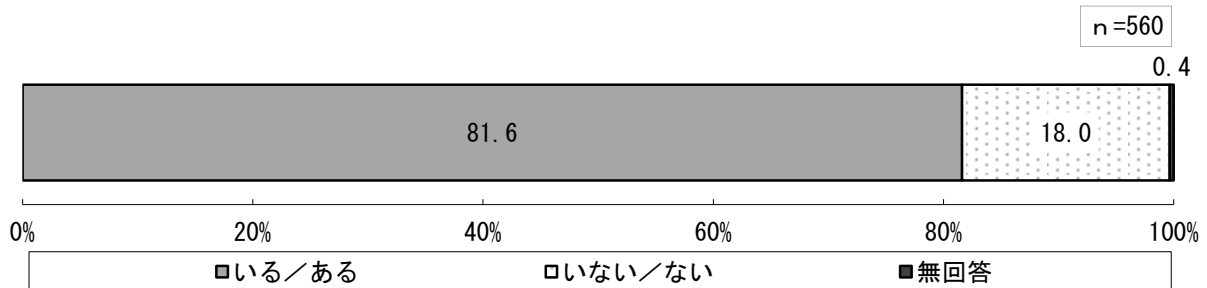
問 6-1 問 6 で「1.」から「4.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号のすべてに○をつけてください。

- 子どもをみてもらっている状況について、「安心して子どもをみてもらえる」が 69.6%と最も割合が高く、次いで「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が 26.8%、「みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 20.8%となっています。



問 7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

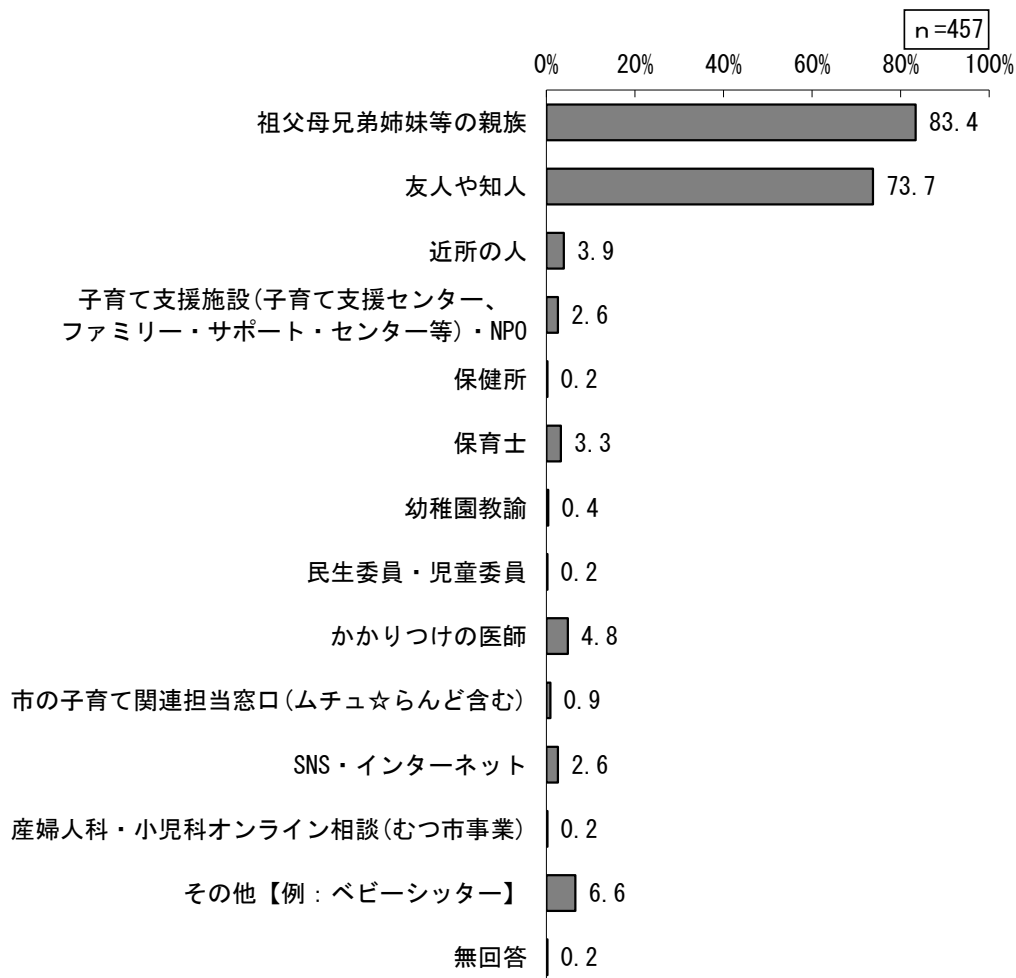
- 気軽に相談できる人や場所の有無について、「いる/ある」が 81.6%、「いない/ない」が 18.0%となっています。



問 7-1 問 7 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号のうち主なもの 3 つまでに○をつけてください。

- 相談先について、「祖父母兄弟姉妹等の親族」が 83.4%と最も割合が高く、次いで「友人や知人」が 73.7%、「その他」が 6.6%となっています。

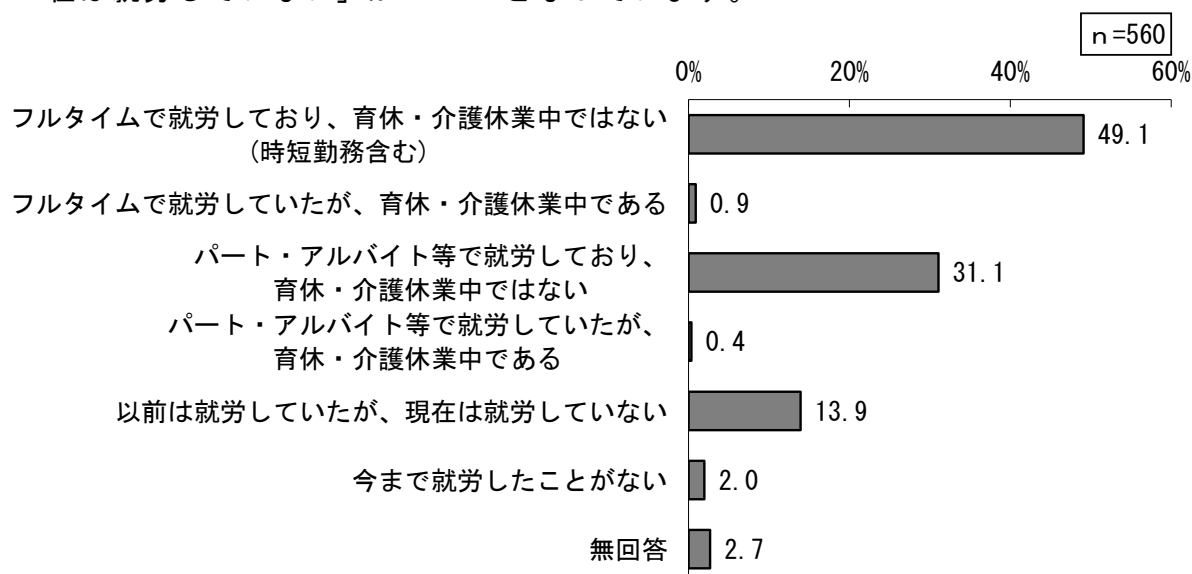


Ⅲ-3. 保護者の方の就労状況について

問 8 あて名のお子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。

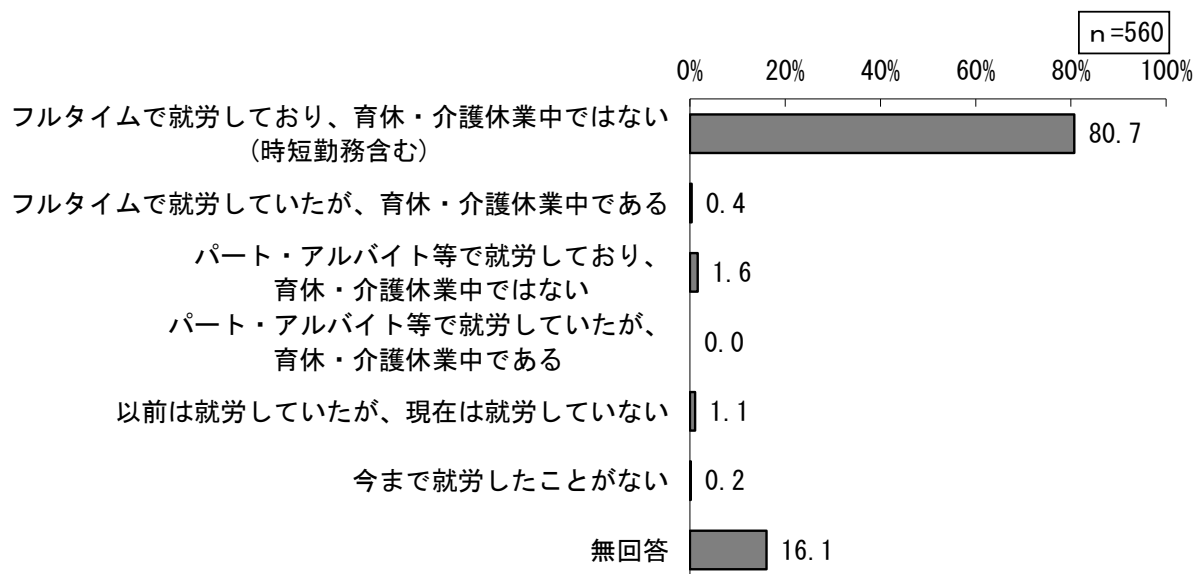
■ 母親（1つに○）

○ 母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 49.1%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 31.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 13.9%となっています。



■ 父親（1つに○）

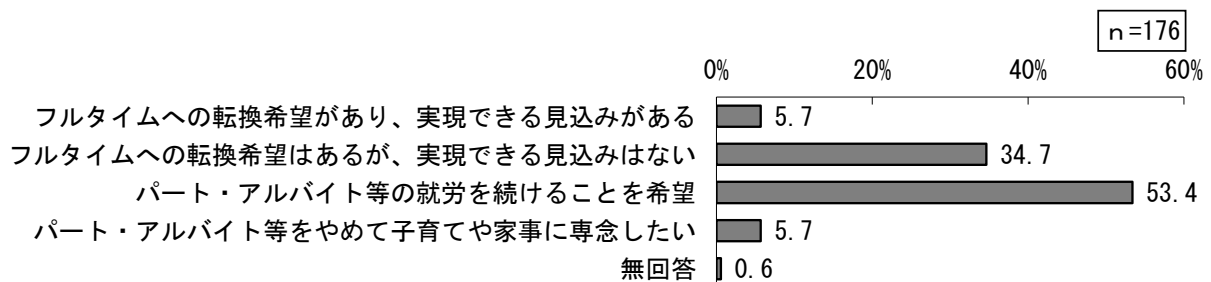
○ 父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 80.7%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 1.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.1%となっています。



問 8-1 問 8 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 9 以降へお進みください。）フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

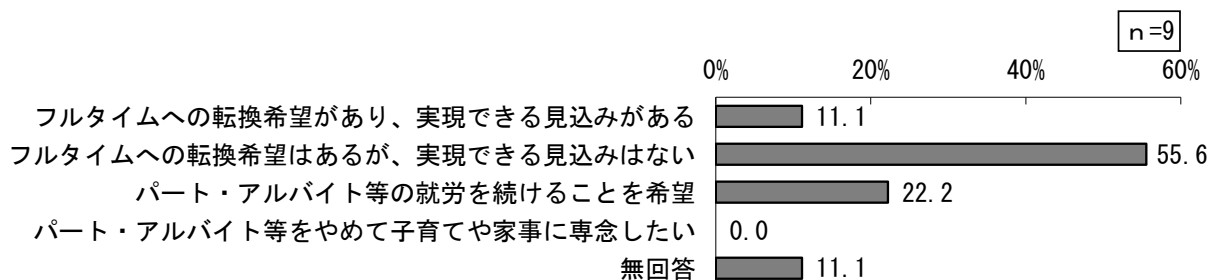
■母親（1 つに○）

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 53.4%と最も割合が高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 34.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がともに 5.7%となっています。



■父親（1 つに○）

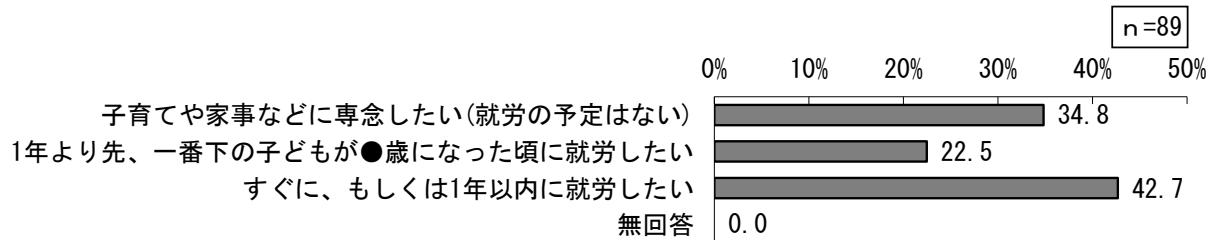
- 父親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 55.6%（5 人）と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 22.2%（2 人）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 11.1%（1 人）となっています。



問 8-2 問 8 で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 9 へお進みください。）就労したいという希望はありますか。

■母親（1つに○）

- 母親の就労希望について、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」が 42.7% と最も割合が高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 34.8%、「1年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」が 22.5%となっています。



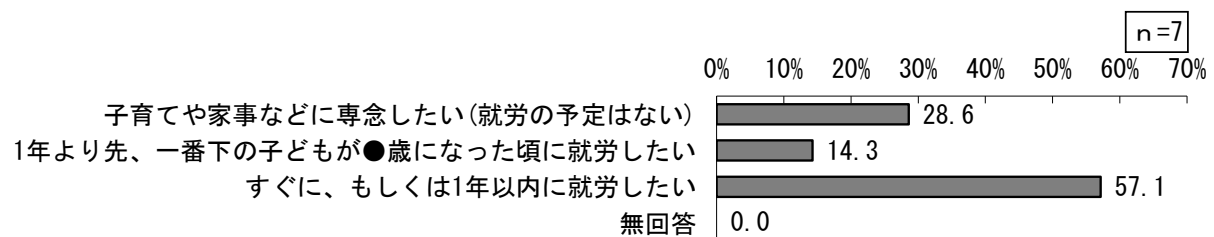
・一番下の子どもが●歳になった頃（母親）

n=20

平均年齢	10.05 歳
最 大	18.00 歳
最 小	2.00 歳

■父親（1つに○）

- 父親の就労希望について、「すぐに、もしくは1年以内に就労したい」が 57.1%（4人）と最も割合が高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 28.6%（2人）、「1年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」が 14.3%（1人）となっています。



・一番下の子どもが●歳になった頃（父親）

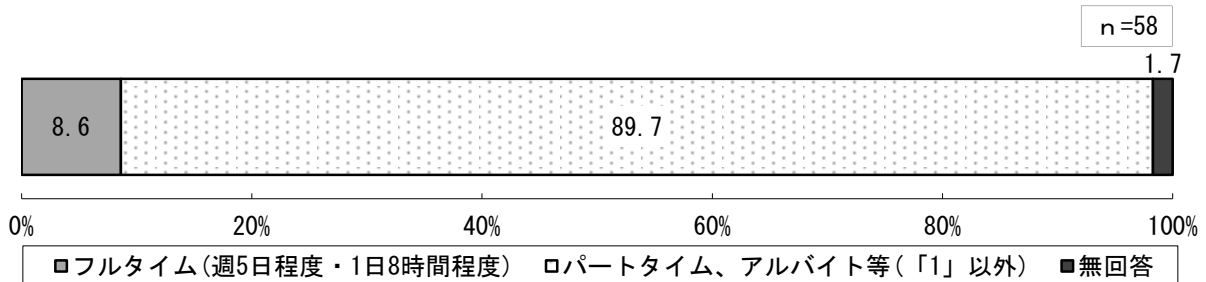
n=1

平均年齢	12.00 歳
最 大	12.00 歳
最 小	12.00 歳

問 8-3 問 8-2 で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。
希望する就労形態をお答えください。

■母親（1つに○）

- 母親の希望する就労形態について、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）」が8.6%（5人）、「パートタイム、アルバイト等」が89.7%（52人）となっています。



・ 1週あたり（パートタイム、アルバイト等 母親） n=52

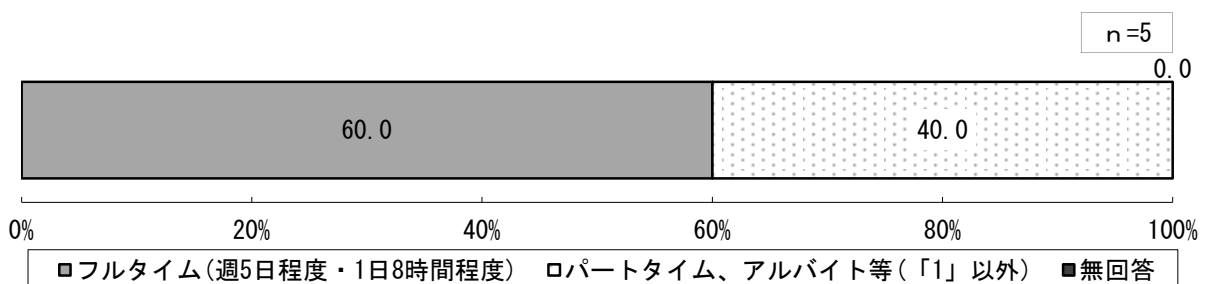
平均日数	4.25 日
最 大	6.00 日
最 小	3.00 日

・ 1日あたり（パートタイム、アルバイト等 母親） n=52

平均時間	5.00 時間
最 大	8.00 時間
最 小	3.00 時間

■父親（1つに○）

- 父親の希望する就労形態について、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）」が60.0%（3人）、「パートタイム、アルバイト等」が40.0%（2人）となっています。



・ 1週あたり（パートタイム、アルバイト等 父親） n=2

平均日数	3.50 日
最 大	4.00 日
最 小	3.00 日

・ 1日あたり（パートタイム、アルバイト等 父親） n=2

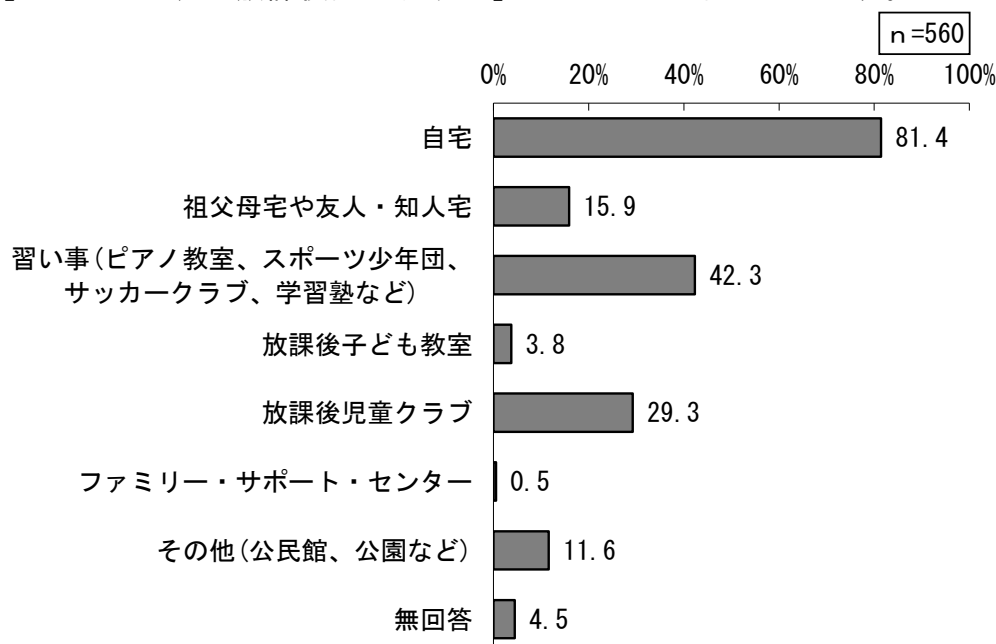
平均時間	4.50 時間
最 大	5.00 時間
最 小	4.00 時間

Ⅲ-4. 子どもの放課後の過ごし方について

問 9 あて名のお子さんが、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、利用している日数を（放課後児童クラブを利用している場合は、利用時間も）[]内に数字でご記入ください。

また、あて名のお子さんが小学1～3年生の方は、高学年（4～6年生）になってから過ごさせたい場所すべてに○をつけ、利用を希望する日数を（放課後児童クラブの場合は利用希望時間も）[]内に数字でご記入ください。

○ 放課後の居場所について、「自宅」が81.4%と最も割合が高く、次いで「習い事」が42.3%、「放課後児童クラブ」が29.3%となっています。



・ 自宅（現在） n=362

平均日数	4.69 日
最 大	7.00 日
最 小	0.00 日

・ 自宅（今後の利用希望） n=194

平均日数	4.31 日
最 大	7.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 祖父母宅や友人・知人宅（現在） n=65

平均日数	2.55 日
最 大	7.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 祖父母宅や友人・知人宅（今後の利用希望） n=31

平均日数	2.77 日
最 大	5.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 習い事（現在） n=178

平均日数	2.71 日
最 大	6.00 日
最 小	0.00 日

- ・ 習い事（今後の利用希望） n=120

平均日数	2.53 日
最 大	5.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 放課後子ども教室（現在） n = 6

平均日数	1.50 日
最 大	4.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 放課後子ども教室（今後の利用希望） n=13

平均日数	2.23 日
最 大	5.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 放課後児童クラブ（現在） n=151

平均日数	4.65 日
最 大	9.00 日
最 小	1.00 日

- ・ 放課後児童クラブ（現在、下校時から●時まで） n=153

平均時刻	17:07
最 大	18:00
最 小	15:00

・ 放課後児童クラブ（今後の利用希望） n =54

平均日数	4.11 日
最 大	6.00 日
最 小	1.00 日

・ 放課後児童クラブ（今後の利用希望、下校時から●時まで） n =50

平均時刻	17 : 54
最 大	19:00
最 小	16:00

・ ファミリー・サポート・センター（現在） n = 2

平均日数	2.00 日
最 大	3.00 日
最 小	1.00 日

・ ファミリー・サポート・センター（今後の利用希望） n = 1

平均日数	1.00 日
最 大	1.00 日
最 小	1.00 日

・ その他（現在） n =40

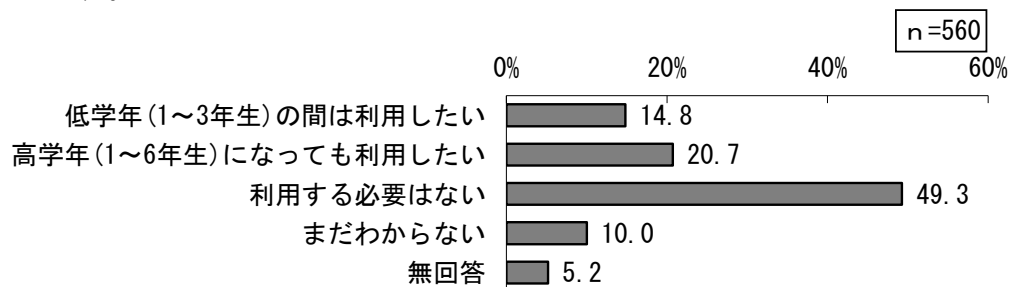
平均日数	2.90 日
最 大	6.00 日
最 小	0.00 日

・ その他（今後の利用希望） n =26

平均日数	2.31 日
最 大	5.00 日
最 小	1.00 日

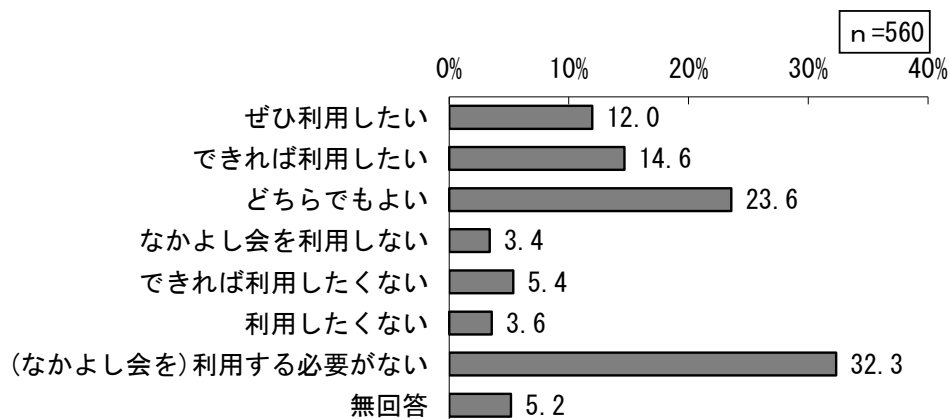
問 10 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について、「利用する必要はない」が 49.3%と最も割合が高く、次いで「高学年（1～6年生）になっても利用したい」が 20.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 14.8%となっています。



問 11 現在なかよし会は、保育の必要のある児童に対し学校内施設において、実施しています。学校敷地外（徒歩 30 分圏内）のなかよし会ができた場合、利用しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

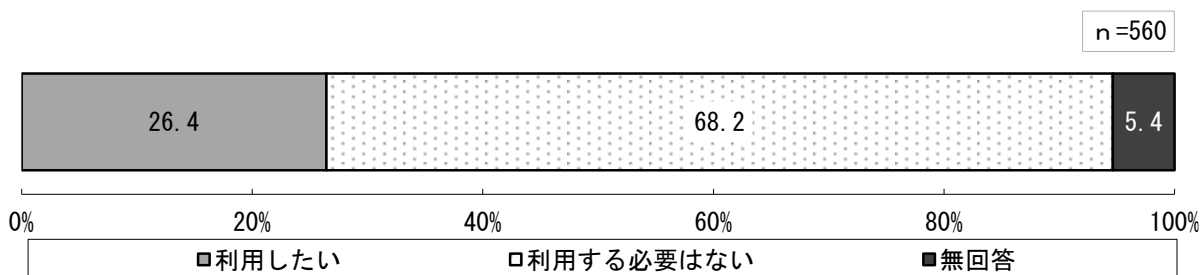
- なかよし会が学校敷地外にできた場合の利用意向について、「（なかよし会を）利用する必要がない」が 32.3%と最も割合が高く、次いで「どちらでもよい」が 23.6%、「できれば利用したい」が 14.6%となっています。



Ⅲ-5. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

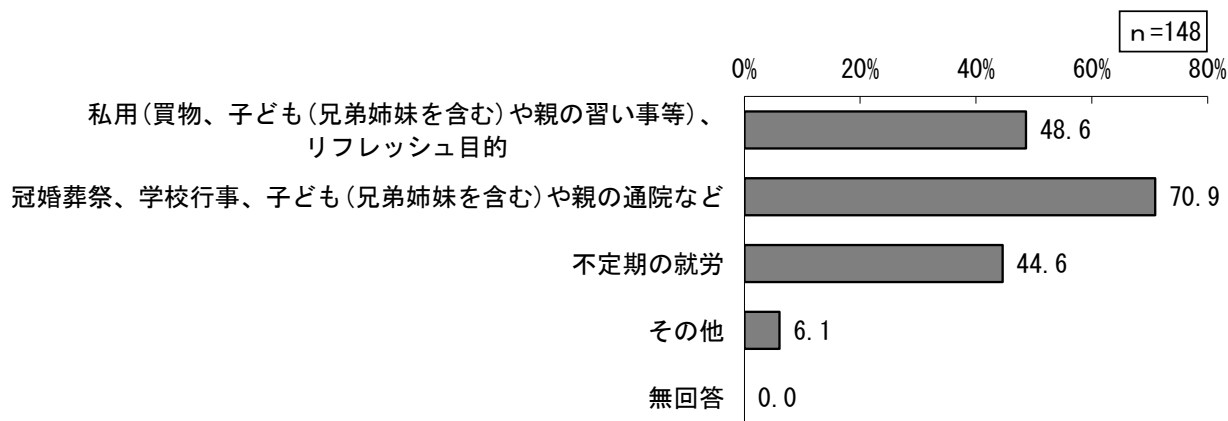
問 12 保護者の私用や通院、不定期の就労等の目的で、あて名のお子さんの不定期に利用する事業が年間何日くらい必要だと思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号1つに○をつけてください。利用希望のある場合は、目的ごとに、1年間のおおよそ利用日数を〔 〕内に数字でご記入ください。

- 不定期な教育・保育事業の利用希望について、「利用したい」が26.4%、「利用する必要はない」が68.2%となっています。



■ 不定期な教育・保育事業を利用したい場合の目的

- 不定期な教育・保育事業を利用したい場合の目的について、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が70.9%と最も割合が高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が48.6%、「不定期の就労」が44.6%となっています。



・ 日数 (私用、リフレッシュ目的) n=62

平均日数	17.00 日/年
最 大	365.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・ 日数 (冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など) n=86

平均日数	12.62 日/年
最 大	365.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・ 日数（不定期の就労）

n=50

平均日数	13.88 日/年
最 大	150.00 日/年
最 小	1.00 日/年

・ 日数（その他）

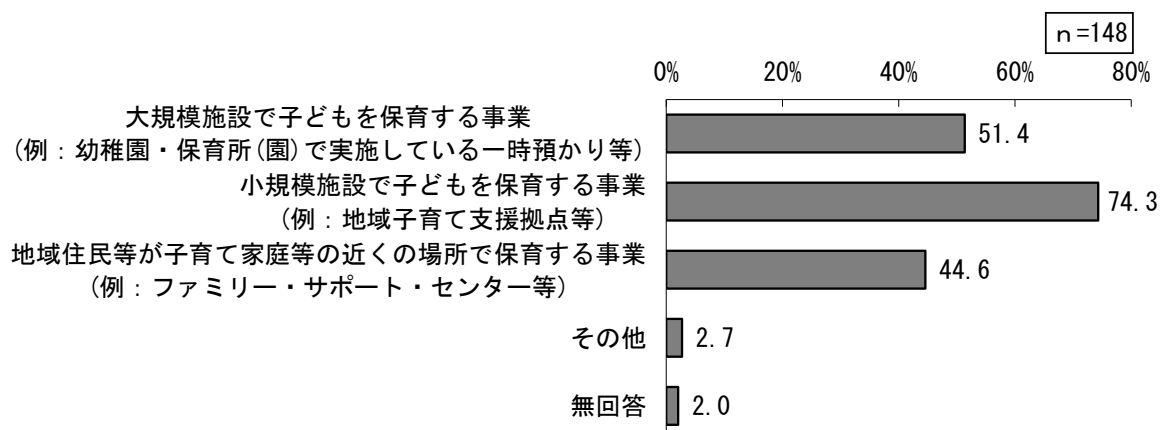
n=5

平均日数	10.00 日/年
最 大	20.00 日/年
最 小	5.00 日/年

問 12-1 問 12 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

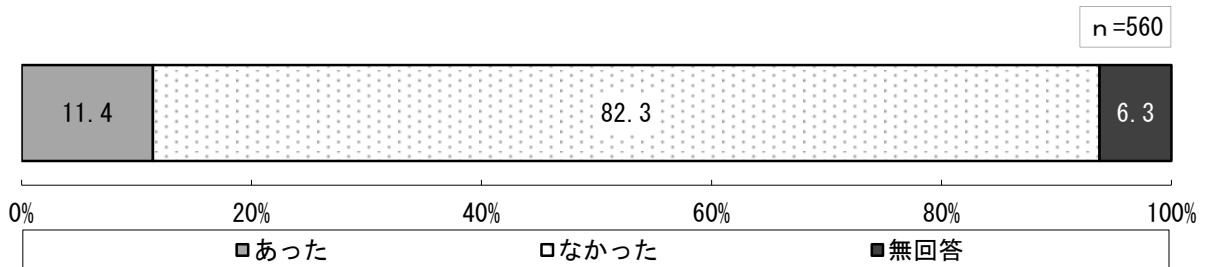
問 12 の（1）から（4）のような目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもを預ける場合の望ましい事業形態について、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 74.3%と最も割合が高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が 51.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 44.6%となっています。



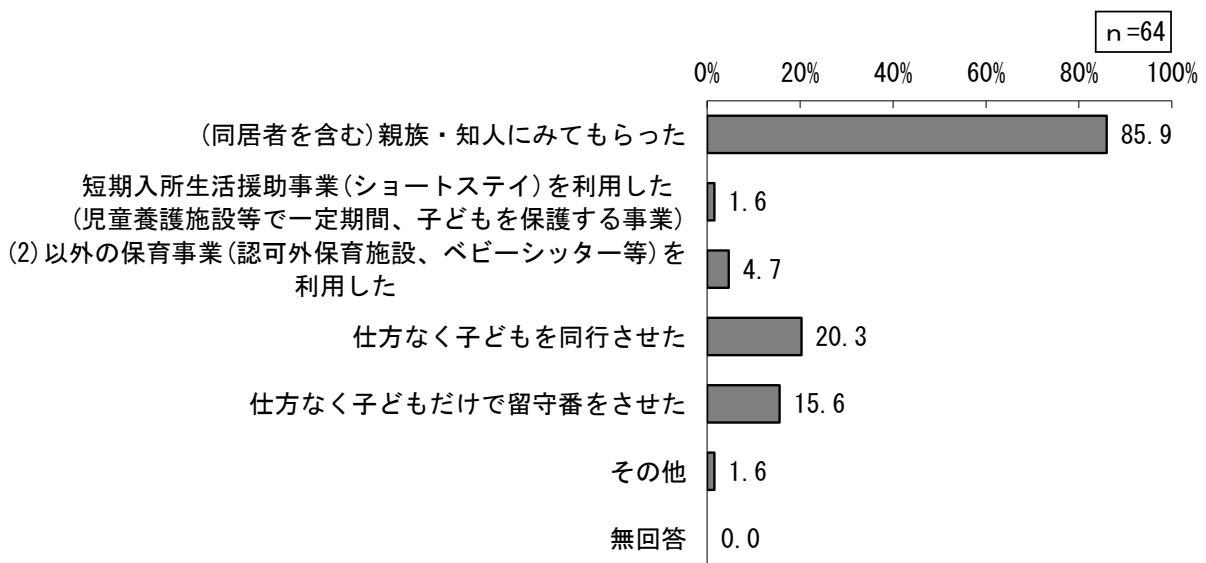
問 13 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）
あったか、なかったかについてあてはまる番号１つに○をつけてください。
あった場合には、その対処方法ごとに、１年間のおおよそ利用日数を〔 〕内に数字でご記入ください。

- 保護者の用事のために子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験について、「あった」が 11.4%、「なかった」が 82.3%となっています。



■ 対処方法

- 泊まりがけでみてもらった場合の対処方法について、「親族・知人にみてもらった」が 85.9%（55 人）と最も割合が高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 20.3%（13 人）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 15.6%（10 人）となっています。



- ・ 日数（親族・知人にみてもらった） n = 52

平均日数	6.29 泊/年
最 大	36.00 泊/年
最 小	1.00 泊/年

- ・ 日数（短期入所生活援助事業を利用した） n = 1

平均日数	30.00 泊/年
最 大	30.00 泊/年
最 小	30.00 泊/年

- ・ 日数（(2)以外の保育事業を利用した） n = 2

平均日数	16.50 泊/年
最 大	30.00 泊/年
最 小	3.00 泊/年

- ・ 日数（仕方なく子どもを同行させた） n = 11

平均日数	3.09 泊/年
最 大	10.00 泊/年
最 小	2.00 泊/年

- ・ 日数（仕方なく子どもだけで留守番をさせた） n = 8

平均日数	2.38 泊/年
最 大	5.00 泊/年
最 小	1.00 泊/年

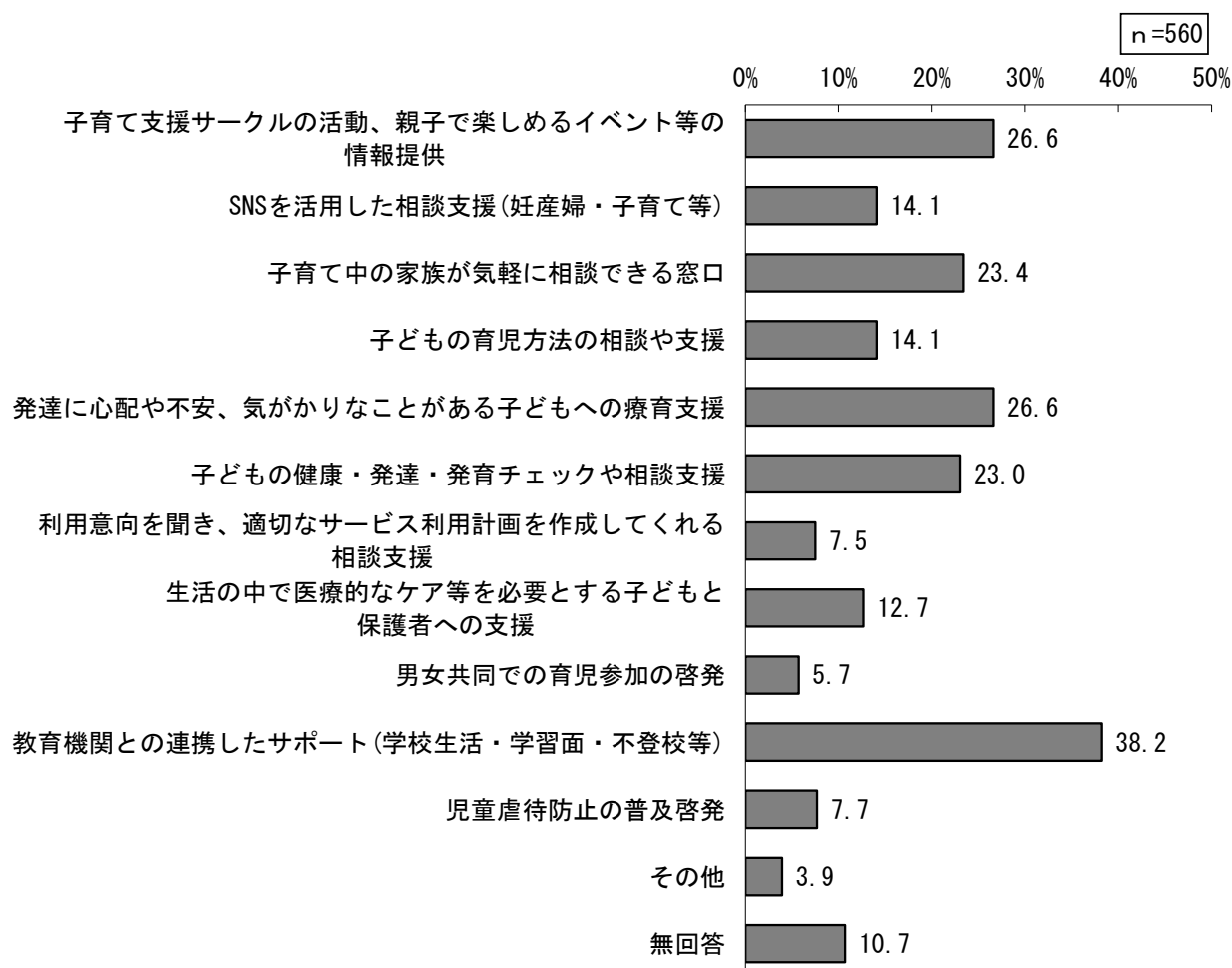
- ・ 日数（その他） n = 1

平均日数	30.00 泊/年
最 大	30.00 泊/年
最 小	30.00 泊/年

Ⅲ-6. 市の子育て支援事業について

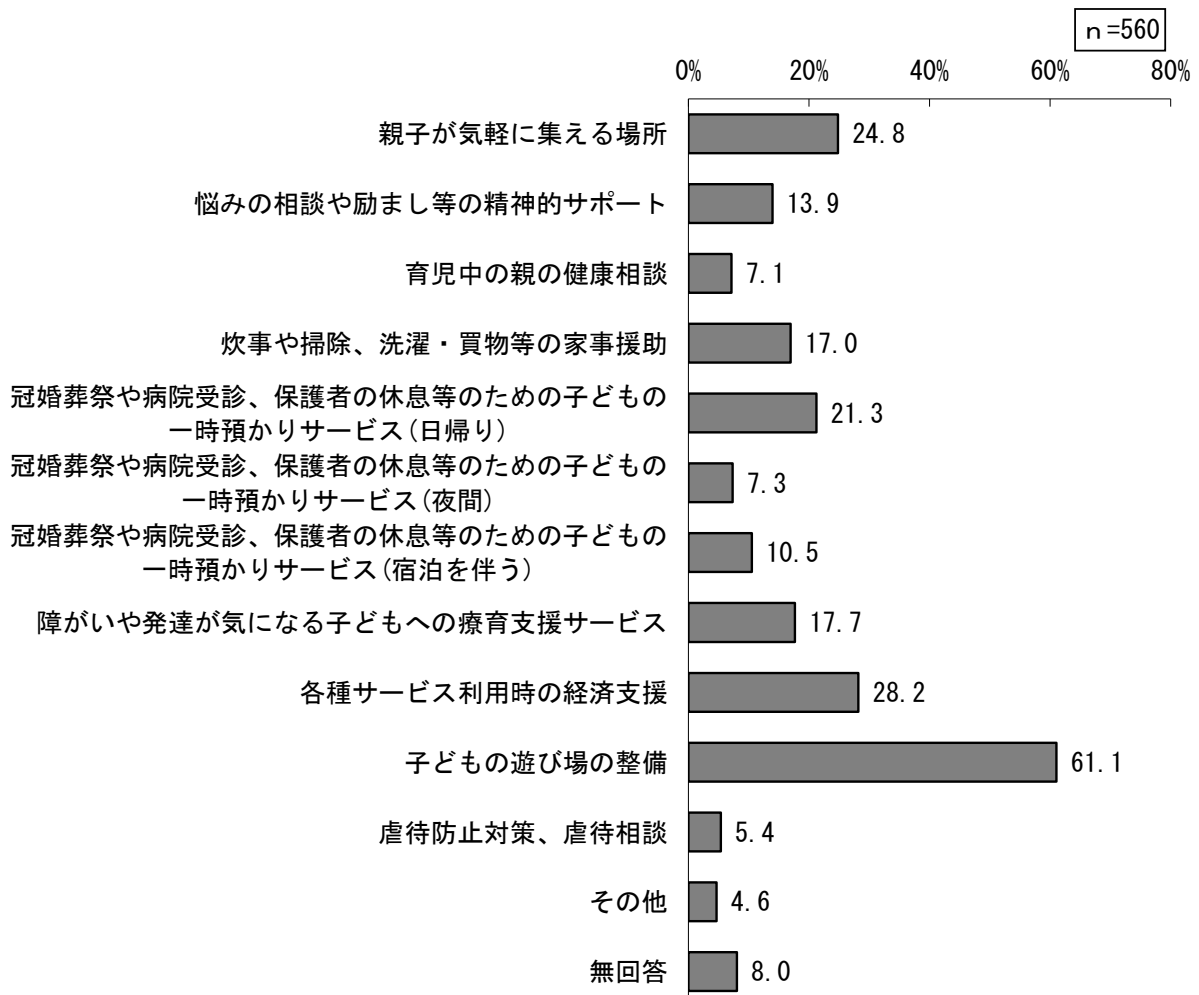
問 14 むつ市では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する「こども家庭センター」を開設しています。あなたが今後期待するこども家庭センターの事業や取り組みについて、主なもの3つまでに○をつけてください。

- 今後期待するこども家庭センターの事業や取り組みについて、「教育機関との連携したサポート（学校生活・学習面・不登校等）」が38.2%と最も割合が高く、次いで「子育て支援サークルの活動、親子で楽しめるイベント等の情報提供」と「発達に心配や不安、気がかりなことがある子どもへの療育支援」がともに26.6%となっています。



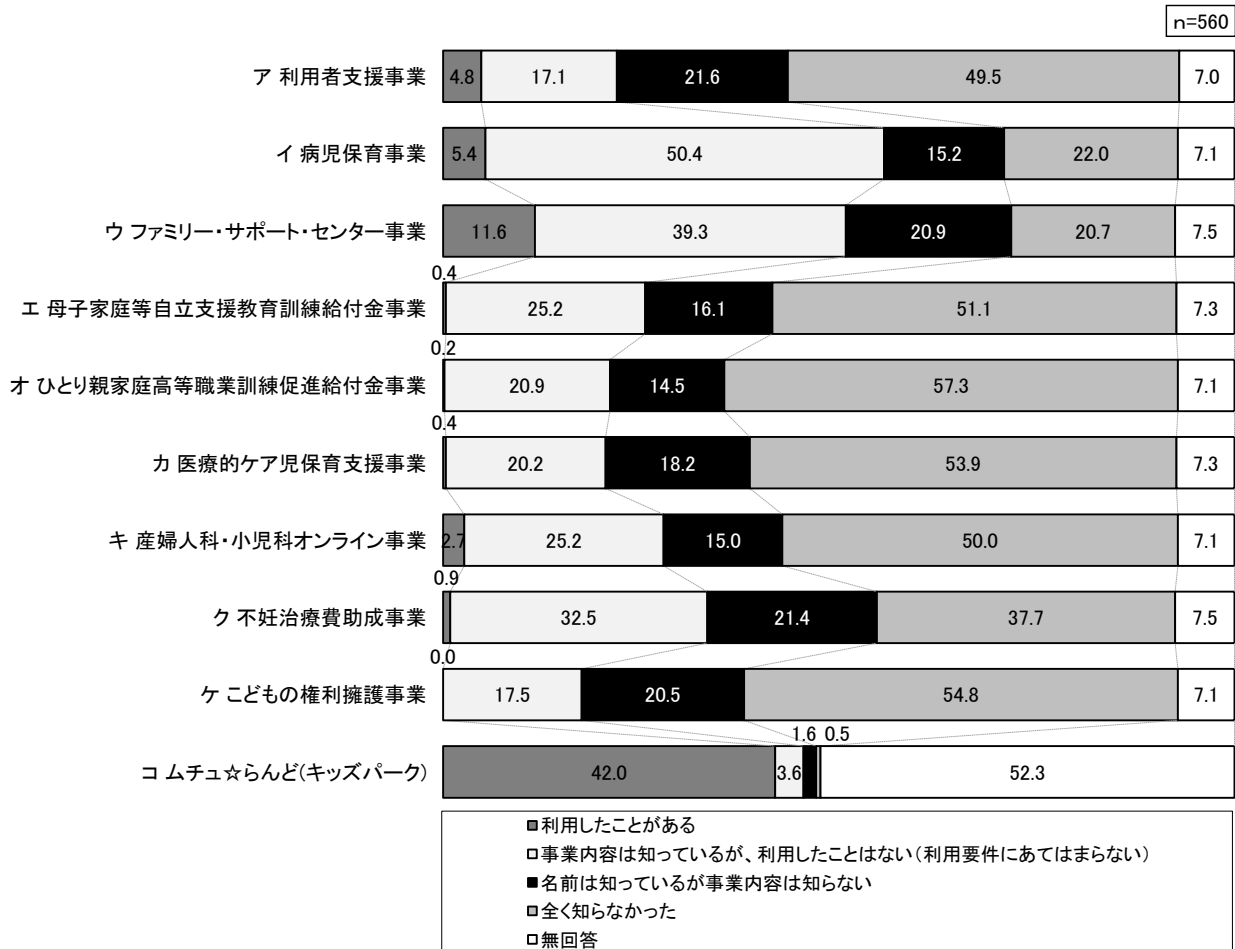
問 15 子育てしやすい環境を整えるために、市がさらに力を入れる必要のある支援としてどのようなものがありますか。主なもの 3 つまでに○をつけてください。

- 市が力を入れる必要のある支援について、「子どもの遊び場の整備」が 61.1%と最も割合が高く、次いで「各種サービス利用時の経済支援」が 28.2%、「親子が気軽に集える場所」が 24.8%となっています。



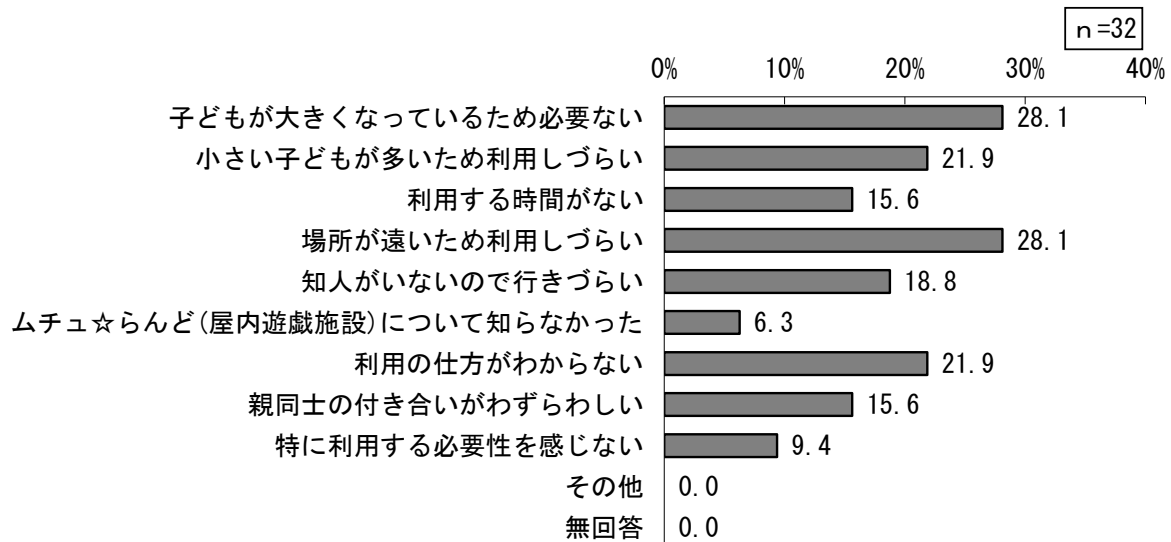
問 16 市の子育て支援事業等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 市の子育て支援事業について、「利用したことがある」では「コ ムチュ☆らんど（キッズパーク）」が 42.0%と最も割合が高く、次いで「ウ ファミリー・サポート・センター事業」が 11.6%、「イ 病児保育事業」が 5.4%となっています。
- 「全く知らなかった」では「オ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業」が 57.3%と最も割合が高く、次いで「ケ こどもの権利擁護事業」が 54.8%、「カ 医療的ケア児保育支援事業」が 53.9%となっています。



問 16-1 問 16「コ ムチュ☆らんど（キッズパーク）」で「2」から「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。ムチュ☆らんど（屋内遊戯施設）を利用していない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

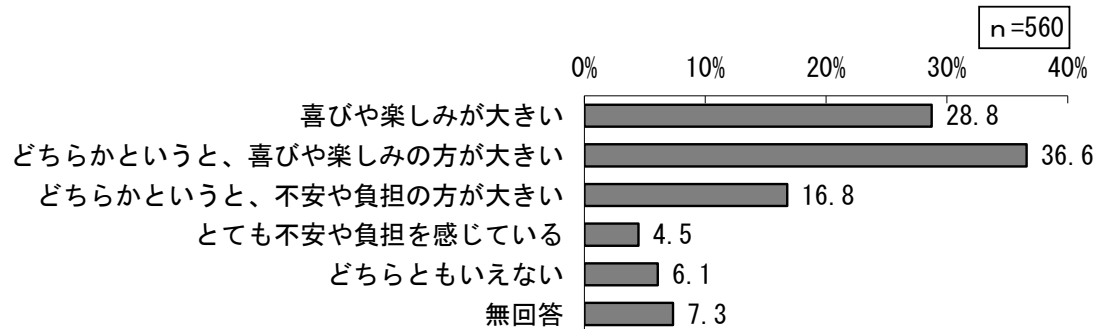
- ムチュ☆らんどを利用していない理由について、「子どもが大きくなっているため必要ない」と「場所が遠いため利用しづらい」がともに 28.1%（各 9 人）と最も割合が高く、次いで「小さい子どもが多いため利用しづらい」と「利用の仕方がわからない」がともに 21.9%（各 7 人）となっています。



Ⅲ-7. 家庭の子育て、地域の子育て環境について

問 17 子育てをどのように感じていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

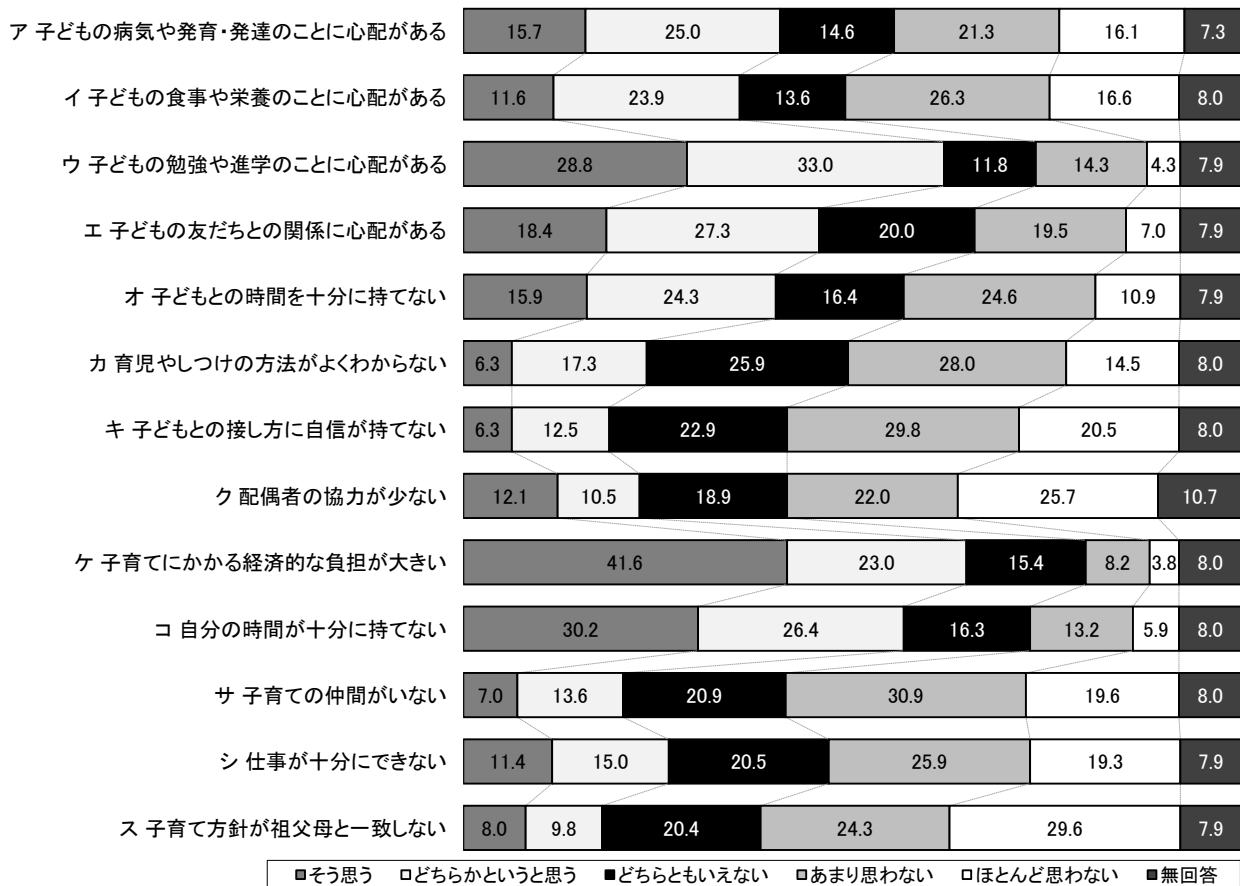
- 子育てへの感じ方について、「どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい」が 36.6%と最も割合が高く、次いで「喜びや楽しみが大きい」が 28.8%、「どちらかというと、不安や負担の方が大きい」が 16.8%となっています。



問 18 子育てに関して、悩みや気にかかることはありますか。項目ごとに、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

○ 子育てに関する悩みや気にかかることについて、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、「ケ 子育てにかかる経済的な負担が大きい」が 64.6%と最も割合が高く、次いで「ウ 子どもの勉強や進学のこと」に心配がある」が 61.8%、「コ 自分の時間が十分に持てない」が 56.6%となっています。

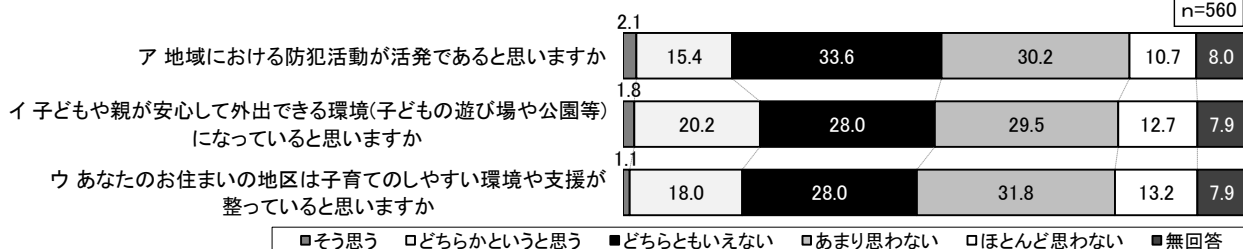
n=560



問 19 お住まいの地域についてうかがいます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

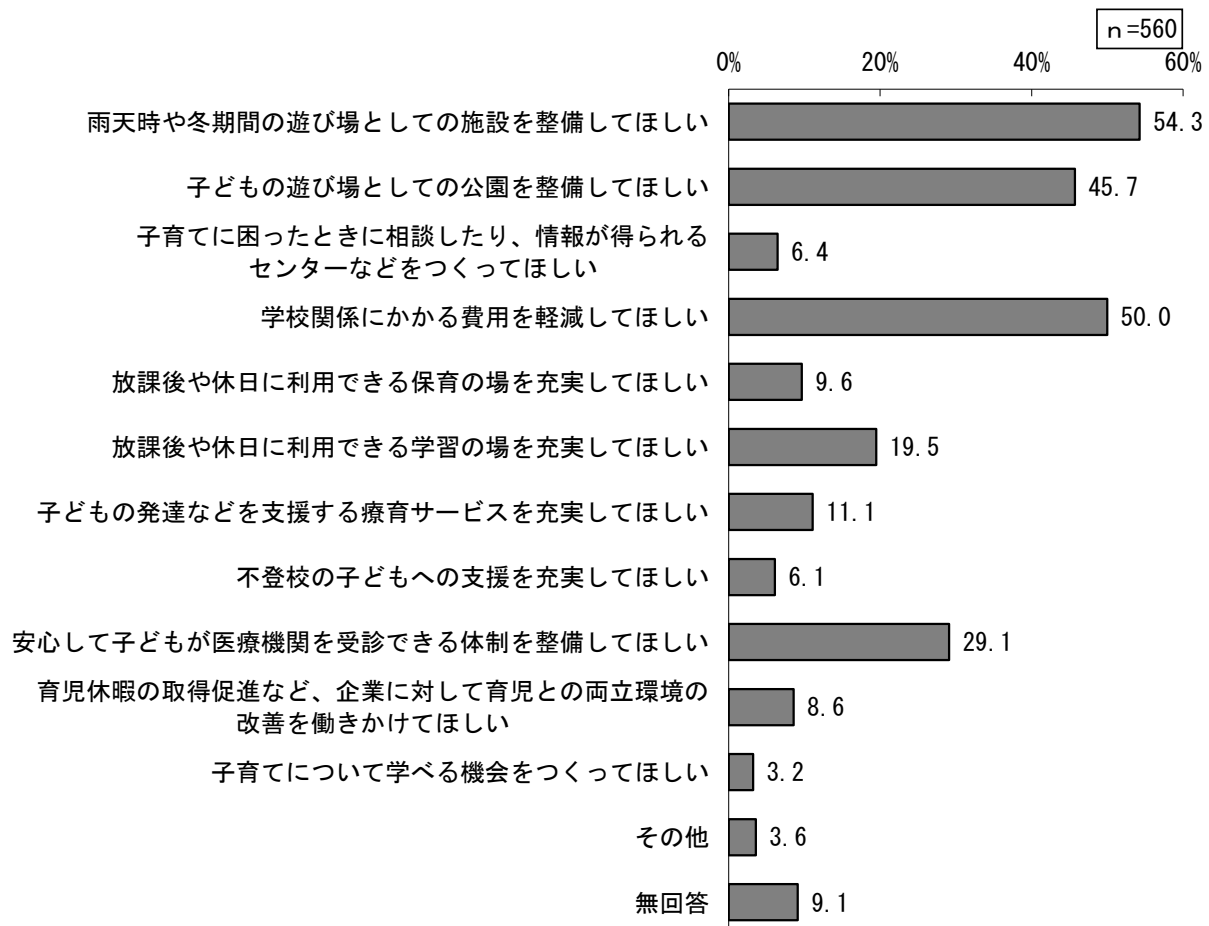
○ 居住地域について、「あまり思わない」と「ほとんど思わない」を合わせると、「ウ あなたのお住まいの地区は子育てのしやすい環境や支援が整っていると思いますか」が 45.0%と最も割合が高く、次いで「イ 子どもや親が安心して外出できる環境(子どもの遊び場や公園等)になっていると思いますか」が 42.2%、「ア 地域における防犯活動が活発であると思いますか」が 40.9%となっています。

n=560



問 20 市の子育て支援施策について特に期待することはなんですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

- 期待する市の子育て支援施策について、「雨天時や冬期間の遊び場としての施設を整備してほしい」が54.3%と最も割合が高く、次いで「学校関係にかかる費用を軽減してほしい」が50.0%、「子どもの遊び場としての公園を整備してほしい」が45.7%となっています。



問 21 最後に、教育・保育環境の充実など、子育て支援や環境づくりについてのご意見、ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

- その他・自由意見（多かった意見を抜粋）

- ・学区をまたいで子どもたちだけで公園に行くことが禁止されているので、各学区に学区内に公園がない所に公園を整備してほしい。
- ・子どもをみてるくれる眼科がほぼない。子どもが眼科を受診することになった時にむつでみてるくれる眼科がなく青森まで通っている。
- ・昔と比べて徐々に変化はあるのですが、まだまだ働きづらい職場もたくさんある。子の看護休暇も確実に有給で取得できる法整備を行ってほしい。
- ・高学年になってもなかよし会はいつでも利用できるようお願いしたい。
- ・物価高騰もあり、子育て世帯はみんな大変。非課税世帯にばかり給付するのではなく、子どもがいる家庭はみんな平等に給付金を支給してほしい。